

## II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

### 1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北海道)		-	-
		商店街（代表者）	・2～3か月後には高齢者のワクチン接種がほぼ終了する予定となっているため、来街者の増加が見込まれる。また、新規開店を予定している店舗もあるため、少しずつではあるが景気が好転することを期待している。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が問題解決につながると期待している。ただ、感染拡大が収まらないこと背景には、政府の要請を真面目に守ろうとしないことがあるとみられる。自由をはき違えている人が多いのではないかと。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・緊急事態宣言が6月20日まで延長される見込みとなり、それまでには新型コロナウイルスの感染者数がかなり抑えられてくるとみられる。また、これからワクチン接種も進むこと、東京オリンピックが予定されていることから、人の気持ちも少しずつ明るくなる。ただ、旅行需要という面では、観光客が回復してくるのはもう少し先になる。現在の緊急事態宣言下よりは良くなるとみられるが、依然として厳しい状況にあることは変わらない。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・今後の売上は新型コロナウイルスの感染状況次第である。これからワクチン接種が軌道に乗ってくれば、それに伴って景気も回復することになる。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで、来客数の動きが回復すると期待している。
		百貨店（営業販促担当）	・ワクチン接種が進むことで、今よりも雰囲気良くなることを期待している。
		スーパー（店長）	・ワクチン接種が始まったこと、東京オリンピックが開催される可能性が高いことから、今後の景気はやや良くなる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況がある程度落ち着けば、営業を再開できるようになり、これまでの自粛の反動も期待できる。ただし、こうした需要は長続きするものではないため、秋頃には前年並みの売上に落ち着くとみられる。
		コンビニ（エリア担当）	・営業自粛などの要請が緩和されることになれば、景気は回復する。
		家電量販店（経営者）	・エアコンなどの販売量の増加を期待している。
		乗用車販売店（従業員）	・緊急事態宣言の延長がいつまでかにもよるが、緊急事態宣言が終了することで多少は景気が良くなる。
		その他専門店〔造花〕（店長）	・今後、緊急事態宣言が解除されることで、購買意欲が向上することが見込まれる。
		高級レストラン（経営者）	・2～3か月後には緊急事態宣言も終わり、ワクチン接種も進んでいることが期待できるため、人の往来が増えて、少しずつ景気が回復すると期待している。ただ、ワクチン接種が予定どおり進まず、東京オリンピック開催に伴って新型コロナウイルスの感染が広がることになれば、どん底まで景気が悪くなるのではないかと懸念している。
		観光型ホテル（スタッフ）	・ワクチン接種が進むことによって、新型コロナウイルスの感染状況が少しは収束してくることで、景気が良くなると期待している。また、旅行が多くなるシーズンであることもプラスである。
	旅行代理店（従業員）	・緊急事態宣言下の現状では先に向けた施策も打てないため、今後の需要動向は不透明であるが、今後、ワクチン接種が全国的に進むことで感染拡大が抑制され、経済活動が回復することを期待している。そうならば夏季の観光需要も増加傾向となる。	
	旅行代理店（従業員）	・今よりは世の中全体の雰囲気が良くなることが期待できるため、今後の景気はやや良くなる。	
	通信会社（企画担当）	・東京オリンピック開催に伴う販売促進イベントを予定していることに加えて、ワクチン接種の進捗も期待できるため、現在よりは状況が改善する。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光名所（従業員）	・新型コロナウイルスの第4波も恐らく一旦終息することになる。ワクチンも今よりは接種が進むとみられるため、それに伴って経済活動も復調すると期待している。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くかが不透明なため、先行きの状況を予測することができない。変わらないというよりは分からないというのが率直な意見である。
		百貨店（役員）	・ワクチンなどの新型コロナウイルス対策について新しい動きは出てきているが、早々に景気が改善するものではないため、ここ数か月に限定すれば、景気は変わらない。
		家電量販店（店員）	・当地における新型コロナウイルス感染者数が収まらない限り、客が安心して出掛けることができないため、景気は変わらない。
		乗用車販売店（経営者）	・ここに来て新型コロナウイルスの感染が地方まで広がってきている状況を踏まえると、ワクチン接種がある程度進まない限り、景気に大きな変化は見込めない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くのはまだ先だとみられるため、これまでと同様の状況が継続する。
		乗用車販売店（従業員）	・9月の決算に向けて、この2～3か月が勝負である。新型コロナウイルスの感染状況次第の面があるが、新型車効果はまだ続くともみられるため、今のままの状態で推移すれば、見通しはそこまで暗くはない。ただ、新型コロナウイルスの感染状況が今よりもひどい状態になると大変かもしれない。
		自動車備品販売店（店長）	・新型コロナウイルスの感染対策などに変化がない限り、現状と変わらないまま推移する。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・現在の景気低迷は国民全員へのワクチン接種が終わるまで続くことになる。特に高齢の客ほど疲弊しており、医療関係者としても歯がゆい状況にある。
		観光型ホテル（スタッフ）	・北海道外からの宿泊予約が低調に推移している。新型コロナウイルス感染者数の増加と連動して、予約のキャンセルが相次いでいることから、今後も景気は変わらない。緊急事態宣言の延長が見込まれることもマイナスである。
		旅行代理店（従業員）	・緊急事態宣言が発出された後、解除されても、新型コロナウイルス感染者数が一時的に減少しても販売量が大きく増加するような動きはみられなかった。今の米国のようにワクチンの接種率が人口の50%を超えるなどして、感染者数を抑え込むことができない限り、販売量の増加は望めない。
		旅行代理店（従業員）	・ワクチン接種が広まり、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かない限り、景気の回復は難しい。
		旅行代理店（従業員）	・2～3か月後もワクチンの接種率がそれほど上がらないことが見込まれるため、客が安心して行動できない状況が続く。
		タクシー運転手	・高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種がようやく始まったことで、今後、イベント関連での規制緩和が進むことになれば、来客数が徐々に増えるとみられるが、景気が良くなるような雰囲気までは感じられない。緊急事態宣言が一旦解除されたとしても、感染状況が再び悪化するとみられ、しばらくは緊急事態宣言の発出と解除が繰り返されるのではないかと懸念している。
		観光名所（職員）	・北海道における緊急事態宣言の発出に伴って休業しており、売上が立たない状況にある。協力支援金や雇用調整助成金があっても、非常に厳しい状況であることに変わりはなく、今後もしばらくは我慢が続くと考えている。いち早い感染者の抑制とワクチン接種の進捗が望まれる。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、これまでの経過をみる限り、景気は大きく変わらないとみている。ただ、感染が拡大している今の流れが続くことになれば、景気が悪くなる可能性もある。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチンが広く行き渡らない限り、今のような状況が繰り返されることになる。
		商店街（代表者）	・今後の客の動向については新型コロナウイルスのワクチン接種次第の面がある。ワクチンが早く全員に行き渡るかどうかは景気の方向性を決めることになる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・夏は青果物の収穫時期となるため、景気は少し落ち込むことになる。秋からの回復を期待している。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響が強まるとみられるため、今後の景気はやや悪くなる。
		スーパー（役員）	・大勢での買物を控えるように注意喚起していることもあり、客が以前のような買いだめをすることが減っている。また、飲食店の休業が続いていることで、業務用商材が売れなくなっていることもマイナスである。客の所得減少もあり、景気はまだ悪くするとみられる。
		スーパー（役員）	・消費の2極化が進んでいる。その一方で、ぜいたくをする人よりも節約をする人が増えてきている傾向がみられるため、今後の景気はやや悪くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言が解除されるまで、先行きがなかなかみえてこない状況にある。
		コンビニ（エリア担当）	・東京オリンピックの開催の有無にかかわらず、株価が下がっていくことが懸念されるため、今後の景気はやや悪くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、来客数が減少しているが、まとめ買いするケースが増えてきているため、客単価が若干上昇している。ただ、今後は客の所得が厳しくなるとみられるため、購買額が減少することが懸念される。
		コンビニ（店長）	・コロナ禍が落ち着き、通常の生活ができるようになるまで、景気が回復するような見込みがない。
		乗用車販売店（従業員）	・自動車業界は販売と整備で売上を立てており、緊急事態宣言が長引くことで市場の動きが鈍くなることが懸念される。定期的な部品交換が先延ばしされることも見込まれるため、今後の売上は減少することになる。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・しばらくは厳しい状況が続くとみられる。
		高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染者数について、減少する気配が感じられないことから、今後の景気はやや悪くなる。
		タクシー運転手	・より強い感染予防対策が採られない限り、新型コロナウイルスの感染は収まらないとみられるため、今後の景気はやや悪くなる。現在のような状態が、これ以上続くことになれば、観光業はもたない。
		美容室（経営者）	・当分、新型コロナウイルスの感染が収まる兆しがないため、これからも来客数の減少が続くことになり、それに伴って売上も厳しい状態が続く。今後数か月は赤字覚悟で営業していかなければならないと覚悟している。
		住宅販売会社（経営者）	・コロナ禍において経済活動が停滞しているため、今後、所得の伸び悩み又は減少が現れてくるとみられる。現状では、経済活動の停滞を克服できるような経済刺激策を期待できないため、先行きに明るさを感じられない。
	×	商店街（代表者）	・現在のような状態が続くと、店はもたなくなる。商店街の空き店舗がますます増えることになる。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されるため、今後の景気は悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・緊急事態宣言の発出に伴って、来道自粛が叫ばれているため、北海道の一大産業である観光業界では観光客もビジネス客も地元客も全く来ない状況となっており、飲食店よりも売上が落ち込んでいる。飲食店よりも甚大な影響が生じているにもかかわらず、観光業界には一切の支援や保証などがないことから、今後の景気は悪くなる。もう1年以上も耐えている状況のため、何らかの支援が望まれる。
	×	スーパー（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が長期化することが懸念されるため、今後の景気は悪くなる。
	×	衣料品専門店（店長）	・このまま営業を続ければ経費の垂れ流しばかりが続き、商品構成にも影響が出ることになり、悪循環が続くことになる。休業補償が欲しいわけではないが平等に扱ってほしい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	高級レストラン（スタッフ）	・夏場のイベントが自粛され、ホテルの宿泊や飲食店の予約など、一向にめどが立たないため、今後の景気は悪くなる。当店も含めて地域の飲食店やホテルは経済危機の最終局面を迎えている。また、当地での東京オリンピック開催は、一般市民にとっては命の危険を心配する向きもあり、観光業にとっては不安要素でしかない。また、東京オリンピックの参加各国が北海道内各地で直前合宿などを予定していたが、中止通告が来たり、連絡の取れないケースが発生しており、関係する自治体やホテル、飲食店までもが困惑しており、観光業に暗い影を落としている。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・ここに来て変異株がまん延しており、北海道の1日当たりの感染者数が全国ワーストになっている日もみられる。ワクチン接種以外の有効な対策もないため、今後、一時的に感染者数が減少しても、外出が増えることで感染者数が再び増加するという流れが年内は繰り返されることになる。
	×	観光型ホテル（経営者）	・長期にわたる人流抑制政策によって、半強制的に事業が止められており、経営存続の危機にある。マスクや世論による感染対策への声ばかりが目立ち、影響を受けている産業に対する経済対策が全く不十分なことから、今後の景気は悪くなる。
	×	タクシー運転手	・緊急事態宣言が6月20日まで延長されることになったため、この先も今の状況が続く。前年は緊急事態宣言が5月25日に解除されたことで、6月に入ると人の移動も増えていき、それに伴ってタクシーの売上も徐々に増えてきたが、今年は前年よりも大きく売上が落ち込むことになる。
	×	タクシー運転手	・緊急事態宣言が解除されたとしても、全国民へのワクチン接種が済むまで景気は回復しない。
	×	タクシー運転手	・北海道にも緊急事態宣言が発出されたため、新型コロナウイルスが収束しない限り、先行きの見通しが全く立たない状況にある。2～3か月先も景気は回復しておらず、少なくとも今年度一杯は影響が続くとみられる。
	×	タクシー運転手	・緊急事態宣言の延長が見込まれるなか、これ以上タクシーの稼働状況が下がることになれば、事業継続もできないような状態となる。
	×	美容室（経営者）	・前々年よりは少ないが、前年のゴールデンウィークに比べれば、他地域ナンバーの車の来客が増えている。それに伴って当地においても新型コロナウイルス感染者数が増加している。当然のように客も警戒するようになるため、これまで影響が少なかった業種にもマイナスの影響が波及していくことになる。
	×	美容室（経営者）	・東京オリンピックが開催されることになれば、今以上に新型コロナウイルス感染者数が増えるとみられるため、景気は悪くなる。
	×	住宅販売会社（経営者）	・現在の木材価格の上昇はまだ半年は続くと思われるため、今後については非常に厳しい状況にある。仕入価格の上昇だけでなく、仕入れ自体が困難になることも懸念される。
企業 動向 関連  (北海道)			
		家具製造業（経営者）	・2～3か月後はワクチン接種が進むことで、社会活動が活性化することが見込まれる。
		建設業（経営者）	・公共工事の受注は例年とほぼ同水準の見込みである。民間建築、住宅の受注については新型コロナウイルスの影響がどうなるかはっきりしないが、全体的には稼働が上向くことになる。ただ、一部で資材価格が値上がりしており、その影響が懸念される。
		通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスワクチンの接種が始まったため、これからワクチン接種が順調に進むことになれば、国民の多岐にわたる潜在的な需要が表面化することになる。緊急事態延長宣言が発出されている今が景気の底であり、この先は持ち直すことが見込まれる。
		金融業（従業員）	・今後については、ワクチン接種の進展度合いが道内景気を左右することになる。すでにワクチン接種が始まっているため、緊急事態宣言下にある現在よりは景気が上向くことが見込まれる。このため、2～3か月先の道内景気はやや良くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		食料品製造業（従業員）	・景気が変わるとみられるような案件が見当たらない。
		食料品製造業（従業員）	・前年に行った価格改定後、販売量が減少している。対応策を検討しているが、販売量が回復するまで、しばらく時間が掛かるとみられる。
		建設業（従業員）	・大分景気が悪くなっているものの、現状よりも悪くなることまでは考え難く、横ばいでの推移が見込まれる。
		建設業（役員）	・新型コロナウイルスの感染再拡大に伴って民間設備投資の減少が懸念材料となっており、今後も受注状況は変わらないまま推移する。
		輸送業（支店長）	・緊急事態宣言が解除されたとしても、すぐに取扱量が回復するとは考えられないため、今後も景気は変わらない。
		コピーサービス業（従業員）	・緊急事態宣言の動向次第の面があるが、しばらくは現状と同様の水準で推移することになる。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・緊急事態宣言が延長されたため、観光、飲食を中心とした景気回復はまだ期待できない。一方、公共工事を中心に建設投資は積極的に発注されている。業種による格差はあるものの、全体的な景気は横ばいでの推移となる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・東京オリンピックの状況にもよるが、現状、景気が良くなるような要素は少ないため、現状維持が精一杯とみられる。
		その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が出されている現況下においては営業活動に制約が生じている。通常営業が困難な状況であり、先行した設備案件なども投資意欲が薄れているため、今後も景気は変わらない。
		司法書士	・ワクチンが国民に広く行き渡るまで景気回復は期待できない。東京オリンピックが開催されたとしても、コロナ禍によって行動が制限されるような開催では経済的なメリットも少ない。これらのことから、少なくとも年内の景気回復は期待できない。
		司法書士	・緊急事態宣言の影響が大きい。一方、各自自治体でワクチンの接種が始まっているが、全ての世代にワクチンが行き渡るまでには相当の時間を要すると考えられるため、しばらくは経済活動の制限が続くことになる。また、変異株への効果やワクチンの副作用などを心配して、接種をしばらく見送ると考えている人も多いことから、景気の落ち込みはまだしばらく続くことになる。
	x	金属製品製造業（従業員）	・鋼板の再値上げが発表されたほか、銅地金は史上最高値を記録し、アルミも値上がりしているなど、製造業にとっては大幅な原価アップは避けられない状況にある。特に住宅市場においては、コロナ禍の影響で木材が不足し、それに伴う資材価格の高騰も生じているため、今後、景気がどこまで落ち込むのか見通しも立たない状況にある。
	x	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・受注案件の縮小に伴う要員削減が通知されたことから、今後の景気はやや悪くなる。
雇用 関連		-	-
(北海道)		人材派遣会社（社員）	・コロナ禍のなか、様子見している企業もみられることから、力強い回復となるにはまだ時間を要する。営業職の求人数が新型コロナウイルス発生以前の水準に戻れば、景気の回復基調に入ったとみることができる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、第1次産業とかかわる第2次産業や関係する企業の求人意欲は、秋口まで若干のプラスで推移するとみられる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・ワクチンに全幅の信頼を置いているわけではないが、全ての年代へのワクチン接種が終わらない限り、新型コロナウイルス感染者数は増減を繰り返しながら推移するとみられることから、今後も景気の悪い状況は変わらない。
		職業安定所（職員）	・これから2～3か月程度で景気が上向くとは考えられない状況にある。ただ、今後、景気が特別悪くなるようなこともないとみられるため、現状と変わらないまま推移する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・当地における新規求人数は前年から10.3%の増加となっている。また、新規求職者も前年から11.2%増加しており、当面は現在の水準のまま推移する。ただ、新型コロナウイルス感染拡大の影響で需要が低迷する一部の業種においては不安定な動きが引き続きみられており、予断を許さない状況にある。
		職業安定所（職員）	・管内における新型コロナウイルス感染者数は多くはないものの、雇用調整助成金の相談が増えてきていることから、引き続き新型コロナウイルスの影響が見込まれる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が収束に向かうことになれば、人流が活発になり、景気も上向きになるとみられるが、ワクチン接種のめども立っていない現状では余り期待できない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・変異株による新型コロナウイルス感染が拡大している状況下では判断しづらいが、感染者数が減少に転じるまで時間が掛かりそうなことから、今後についても様子見が続く。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・ワクチン接種が進むことで経済活動が回復することを期待したいが、この春にも老舗居酒屋が閉店するなど、体力の限界に近づいている店舗、企業が多数あるとみられる。
	x	-	-

## 2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (東北)		衣料品専門店（店長）	・前年の6月頃は新型コロナウイルスへの対策が落ち着き、景気が少し上向いた。他力本願ではあるが、ワクチン接種が進んでくれば、前年同様景気が上向く局面が出てくるのではないかと期待している。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がある程度広まる。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・ワクチン接種が進み、経済活動が以前の状態に復帰するにつれ、景気も改善方向になると予想している。
		百貨店（経営者）	・ワクチン接種が進むにつれて、シニア層の来店が増加することを期待している。飲食店の営業が平常化し、街に出る理由が増えていけば、身に着けるモノの消費などへの拡大が期待できる。
		スーパー（経営者）	・ワクチン接種が進むことで人混みに出やすくなり、今までのまとめ買い傾向も改善されるとみている。また、ワクチン接種の進捗状況にもよるが、東京オリンピックが近づくとつれ気持ちは高まり、人の動きも良くなってくると予想される。
		コンビニ（経営者）	・来客数は余り伸びていないが、客単価や買上点数が若干上向いてきている。前年比でもプラス、3か月前と比べてもプラスに転じている。これにワクチンの接種率が上がれば、良い方向に向かうのではないかと期待している。
		コンビニ（経営者）	・夏場の祭りやイベントも続々中止、縮小が決まっているなかで、どうなるのか先が見えない。ワクチン接種も遅れているようなので、来客数も大して伸びないのではないだろうか。夏場に稼いで厳しい冬場を乗り越えていたのだが、夏場に稼げないなら本当にどうなるのか。ただただ不安である。力尽きる店舗も出てくるであろう。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の拡大により、人の動きがより活発になると推測される。
		コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除されれば、人の動きが活発になり売上改善が見込める。
		コンビニ（エリア担当）	・盛夏に向けて上昇傾向になる見込みである。
		家電量販店（店長）	・前年より来客数は減っているが、単価が上がったことが好要因になっている。新型コロナウイルスワクチンを接種する年配者が多くなり、今後は接種を受けた客が増えて来客数が増えるのではないかと予想している。
		住関連専門店（経営者）	・3か月前にはワクチン接種も大幅に進み、東京オリンピックにも刺激されて、経済活動が活発化することが予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・感染状況も落ち着いてきて、ワクチン接種も進んでくることが見込まれる。その影響で、来客数も戻ってくることが期待できる。
		高級レストラン（スタッフ）	・コロナ禍で倒産する企業が増えており、そこに外資が入ってくる。そのタイミングでコロナ禍が終了し、徐々に経済活動が増え、夜に外食する人が戻ってくる。
		一般レストラン（経営者）	・現在の状況が長く続けば、店を閉めなければならなくなる。ワクチンの効果が出てきて、客が戻ってくれることを願うばかりである。
		一般レストラン（経営者）	・ワクチンの接種率が上がってくれば良くなる。しかし、1年以上も続くコロナ禍において急激に良くなるということではなく、徐々に良くなるのではないかとみている。
		観光型ホテル（経営者）	・ワクチン接種が進み、国民が経済活動を徐々に始めるとみている。
		観光型旅館（経営者）	・ワクチン接種も始まってきているので、今よりは人の動きも増えてくるのではと期待したいところである。
		観光型旅館（スタッフ）	・ワクチンの供給について、種類も増え、特に首都圏で接種が進むことにより、人流が増えることを期待したい。また、本県での宿泊施設に対する助成について、今夏も実施されることが決まっているので期待している。
		旅行代理店（従業員）	・東京オリンピック・パラリンピックが有観客で開催されれば、少し良くなるとみている。
		旅行代理店（従業員）	・感染者数の減少、並びに首都圏マーケットからの人流拡大が反転攻勢への最大のポイントである。ワクチン接種拡大によって、客のレジャーに対する心理的不安が緩和されることと、需要を誘発する地域観光支援事業が連動することにより、現在を底にして、徐々にではあるが復調に向かうとみている。
		タクシー運転手	・タクシーを利用している高齢者の方々は、感染が怖くて外出控えをしているので、ワクチン接種が進むにつれ、我慢していた外出を1人、2人と始めることは明らかである。勾配はかなり緩いラインを描くと思うが、景気に変化をもたらすと推察される。
		テーマパーク（職員）	・緊急事態宣言の解除などがなされれば、外出したい人がたくさんいるため、集客に期待できる。
		遊園地（経営者）	・ワクチン接種が加速し、順番が若い世代にも回ってくれば、少しずつ景気も回復傾向に向かうとみている。
		美容室（経営者）	・売上が今月はかなり落ち込んでいるので、それよりは良くなる。新型コロナウイルスワクチンの接種が進めば年配客が戻ってくると期待している。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスワクチン接種が進んでおらず、安心して外出できる環境ではないことから、現在と変わらない。
		商店街（代表者）	・まだまだ2～3か月では自粛から抜け出せない。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの終息の見通しが付かず、判断できない。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・全国的なパンデミックの影響が更に拡大しており、地域社会においても巣籠り状態が改善される状況にはない。ワクチン普及の影響がどう出るか次第である。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・ワクチン接種が開始されてはいるが、数か月でこの状況が好転するとは到底思えない。各団体等の総会などの時期ではあるが、ここに来てそういった集まりもほぼ全てキャンセルとなっている。十分な支援もないなかでどこまで耐えていけるのか。本当に厳しい状況が続く。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・しばらくは低迷の状況が続くとみられる。
		百貨店（売場主任）	・ワクチン接種がどこまで進むかにもよるが、首都圏や大都市圏の新型コロナウイルス感染が落ち着かない限り、報道等による心理的影響もあって、地方においても消費マインドは上向きにならないと考える。
		百貨店（営業担当）	・来客数が横ばい傾向であることから、現在では新型コロナウイルス感染者数やワクチン接種状況に大きく左右されることはないかとみている。
		スーパー（経営者）	・6月は経済活動の活性化や景気回復、消費の拡大の切り札としてのワクチン接種が緒に就いたばかりなので、しばらくは同じ状況が続くものと推測している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・乗客数の減少が続いていることに加えて、客単価が目立って落ち込んできている。この状況は今後も続くともみている。
		スーパー（店長）	・この先は、減収している家計が増加することで、低単価商品ばかりに人気が集まる傾向が出てきて、結果、客単価が回復しないまま売上が作りにくい状況になると予測する。
		スーパー（企画担当）	・まだまだコロナ禍が続いており、食品小売業は高水準のまま推移している。今年一杯くらいはこの状況は変わらないともみている。
		スーパー（営業担当）	・内食需要の高まりで家庭内での食事が増え、生鮮の売上が好調だったが、5月は生鮮の売上も苦戦している。現状の厳しい状況は今後も続くともみている。
		コンビニ（経営者）	・最低でも横ばいで推移しなければ、かなり厳しい状態になる。
		コンビニ（経営者）	・気温上昇に伴い、客足が戻ってきたようではあるが、新型コロナウイルスの影響がまだ続くことが予想されるため、変わらないともみている。
		コンビニ（エリア担当）	・首都圏を中心に新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいるが、観光地がある地方でのワクチン接種は時間が必要ともみている。
		コンビニ（店長）	・東京オリンピックまでは全体的に自粛ムードが持続するという雰囲気がある。一部解除になったところで消費者のマインドは上がってくることはなく現状維持とみられる。
		衣料品専門店（経営者）	・ワクチン接種を早急に行わないと、人出が戻らず小売業は大変な状況になり、倒産する企業が増加する。
		衣料品専門店（経営者）	・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの終息が見えてくれば、気分も上がり、購買意欲も上向きになると期待している。だが、まだまだもう少し先とみている。
		衣料品専門店（店長）	・高齢者から一般の人にワクチン接種が進まない、日常生活を送ろうとするマインドにならないため、消費活動も慎重なままの状態が続くとみられる。
		衣料品専門店（店長）	・ワクチン接種が終わるまでは、景気は変わらない。
		衣料品専門店（総務担当）	・新型コロナウイルスの終息のめどが立たない状態で、今後大きな影響を受けるとみている。
		家電量販店（店長）	・コロナ禍でショッピングを自粛している状況は変わらないと予想している。
		乗用車販売店（従業員）	・半導体の不足による車の納期の遅延がなかなか収まりそうになく、このまましばらく続くともみている。
		乗用車販売店（従業員）	・受注は新型車の発表もあり順調に推移しているが、納期が半年以上の車種もあり、メーカーの生産予定がはっきりしていない。
		乗用車販売店（従業員）	・受注はあるが、製造元が生産調整等のため、納期が延びつつある。3か月先も改善されているとは思えず、現状維持がしばらく続くのではないかとみている。
		住関連専門店（経営者）	・受注生産をしているが、2～3か月後の受注量が乏しく、厳しい状況である。
		その他専門店〔食品〕（経営者）	・ワクチン接種が飛躍的に進めばもう少し明るい兆しが見えると思うが、もう半年くらい掛かるのではないかと予想している。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	・ワクチンの接種により、新型コロナウイルス感染者数にどのような影響があるのかが分からない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・ワクチン接種や東京オリンピック開催等、動向が不透明であり見通しが立たないものの、大きな変化は当面ないとみている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルス対策での自粛が解けるとは考えづらく、変化はないともみている。
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が終われば、初秋以降は少し持ち直してくるとみている。
		一般レストラン（経営者）	・当地でも時短営業の延長が決まっている。せめて21時までアルコールが提供できるようにならなければ、景気は絶対に良くならない。
		観光型ホテル（スタッフ）	・とにかく新型コロナウイルス感染が収束するまで状況は変わらないと思う。
		通信会社（営業担当）	・現在の状況から好転するような材料に乏しい。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者が数か月連続して増えているため、生活費を節約する傾向が強くなってきている。自粛生活が日常的になり、通信環境の整備などに一気にブレーキが掛かってしまった。新たに出費することを控え、しばらく我慢する傾向が出てきており、この状況がしばらく続くともみている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束しないと厳しい。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス次第である。
		観光名所（職員）	・やはりワクチン接種が一番の起爆剤になる。自分の80歳以上の家族にもやっと回ってきたが、とにかく進行が遅い。このままでは景気の回復は半年後でも望めるかどうか怪しいところである。ワクチン接種による人々の新型コロナウイルスに対する意識の変化を待たなければ、回復は望めない。
		遊園地（経営者）	・高齢者へのワクチン接種が進み、心理的に好転すればいいが、変異株のこともあり、見通しにくい。
		競艇場（職員）	・ほぼ常連客ばかりなので売上は今後も変わらないともみている。ただ、大口客の動きによっては売上が大きく変わるの で、良くなることも考えられる。
		美容室（経営者）	・新規客がほとんどいないので変わらない。
		設計事務所（経営者）	・震災復興が一段落した状態であり、新たな建設需要を喚起する話題は特にない。今後は、脱炭素社会、省エネ等を念頭に置いた既存建物の改修が多くなり、設備設計は一定の業務が続くとみている。しかし、新築が減少することから、構造設計は市場が縮小すると予想している。
		住宅販売会社（経営者）	・全体的な受注量は変わらないが、住宅の占める割合が下がってきている。
		商店街（代表者）	・ワクチンの接種が始まったが街中の様子はほとんど変わらない。2～3か月先については予想が付かないが、自店の予約状況からみても今とほとんど変わらないが、悪くなると予想している。
		百貨店（買付担当）	・ワクチン接種次第である。近隣のショッピングセンターや学校等でも感染者が出ており、いつ外出自粛になってもおかしくない状況である。それまでは粛々と営業するしかないと考える。
		スーパー（店長）	・前年は新型コロナウイルス感染が拡大した状況のなかで、飲食店ではなくスーパーに客が殺到した。それから1年経ち、落ち着いた状況にある。また、4月にさくらんぼの低温被害が発生している。単品ではあるが、非常に分母が大きい ため、さくらんぼの業績の下降は影響がある。
		スーパー（営業担当）	・県内産農産物の需要期になるが、今年の天候影響により大幅な不作傾向が予測され、県内経済環境に影響してくるのではないかと懸念している。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者がまた増えてきて、その影響がこれから出てくるとみている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数が増えてきて、ワクチン接種も進まない状況では、良くなる要因がない。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスワクチンの接種が始まったが、ある程度行き渡るまではもう少し悪化すると予測する。
		乗用車販売店（店長）	・ポリウムゾーン車種の半導体不足による生産遅延から、更に受注につながりにくい構造になっている。客の購買マインド低下にも影響している。
		自動車備品販売店（経営者）	・2年続きのイベント中止を決めている各種団体もあり、消費を地域人口だけで補うのは限界にきている。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・東京オリンピックの開催は1つの起爆剤になるのではと考えているが、うまくいくかどうか分からないのが本音である。飲食店の廃業なども今後ますます増えていくのではないかと危惧している。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大状況に左右されるが、繁忙期である夏休み商戦にも影響が出始めていることから、旅行・観光業界における景気回復には至らない。夏休み商戦で受注数を伸ばすことができないとなれば経営は更に悪化傾向となる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスワクチンの接種が年配者から始まっている。早く全ての年代の人に行き渡ることを期待している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（営業担当）	・赤字になっているホテル業や飲食業以外の業種でも、決算状況によってボーナスが支給されない企業が出てくることから、消費動向は下降すると考える。新型コロナウイルスの感染が収束し、経済活動が活発にならなければ景気が上向くことはなく、現状に誰もがストレスを感じている。
		通信会社（営業担当）	・ようやく新型コロナウイルスワクチン接種が各地でスタートしたが、日本の全人口に行き渡り、収束するまでには1年超は掛かるとみている。収束の兆しが見えるまでは景気は悪くなり低迷する。
		観光名所（職員）	・緊急事態宣言の発出により再度の外出自粛が見込まれる。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・まだまだ先が良くなる見込みはない。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住宅設備機器はエアコン以外の問合せは減っている。リフォームは家計に響くような高額な工事は先延ばしにされているようである。
		その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・来場者数はイベントの開催有無に左右されるため、現状と大きな変化はないとみている。ただ、今年度の住宅販売数は前年比で大きく下がっていないため、1～2年後に購入を予定する客の来場が減少していると分析している。
	x	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・5月31日で終わるはずの当地での時間短縮営業が、一部地域を除いて6月13日まで延長となっている。これでは全く人の流れは戻らない。また、東京方面の緊急事態宣言の解除が6月20日なので、東京からの人の流れもストップしてしまう。全国的なワクチンの接種が終わるまでは難しい。
	x	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・年配客が多いため、現在のコロナ禍の状況が変わらなければ、元に戻る条件が満たされない。元に戻ったとしても、これまでの客が戻ってくるかは不透明であり、何ともいえない。
	x	スーパー（経営者）	・東京オリンピック開催の付けが国民に回されるという不安があり、買物行動を控えるマインドにつながるとみている。
	x	家電量販店（従業員）	・1品単価、買上点数共に少しずつだが減少傾向がみられる。
	x	その他専門店〔酒〕（経営者）	・その場しのぎの新型コロナウイルス対策が続くと、収束が長引き深刻な状況になることが懸念される。英国などのように徹底して状況が改善する見通しを立てないと飲食店が壊滅する可能性が高い。
x	一般レストラン（経営者）	・思い切った全国規模での封じ込めが実現しない限り、仕事の移動や学校関係の動きで新型コロナウイルス感染は増える一方である。どこかが減っても別のどこかが増えるようないたちごっこを抑止しない限りは経済は伸びないままである。	
企業 動向 関連  (東北)		建設業（企画担当）	・当地では、ワクチンの接種が始まり、新型コロナウイルス感染者数も安定してきているため、新型コロナウイルスに対する受け止め方がかなり落ち着いてきている。
		食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、繰り返し行動の自粛を求められている今の状況をみると期待は薄い。通販の売上も前年ほどの勢いはない。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ワクチンの接種の人数次第では、やや盛り返すのではないかと。
		金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響によって変化する可能性はあるが、後ろ倒しになった受注が一気にくると予想している。
		広告代理店（経営者）	・ワクチン接種が進めば、大きく経済は動くともみている。
		経営コンサルタント	・ワクチン接種が加速することで、心理的にも実質的にも明るい展望が生起されると期待している。
		公認会計士	・新型コロナウイルスワクチンの接種率が高くなれば、消費者の購買意欲が戻り、小売業、サービス業も回復傾向に向かうとみている。また、飲食業の時間規制が外れてくればこちらも業績が回復するので、全体的な景気はやや良くなるとみている。
	農林水産業（従業者）	・初夏の果物さくらんぼは、霜の害で収穫量減少が懸念されるものの、流通量減少により価格は上昇することが予想される。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		食料品製造業（経営者）	・東京オリンピックも開催がどうなるか分からないが、開催しても入場者数の制限など人の動きはかなり制限されるとみている。また、当地の七夕祭りも開催する方向だが大きく制限された形になりそうなので、土産需要はかなり厳しい状況が続くことが予想される。
		食料品製造業（営業担当）	・今年になって月の売上高が前年比をキープできることが多くなっており、マイナス状況は底を打ったとみているが、2～3か月では景気の変化は感じられないとみている。
		輸送業（経営者）	・ワクチン接種率が増えていくのと並行して景気も回復していくと予想する。インド変異株が猛威を振るわないうちに、ワクチン接種が劇的に進捗することを願っている。
		通信業（営業担当）	・客の心情を逆なでしないよう気を使いながら、つなぎ止めの施策を絞り出すしかない。
		通信業（営業担当）	・緊急事態宣言及び時短営業が長引いていることで経営が厳しくなる企業も増えており、営業を断られることも増えている。
		金融業（営業担当）	・ワクチンが行き渡り、新型コロナウイルスの感染収束のめどが立つまでは厳しい状況が続くと見込まれる。
		金融業（広報担当）	・ワクチン接種が広く浸透し、その効果が地場経済活動に好影響を与え始めるにはもう少し時間が掛かるものと考えている。
		広告業協会（役員）	・夏の三大祭りの1つが前年同様中止との発表があり、イベントの復活にはまだ遠い道のりである。ワクチン接種が順調に、早期に進むことだけが頼みの綱である。
		広告代理店（経営者）	・緊急事態宣言エリアでの期間の延長、その後の解除がいつになるか見通せない。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・ワクチン接種をいかに早く行うことができるかが鍵である。順調に進めば良くなるし、そうでなければ悪くなる。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・ここ数か月間でワクチン接種が進むのは高齢者が中心で、新型コロナウイルスの感染拡大のリスクは今後も変わらない。現在の緊急事態宣言の発出と解除が繰り返されると予想している。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・街の温泉街の予約状況をたずねても、低調なことに変わりはないようである。元来、県外客が多いため、新型コロナウイルスの影響による足止めがまだ続くような気配を感じているとのことだった。
		その他企業〔協同組合〕（職員）	・コロナ禍が収束しない状況下で活発な打合せや新規客先への訪問等ができず、依然として受けの状態が続いている。新規案件がなかなか見込めずにいる。
		農林水産業（従業者）	・4月の強い遅霜により、果物全般で大きな被害が出ており、品質と数量の低下は避けられない。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・東京オリンピックの経済効果が期待できないことや、新型コロナウイルスの終息がまだまだみえてこない現状から、経済の回復には相応の時間が掛かるとみられる。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・半導体需要が落ち着きつつあり、今後としては従来の価格帯に戻るとみられ、相対的に景気は若干悪くなると考えられる。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・コロナ禍の影響により、個人消費は引き続き伸びないものとみている。
		建設業（従業者）	・緊急事態宣言の延長見込みにより、事業者内での意思決定が先延ばしになるケースが増加することが予想される。
		司法書士	・住宅用木材の輸入について、不透明感があるとして、住宅着工への悪影響を懸念する声がある。
		コピーサービス業（従業員）	・新型コロナウイルス感染の収束がみえないなか、設備投資については慎重になっている企業が多い。また、直接商品に触れることができる展示会などが開けないなか、商品の訴求力を高めることが難しくなっている。
	×	窯業・土石製品製造業（役員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、消費は低迷し、民間工事も停滞している。東北に地域をけん引するような大型プロジェクトも見当たらない。
雇用関連 (東北)		人材派遣会社（社員）	・他県にて、感染者を収容している民間ホテル内での24時間支援派遣を受託し増員中である。県内の自治体からもワクチン接種の受付業務を受注し選考中である。外部人材の需要が高まっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		アウトソーシング企業（社員）	・今後、ワクチン接種も進み平常を取り戻すとみている。
		人材派遣会社（社員）	・業績の回復が見込めないと、求人にも跳ね返ってこない。ワクチンがある程度浸透すれば業績の回復を見込める企業もあり、そういった企業が求人回復、採用を復活させることが予想される。
		人材派遣会社（社員）	・B to Bビジネスを中心に、今後の成長を見据えた採用強化の動きが強く、商況としては良化していくことが想定される。
		人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種の進捗によるが、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が延期されなければ少し状況は良くなるとみている。
		新聞社 [ 求人広告 ]（担当者）	・高齢者のワクチン接種が始まっている。7月末に完全接種終了とはいかなくても、接種を終えた高齢層が動き出すことは間違いない。経済的にも余裕のある世代なので、旺盛な消費が期待できる。
		新聞社 [ 求人広告 ]（担当者）	・世界文化遺産の登録勧告を受けたことにより、地域の活性化が期待される。
		職業安定所（職員）	・働き盛りの人へのワクチン接種開始が鍵になるとみている。売手市場だった雇用情勢に戻っていくことができれば、県内への企業の誘致、工場の増設の話もあり、期待が持てる。
		人材派遣会社（社員）	・状況的にコロナ禍が落ち着かない限り活発な採用、求職者の動きは見られない。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響が緊急事態宣言などで一段と大きくなっている。今後の見通しは東京オリンピックの経過とワクチン接種の進み次第と予測している。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がある程度進むまでは一進一退が続くのではないかとみている。
		職業安定所（職員）	・前年と今年の4月で比較すると新規求人数は約600人、有効求人数は約700人増加している。しかし、新規求人数、有効求人数共に前々年の数字には届いていない。今後も同様の傾向は続くとみている。
		職業安定所（職員）	・東京オリンピックの開催について不透明な状況にあり、激変の可能性もある。
		学校 [ 専門学校 ]	・コロナ禍において、巣籠り需要の継続により、テイクアウト等のサービスを展開できる業種は求人の増加が想定されるが、観光等の業種は依然厳しい現状が続くとみられ、総合的には変化がないとみている。
		職業安定所（職員）	・求職者数が増加しており、大型工事が終期を迎えていることから、景気は悪化していくとみている。
	×	人材派遣会社（社員）	・東京オリンピック開催で更に消費マインドが落ち込むことが想定される。
	×	新聞社 [ 求人広告 ]（担当者）	・ワクチンが行き渡るまでは現在の状況が続くと予想される。

### 3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北関東)		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、感染リスク低減への一定の効果が得られることや、東京オリンピックの開催、開催後には客の購買意欲も徐々に喚起されていくと想定されるため、良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、まずは高齢者の接種が終われば、人の動きが戻ると期待したい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔土産〕 (経営者)	・5月下旬になり、首都圏からの修学旅行や遠足の児童生徒が、大手の観光センターに来店するようになってきている。個人的には、我慢を続けている学生の修学旅行等は、新型コロナウイルスの感染対策を行った上で、積極的に実施してもらえればよいと思っている。もちろん、我々観光事業者にとっても大変有り難い。2～3か月後には、ワクチン接種も若い世代にまで進んでいると思われるので、観光に行こうという気分が醸成されるのではないかと、との希望的観測も聞かれるようになってきている。一方、東京オリンピックの開催で、より感染力の強い変異株がまん延し、全国的な緊急事態宣言が再発出され、今以上に景気が悪くなるのではないかとという悲観的な意見も、少数ではあるが聞かれる状況である。
		百貨店(営業担当)	・緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の解除を始め、新型コロナウイルスのワクチン接種拡大により人流が回復すれば、消費マインドは改善される。
		百貨店(営業担当)	・緊急事態宣言の延長も議論される一方で、新型コロナウイルスのワクチン接種も始まっており、接種スピード次第だが、今後数か月で来客数や売上も少しずつだが回復基調になると思っている。
		コンビニ(経営者)	・これから気温が上昇していくと、アイスクリームやソフトドリンク等の売上が増加することや、現状よりも新型コロナウイルスの感染が収まれば、外出等が増えていくので、来客数も増えていく。
		コンビニ(経営者)	・4月よりも5月と、前年割れの日が少なくなってきている。また、営業車等も日中は増えてきているように見受けられる。しかし、夜の来客数は新型コロナウイルス流行前には戻っていない。ワクチン接種に期待したい。
		衣料品専門店(店長)	・新型コロナウイルスのワクチン接種をした方が増えつつあり、安心感から購買意欲が湧き、景気が上向く流れがある。
		家電量販店(店長)	・夏物商材に動きが出るとみている。
		乗用車販売店(経営者)	・当地域の自動車メーカーは、ゴールデンウィーク明けの10日から、生産ラインがほぼ平常通りに動き始め、安定している。その上、夏から秋にかけては新型車が次々に発売される予定で、街には活気が漂い始めている。ただし、飲食業は壊滅的で、小売業では相変わらず大規模小売店の独り勝ちというところだろうか。
		一般レストラン〔居酒屋〕(経営者)	・近隣の緊急事態宣言等が解除され、新型コロナウイルスワクチン接種の進捗が報道されるにつれ、人出は徐々に増加している。予定した行動は少ないが、当日の購買欲求は抑えられないようで、ストレスがまん延している状況だと思う。前年から同じパターンを繰り返している。
		都市型ホテル(支配人)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が順調に進めば、東京オリンピック等のイベント再開も見込まれるため、希望的観測として、やや良くなることを望んでいる。
		旅行代理店(経営者)	・65才以上の高齢者に新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、旅行需要は回復してくるとみている。
		旅行代理店(所長)	・楽観的観測にはなるが、新型コロナウイルスのワクチン接種が少しずつ進みだしたことや東京オリンピック・パラリンピックについても、少しずつ具体化してきているので、期待を込めて良くなると思いたいというのが正直なところである。
		旅行代理店(従業員)	・動き始めた現状が、継続すると信じている。
		通信会社(総務担当)	・地元自治体が、高齢者向けにワクチン接種を行っており、現在、来店せず減少している層が、外出を恐れなくなると予測する。
		通信会社(局長)	・周囲では新型コロナウイルスのワクチン接種も開始され、業務面ではコロナ禍の対応が整いつつあるため、やや良くなる。
		設計事務所(所長)	・東京オリンピックの開催如何によるが、新型コロナウイルスのワクチン接種が開始され、人の動きは戻ってくると予想される。
		商店街(代表者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進展が思わしくいなか、東京オリンピック・パラリンピックへの関心が全くみられない。ワクチン接種が早まれば、先行きに明かりがみえてくる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔精肉〕 (経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったが、落ち着くのはまだ先のようなのである。東京オリンピックの開催に期待をしているが、少し危ぶまれる。
		一般小売店〔青果〕 (店長)	・毎回同じだが、新型コロナウイルスの状況次第である。
		スーパー(商品部担当)	・来客数や客単価は横ばいであり、外部環境等が現状より良くなる理由が見つからない。
		コンビニ(経営者)	・2～3か月後は変わらないと回答したが、新型コロナウイルス次第である。現状のままであれば変わらないと思うが、仮に当県で患者数が増えて悪化した場合、コンビニという特性上、人の動きが悪ければ当然、売上も悪くなる。ただし、その分、在宅需要というプラスの面も多少はあるので、よほどのまん延でない限りは、売上の面には変わらない。
		コンビニ(店長)	・景気が上向き材料がない。
		衣料品専門店(統括)	・いつも同じようなコメントになるが、新型コロナウイルス問題が解決しない現状では、経済が良くなる可能性はないと思っている。毎年、今頃は夏祭りが全国的に動き出す時期だが、そういったにぎわいもなかなかみられない。2年連続の祭りの中止は、大変きついものがある。
		衣料品専門店(販売担当)	・現状が相当悪いなか、これ以上悪くなったら、回答もできない状況になってしまうくらいに悪い。今後、新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、若干人出は良くなると思うが、それも希望的観測である。本当に現場に合った政策を早くをお願いしたい。それしかない。
		乗用車販売店(販売担当)	・当社は観光地を控えた環境のため、新型コロナウイルスのワクチン接種がある程度行き渡らないと、人の往来も少なく、前月や前々月と同様の状態で変わらず推移していくのではないかと。ワクチン接種が終わる来年あたりから、やや良くなることを願っている。
		自動車備品販売店(経営者)	・今後については、やはり新型コロナウイルスの影響で、先が読めない。
		住関連専門店(店長)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、これ以上は悪化しないと思うが、変異株に関しては予測ができないので、重症化する感染者は多くなると思う。
		住関連専門店(仕入担当)	・緊急事態宣言の対象地域ではないが、人の動きが制限されるなかで、消費意欲は減退したままである。東京オリンピックの開催についての不安要素も重なり、新型コロナウイルスのワクチン接種率の高まるスピードも遅いため、当面、今の低迷した状況は変わらない。
		その他専門店〔靴小売業〕(経営者)	・新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置の適用地域の解除次第である。また、ワクチン接種がスピードアップしていき、客に安心感が出てくれば、ようやく買物へ少し目が向くのではないかと。
		一般レストラン〔居酒屋〕(経営者)	・社会情勢は日々変わるので何とも言えないが、今のままでは現状と変わらない。
		一般レストラン(経営者)	・新型コロナウイルス騒動が始まってから、良くなってきたという話は、どこに行っても一切耳にしない。
		都市型ホテル(総支配人)	・ワクチン接種が進み、ある程度、新型コロナウイルスが収束してくることを願いつつも、この状況が劇的に改善するとは思えない。半年くらいは低迷が続くのではないかと。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチンが行き渡るまで、良くなれないような気がする。まだまだ時間が掛かるのではないかと。
		タクシー(経営者)	・全体的に人の動きが悪いので、この先も良くない。
		通信会社(経営者)	・まん延防止等重点措置の適用地域ということでの影響もあるかもしれないが、とにかく景気は悪い。今後については、新型コロナウイルスのワクチン次第ではないかと。
		通信会社(営業担当)	・緊急事態宣言の延長が終わり、東京オリンピックの実施次第で改善する可能性もあるが、現時点では不透明で期待は持てない。
		テーマパーク(職員)	・新型コロナウイルスの感染状況に落ち着きが見られず、ワクチン接種率が高まらない現状では、回復するとは思えない。
		ゴルフ場(総務担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進捗状況次第である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		競輪場（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まっているが、接種状況の進捗次第で、客足等に变化があると期待したい。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスワクチン接種の効果が出るのには、まだ時間が掛かると思われる。また、東京オリンピックの開催についても微妙な状態なので、景気回復にはかなり時間を要する。
		家電量販店（店員）	・前年のような個人向けの給付金が給付されなければ、即効性のある購買にはつながらないため、徐々に販売量が落ちる。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルス禍で、東京オリンピックも開催するかわからない状態、皆不安に思っている。不安な気持ちでは、物を買ったり修理したりはできないので、更に悪くなる。
		その他専門店〔燃料〕（従業員）	・新型コロナウイルスの終息状況が出てくれば、需要は回復し、注文残が増えると思う。現状、注文残は減少しているため、回復はまだ先になるとみている。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むにつれ、景気も回復していくと言われていたが、労働集約型のままでは人手不足並びに人件費上昇が改めて課題となり、業績回復の重しになってくると懸念される。労働条件の改善等、適切な対処が不可欠になってくる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・4月末から県独自の新型コロナウイルス警戒レベルが最高になったことに加え、まん延防止等重点措置区域に入ってしまった、数少なかった宴会もキャンセルが相次ぎ、レストラン、宿泊は共に客足が止まってしまっている。来月半ばで解除されたとしても、そこから回復する見通しが立たず、夏の予約は過去最低となってしまいそうである。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・新型コロナウイルスがワクチン接種で収束しなければ、事態は改善されない。
		住宅販売会社（経営者）	・材木不足のため、連鎖的に価格高騰が起こり、客の動きが悪い。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・完全に景気が崩れている。新型コロナウイルスのことで騒いでいる現状のまま、東京オリンピックに突入する。この状況がかなりの不安定さを生んでいる。
	×	コンビニ（経営者）	・今後しばらく、イベントがない。以前であればイベントがある時期だが開催されないため、しばらくは悪くなる。
	×	家電量販店（営業担当）	・大きなイベントが開催されれば、間違いなく新型コロナウイルスの感染が拡大し、今より厳しい状況になる。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大第4波、変異株等、良いニュースがない。
×	タクシー（役員）	・政府の新型コロナウイルスの対策がひどすぎて、どうにもならない。	
×	美容室（経営者）	・我が国の多額の公的債務残高が、いずれは増税として跳ね返ってくると危惧する。	
企業 動向 関連 (北関東)		一般機械器具製造業（経営者）	・新規の自動車案件は、この春の立上げ予定が秋にスライドしている。本件に本格対応するため、忙しくなる見込みである。また、ロボット関連でも秋に増産計画が出てきている。
		化学工業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、良い方向に向かうと期待している。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・目標に向かって、実績を上げている。
		金属製品製造業（経営者）	・先のことはよく分からないが、良くなる要素はない。良くなることを願って、頑張っている。
		金属製品製造業（経営者）	・得意先調達部の話では、6～7月の発注量は変わらないとのことである。8月は稼働日数が少ないため、元々売上は悪い。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続いている。
		その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・まだしばらくは、新型コロナウイルスの影響があると考えられる。
	輸送業（営業担当）	・夏物家電、エアコン、扇風機等や園芸用品等が動き出す時期である。少し早めの梅雨入りや、新型コロナウイルスの緊急事態宣言期間も延長見通しだが、前年並みの物量は確保できそうな状況である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		不動産業（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染が収まったとしても、入居テナントの動向や管理清掃作業も予定どおり行えるかどうかは不透明なため、良くても現状維持程度である。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大の勢いは収まらず、この状態はまだしばらくは続く。
		経営コンサルタント	・東京オリンピックの開催はほぼ間違いないとしても、それが日本経済と地域経済に及ぼす影響は読みにくい。そうした意味で、良い悪いのまだら模様の業績格差が出てくるとみている。
		司法書士	・地域人口は少しずつだが減り続けているので、なかなか大きく良い方向に向かって変わるといえることはない。ただし、ある程度は努力次第で多少良い数字は出るのではないかとこの気持ちで頑張っている。
		社会保険労務士	・自粛の意識が薄れていく一方で、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、通常どおりの夏が戻れば多少回復すると思うが、政策を見ていると、大きな変化はないと思う。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・客の情報化に対する投資はそれなりにあるが、急激な変化はみられない。
		建設業（総務担当）	・公共工事の発注予定を見ても余り動きが良くなさそうである。民間工事は、更に動きが悪くなっていて不安である。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・当社だけでなく、いろいろな会社でも部材が入らず、どうにもならない状況が続いている。客の何社かでは、既に操業ストップが出始めている。これが続けば、製造業自体もかなり厳しい状況になってくる。
	×	建設業（開発担当）	・新年度がスタートしたばかりだが、今期は前年度の自然災害復旧工事が少ないので、厳しい。今後も新型コロナウイルスの感染対策が重要だと思われる。国も地方も対策に全力投球を願いたい。当地方はLRT事業が、当初予算より200億円以上超過の状況で、計画自体に問題があったと思われる。トップの責任は重要であり、政治責任を取ってもらいたい。当社も公共工事主体の企業なので、大変残念である。
雇用 関連		-	-
(北関東)		人材派遣会社（管理担当）	・コンビニ向けの麺類製造が増加し、製造派遣が増員される見込みである。
		職業安定所（職員）	・運送業では業務量増加に対応した求人募集の動き、段ボール産業からも受注が増加との情報がある。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、ワクチン接種の効果で、今まで逆境だった業界も上向きになっているようである。今後は、東京オリンピックの実施次第で多少左右されると思うが、良い方向へ向かうのではないかと。
		人材派遣会社（経営者）	・飲食関連は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、かなり動きが出てくると思うが、依然として厳しい状況での営業である。食品に対する購買力は高い。衣料については、梅雨がまだ来ていないなかで買い控えもあるだろうが、底堅い。
		人材派遣会社（社員）	・企業の業績回復にはまだ時間が掛かる。新型コロナウイルスのワクチン接種が進んで消費が回復し、企業の業績回復が見込まれば、人材獲得ニーズがより顕著になると思われるが、取引先の雇用状況はさほど変わらない。
		職業安定所（職員）	・新規求人数が前年比25.2%増となったが、前年度は緊急事態宣言発出による休業等の影響で、例年ある生活関連、娯楽業からのゴールデンウィーク期間の求人申込がなかったこともあったため、注視していく必要がある。
			*
	×	*	*

#### 4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連		家電量販店（店員）	・7月は季節商材の販売量の動きが現在より良くなり、売上の的には前年より期待できる。逆に、8月は今と変わらない状況になるのではないかと予想している。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
(南関東)		一般レストラン(経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種も始まったので、2～3か月先は緊急事態宣言が明けて、今の最悪な状況よりは良くなっている。酒も飲めるようになり、宴会も少しずつ入り、来客数も増え、街全体が活性化していく(東京都)。
		都市型ホテル(経営者)	・6月20日までまん延防止等重点措置が再延長になっている。東京オリンピックが開催されるという条件付きで、景気は良くなると回答しているが、もし中止となった場合には、全てがどん底に落ち、死活問題となり、会社の経営は立ち行かなくなる。したがって、東京オリンピックは最低でも無観客で開催してもらいたい。
		都市型ホテル(スタッフ)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、東京オリンピックも開催されれば、夏には間違いなく回復する。もう祈るしかない。
		旅行代理店(従業員)	・緊急事態宣言が解除されること、Go Toキャンペーンが復活することで、販売量がV字に伸びることが予想される(東京都)。
		旅行代理店(販売促進担当)	・2～3か月後だが、まず東京オリンピックが開催されるという前提で、当社の担う関連業務が動き出す。また、緊急事態宣言等がどうなるかにもよるが、7～8月の個人旅行の季節になり、そちらも期待できるので、今よりは間違いなく良くなると想定している(東京都)。
		一般小売店[家電](経理担当)	・年配客が新型コロナウイルスのワクチン接種を終えて安心して外に出られるようになれば、買物客も増えていく。
		一般小売店[文房具](経営者)	・新型コロナウイルスの収束は見えてこないが、2か月後の東京オリンピック開幕が少しは景気回復の起爆剤になるのではないかと期待している。無観客開催になると観光客による売上増は期待できないが、消費者が巣籠りとなる分、買物は近隣小売店を利用するのではないかとみている(東京都)。
		一般小売店[文具](販売企画担当)	・6月は店頭でセールに準じた売出しがあるので、売行きが伸びると考えている。また、外商の方も来月以降の案件が相当数決まっているので、何とかなるのではないかと。ただし、周りの同業者などは相当辛い状況に陥っている様子が見受けられ、必ずしもマイナス要因がないわけでもないので、総じてやや上向きと判断している。
		百貨店(売場主任)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染者数が少なくなれば、来客数の伸びも期待できる(東京都)。
		百貨店(広報担当)	・大きな状況の改善は見込めないものの、現状を「底」とみている。このため、緊急事態宣言解除後は徐々に客足が戻り、消費マインドについても今よりは改善すると見込んでいる(東京都)。
		百貨店(営業担当)	・新型コロナウイルス変異株の感染者数が徐々に増加しているが、ワクチン接種も始まり、生活者の感染への不安は徐々に解消される(東京都)。
		百貨店(営業担当)	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスワクチンが普及し、通常の生活が戻れば今よりは各段に良くなる。ただし、衣料品が多い業態でもあるので、2019年以前の水準に戻るかは不透明である(東京都)。
		百貨店(営業担当)	・営業範囲の拡大に伴い、来客数が戻ってくる。現状が底である(東京都)。
		百貨店(販売促進担当)	・新型コロナウイルス禍における規制により不況だが、消費者の購買意欲は高いため、ワクチン接種率が高まれば、来客数も増えてくる(東京都)。
		百貨店(販売促進担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいけば、百貨店の主要客層である高齢層の活動が再開し、購買活動につながると期待している(東京都)。
		百貨店(店長)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むこと、緊急事態宣言解除への希望がある(東京都)。
	百貨店(店長)	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進捗や、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の解除により多少回復するものの、以前の水準に戻るにはまだ時間が掛かる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、新規感染者数も減ってくれば、客の生活や行動も活発化してくるので、衣料品、住まい品の盛夏用の商材も動く。また、食料品に関しても、旅行等はまだ控える傾向なので、プチぜいたくというか、ちょっとしたごちそうをと、より良い商品を求める傾向があり、単価がアップする。ただし、前々年以前の水準まではまだまだ回復できないと見込んでいる。
		コンビニ（経営者）	・これから3か月先は梅雨も明け、夏を迎えるに当たり、ジュース関係の販売量が伸びる。
		コンビニ（経営者）	・2か月後は65歳以上の方がほぼ新型コロナウイルスのワクチン接種を終えていると考え、緊急事態宣言も解除され、人の動きが少しずつ出てくる。東京オリンピックも開催されるかもしれない。人の動きが出てくると、住宅地だけではなくショッピングモールや繁華街にあるコンビニ店舗の売行きも良くなる。ただし、緊急事態宣言がまだ続くとする、今の状況のまま変わらない。
		衣料品専門店（役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、客足も少しは戻ると思うので、期待したい。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで消費が回復することを期待している（東京都）。
		家電量販店（店員）	・緊急事態宣言が延長されているので、エアコンなどの需要が伸びる可能性がある。
		家電量販店（経営企画担当）	・新型コロナウイルスワクチン2種の追加承認も発表され、緊急事態宣言下であっても、今後、医療現場でのひっ迫状況が大きく改善してくると予想している。ワクチンの追加承認前とは大きく環境が変わっていると、好意的に受け止めている。結果として、国民の安心感につながり、消費にも良い方向となる（東京都）。
		乗用車販売店（総務担当）	・夏のボーナスや、東京オリンピック開催予定で客の動向が活発化すると予想する。ただし、半導体不足の影響で生産が整備されるかが鍵と考える。
		住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいる英国などの状況から、今後日本でもワクチン接種率が高まれば、流行をある程度抑制できると思われるので、経済活動や消費マインドの好転が期待される（東京都）。
		その他専門店〔雑貨〕（営業担当）	・現在は東京都からの営業自粛要請に伴い休業中だが、緊急事態宣言が解除され、営業が再開されれば、客足は戻るとみている（東京都）。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（団体役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んできており、少しずつ良くなっていくと感じる（東京都）。
		高級レストラン（仕入担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、多少は良くなると思うが、感染状況次第であり、不確定要素が多い（東京都）。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・当社側で講じた各種対策が一層の効果を出すことが予想され、効果の進展と共に収益も改善方向に向かうものと判断している（東京都）。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、打つ人が多くなれば、多少は人の動きも多くなってくると思われるが、以前のような動きに戻るのにはなかなか難しい。また、東京オリンピックの動向にもよる（東京都）。
		通信会社（社員）	・緊急事態宣言が延長されて不安が募る一方で、東京オリンピック開催を期待する声もあり、悲喜こもごもである（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されれば、転居等含む人の流れも良くなってくると考えており、今よりは改善されるはずである。
		通信会社（経営企画担当）	・商談の確定が少しずつ増えていく兆しがある（東京都）。
		ゴルフ場（経営者）	・東京オリンピックを強行開催しそうである。開催してしまえば、全体的な高揚につながる。
		パチンコ店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことにより、感染拡大防止のための規制が徐々に緩和され、少しずつ経済活動が拡大していくことが期待される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他レジャー施設 [総合] (広報担当)	・新型コロナウイルスの感染状況と東京オリンピックの開催状況次第だが、夏季なので来客数は増える可能性がある(東京都)。
		その他サービス[福祉 輸送] (経営者)	・高齢者への新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる段階だが、来月以降65歳未満の働く世代へのワクチン接種が普及していけば、消費行動が増えてくる(東京都)。
		設計事務所(経営者)	・具体的にはまだ決まっていないが、契約に向けて動いているものがある。
		商店街(代表者)	・当商店街はまん延防止等重点措置適用の地区になっている。客はそこそこ商店街に来てくれているが、年配客が少なくなり、若い人が多くなっている。そのなかで買物という行為が減っている。そのようなことから、この先の景気について非常に心配している。
		商店街(代表者)	・今の社会情勢が続く。東京オリンピックは東京都にとってマイナス効果になる可能性が高いと思うが、都議会議員選挙や政治によって、商業には何らかのてこ入れがされると思われるので、プラスマイナスゼロといったところかと考えている(東京都)。
		一般小売店[和菓子] (経営者)	・まん延防止等重点措置がまた延長になり、新型コロナウイルスワクチンの効果が表われるのもまだまだ先になると思われるので、影響はまだ続くのではないかと。
		一般小売店[家電] (経理担当)	・夏の暑さにもよるが、こちらからなかなかアクションを起こせない。祭り関係の電気工事も中止により行えない。
		一般小売店[家具] (経営者)	・新型コロナウイルスワクチンが行き届いて、やや良くなることを期待したいが、このままの状態が続くのではないかと(東京都)。
		一般小売店[祭用品] (経営者)	・まだまだ街に人が増える状況ではない。
		一般小売店[米穀] (経営者)	・販売量、景気共に今までどおり良くない。新型コロナウイルスの影響で、量販店、取引先の休業、消費マインドの低迷が続くため、物販は余り良くない(東京都)。
		一般小売店[傘](店 長)	・まだ楽観視できない。
		一般小売店[茶](営 業担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種もまだまだであり、特に良くなりそうな気配も今のところ見えない。何とか会社が存続できればいい(東京都)。
		百貨店(総務担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進みつつあるものの、感染者数等に鑑み、状況がすぐに好転することは難しい。
		百貨店(総務担当)	・新型コロナウイルス感染の収束が具体的な形として現れるまでは、現状の厳しさが続く(東京都)。
		百貨店(総務担当)	・緊急事態宣言の再延長が見込まれており、大幅な改善は見込めない。新型コロナウイルスの陽性者数減少とワクチン接種率の向上がなければ、消費者心理も好転しない(東京都)。
		百貨店(販売促進担 当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、通常の経済活動が行える状況になるまで、大きな変化は期待できない(東京都)。
		百貨店(販売促進担 当)	・延長された緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの感染者数が目に見えて減少し、ワクチン接種が進み、状況の改善が実感できない限り、景気は大きく上向くことはない。また、感染状況が落ち着いたあとも、消費形態は以前とは異なると思われるので、直ちに景気が良くなるとは思わない。
		百貨店(経営企画担 当)	・新型コロナウイルス感染の影響が全く見えないため、予測は困難である。しばらくはこの状態が続く。来客数が増えない限り、収益増は厳しいと推測している(東京都)。
		百貨店(副店長)	・新型コロナウイルス変異株の感染状況、ワクチン接種の拡大、東京オリンピックの開催可否など不確定要素があり、不透明感が強い(東京都)。
		百貨店(財務担当)	・新型コロナウイルス感染者数、ワクチン接種の状況により変動するが、現時点では予測が困難である(東京都)。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（販売担当）	・客の様子を見てみると、ポイント何倍だとか、広告初日の安価な商品、タイムセールなど、特典のある日付、時間帯などを、店をうまく使い回って、少しでも安く買物をしようという傾向がみられる（東京都）。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が大きく広まるまでは、3か月先も今のままで推移していくのではないかと。食品スーパーマーケットのため大きな落ち込みはないので、今の数字から考えると、3か月後も現状を維持しながら推移していくと予測している（東京都）。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響の長期化度合いによるが、売上が大きく変化する状況にはない。
		スーパー（店長）	・消費者には節約志向が依然として根付いており、新型コロナウイルスの感染拡大が消費に追い打ちをかけている。感染拡大が続いている限り、同様の状態がしばらくは続く（東京都）。
		スーパー（総務担当）	・良くなる見込みがない。
		スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルスワクチンの接種状況が良くなってくれば、来客数の増加が期待できる（東京都）。
		スーパー（ネット宅配担当）	・内食化は今後も継続していく。その中でおいしさ、おうちグルメ、宅飲みニーズは更に高まるとみている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が減るまでは厳しい。近隣にあるプールの夏期営業もどうなるかわからず、祭りの開催予定も未定なので、良くなる傾向にはない。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が余り変わらないように感じるため、来客数も少ないまま推移しそうである（東京都）。
		コンビニ（商品開発担当）	・緊急事態宣言の期間延長と、長梅雨になる可能性がある（東京都）。
		衣料品専門店（経営者）	・高齢者への新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、外出制限が少しずつ緩和されることを期待している。
		衣料品専門店（店長）	・東京オリンピック開催が危ぶまれており、消費者心理が不安定なことと、コスト効率を高めるためのECビジネスの投資拡大を行っているが、他社も同様であり、回復策とは言い切れない（東京都）。
		衣料品専門店（統括）	・夏物需要が低下し、客の購買意欲がなく、来店に結び付く可能性が低いので変わらない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種状況が欧米と同等レベルに達するまでは、積極的な販売活動はできない（東京都）。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っているが、販売が余り芳しくない。来客はあるが、なかなか成約に結び付いていない。
		乗用車販売店（営業担当）	・夏休みを控えているが、今の状況下では外出率は落ちると思うので、期待できない。
		乗用車販売店（販売担当）	・やはり新型コロナウイルスが落ち着かないことには人が動かず、物もなかなか動かないと感じている。今後ワクチン接種が進み、東京オリンピックが開催されれば、人の動きが出てくるし、車やその他の物の販売量も増えていく。とにかく、新型コロナウイルスの影響で全体的に景気が落ち込んでいる。感染が収束しない限り、今後数か月間は変わらない（東京都）。
		乗用車販売店（渉外担当）	・社会全体の機運が前向きにならなくては、真の景気好転は見込めない。
		乗用車販売店（店長代行）	・緊急事態宣言の延長が報道されているが、仮に延長となった場合でも来客数などの変化は余りないと思うので、現状のまま変わらない（東京都）。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種や、東京オリンピック開催の効果も直接的には関係ないので、間接的に効果が表れるのはまだ先である（東京都）。
		その他専門店【ドラッグストア】（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、商店街の出入が余り良くないので、変わらない。
		その他専門店【貴金属】（統括）	・新型コロナウイルスのワクチン接種により感染リスクが減少し、緊急事態宣言が解除されても、それ以外の社会経済の先行きに明るさが戻らない限り、急激に消費や購買意欲が増加するとは思えず、しばらくは悪い状況が続く（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルスワクチンの普及と、自粛協力要請の対価として特別定額給付金を期待したい（東京都）。
		高級レストラン（経営者）	・当店の客層は高齢者が多く、新型コロナウイルスのワクチン接種が終わって落ち着くまでは、外出を控えるとみている。したがって、客足が戻ってくるのは8月以降ではないか。
		高級レストラン（営業担当）	・法人関連の宴会需要は壊滅的である。団体宴会など、宴会や集会を売上の柱としていた当社にとっては、その代替となる施策の確立が急務となっている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・今の時短営業とアルコール提供禁止の状態が続いていると、景気は悪いままでほとんど変わらない。
		一般レストラン（経営者）	・食習慣自体が変わってきているので、新たな情報発信が必要となっている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス次第にはなるが、3か月後も決して良くなるとは思えない。宴会等がないので、売上も減り、しばらくは伸びる要素がない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が遅過ぎる。回転ずしを5店舗経営しているが、周りにはアルコールも提供して20時以降も営業している飲食店がたくさんある。しかも協力金ももらいながらである。真面目に協力している店舗がばかを見る結果になっている。返済を猶予してもらっているが、そろそろ返済が始まる。どこまでもつか分からない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・東京オリンピックが開催されても、海外からの観客が来ないとなると、現状のままでいくしかないので、体力的にきつい料理屋はどんどん潰れて、厳しくなる（東京都）。
		一般レストラン（スタッフ）	・国が何か動いている様子がない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・これから新型コロナウイルスのワクチン接種が急激に進めばということになるが、今のペースでは3か月後の景気はまだ変わらない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・東京は来月20日までの緊急事態宣言の延長が決定しており、現状と変わらないままで推移する。東京オリンピックも、開催自体が危ぶまれることが可能性として考えられるので、現状と変わらないのではないかと（東京都）。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため不要不急の外出を制限されているので、販売量増加には結び付かない。
		旅行代理店（従業員）	・東京オリンピック需要により、多少は国内旅行の動きが出るのではと、かすかに期待しているが、無観客開催又は中止となると、引き続き低調となるので楽観視はできない。また、新型コロナウイルスのワクチン接種が徹底されないと、海外渡航や訪日旅行の再開は厳しい（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	・緊急事態宣言が解除になり、Go To Travelキャンペーンが再開するまで、集客が見込めない（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が国民の5割以上進まないことには、旅行需要は従来どおりには戻らない。
		タクシー運転手	・高齢者への新型コロナウイルスのワクチン接種がようやく始まったが、感染収束の兆しはみられず、感染者数の多い状況が続いているので、しばらくは経済も悪いまま推移し、変わらない（東京都）。
		タクシー（団体役員）	・まん延防止等重点措置が解除されるまでは、景気回復は見込めない。
		通信会社（経営者）	・東京オリンピック、パラリンピックの動向や、新型コロナウイルスのワクチン接種の拡大状況にもよるが、消費者の経済活動の活性化が期待できる一方で、新しい変異株感染への警戒も消えないため、一定数のキャンセルや訪問拒否の発生は継続するものと見込んでいる（東京都）。
		通信会社（社員）	・解約数が新規申込み数を上回ると考えられる（東京都）。
		通信会社（管理担当）	・当面の景気に大きな変化はないと思われる。新たな販売システムにより、大きく変わることはなかなか想定できず、いかにスムーズに新型コロナウイルス以前の水準に戻すが、この数か月の肝であると考えている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（局長）	・客が新型コロナウイルスに慣れてきて、直接コンタクトすることを嫌がる様子は余りなくなってきている。一方で、飲食業を始めとする客商売が低迷していることで、当社サービスへの加入意思が低下することも考えられるので、もうしばらくは景気は変わらない（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・良くなると思える材料がない。
		通信会社（管理担当）	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が延長され、いまだ先行きが見通しにくい状況である。特に、個人向けスマートフォンや周辺機器の販売が落ち込んでおり、ワクチン接種が順調に進むまでは、本格的な景気の回復は難しいと考えている（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されれば、少しは接触型営業ができるので、通常に戻る可能性がある（東京都）。
		通信会社（経理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の普及率向上によって、世の中の動きが変わってくるのを待っているが、インフルエンザ予防接種が年間2600万回とすると、新型コロナウイルスは2回接種で2億4000万回で、インフルエンザ予防接種の10倍となるため、インフルエンザ予防接種と同じように実施でき、1年を通して2倍速のペースで実施しても、日本ではあと1年以上掛かると想定している。
		通信会社（総務担当）	・緊急事態宣言期間が延長されることから、訪問営業機会の回復は見込み難しい（東京都）。
		観光名所（職員）	・緊急事態宣言が解除され客が戻ってくれば、やや良くなると期待している。しかし、延長されると悪くなるような気がする（東京都）。
		その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で良くならない。
		その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・基本的に来客数の減少はないと感じている。一顧客当たりの単価もさほどの低下はない。この先も新型コロナウイルスの影響は余りないとみている。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・良くない状況がまだ継続する。
		設計事務所（経営者）	・新年度官庁案件の入札が始まったが、応札者の増加が予想され、落札できるかは運頼みである。
		設計事務所（所長）	・建設価格の高止まり及び東京オリンピック、パラリンピック開催後の新型コロナウイルスの感染状況によって、人々の気持ちがどのように変わるかによる。良くなることは考えられないので、現況のままではないか（東京都）。
		設計事務所（職員）	・上向き要素は見当たらない。新型コロナウイルス禍を通じた社会変革がある程度進んで安定するまでは、時間が掛かる（東京都）。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスが収まらない限り、現在の不況は続く。ワクチンと治療薬が普及しない限り、景気は戻らない。ワクチンは大量に用意してあるようだが、会場設営が遅れているようである。東京オリンピックも予定どおり開催してほしい。
		住宅販売会社（従業員）	・受注量は増えていないが、資料請求などは良くなってきている。
		住宅販売会社（従業員）	・今後は夏が過ぎ秋頃までには地価も落ち着いてくると予想している。それまでは薄利の仕入れで絶対量を確保していく。秋口くらいには景気が少し上向きになってくる。
		住宅販売会社（従業員）	・客側も新型コロナウイルス禍に慣れつつあるように思われ、落ち着いた状況が続くとみている。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	・仕事が決まるまでに何度も会い、客と接触する機会が多いため、元どおりの環境に戻らないとなかなか厳しい。早く新型コロナウイルスが収束することを願っている。
		一般小売店〔生花〕（店員）	・7月は東京盆があり、花屋としてはとても売れる月になる。5月は母の日やゴールデンウィークにそれほど売れなかったのが、7月にはかなり期待をしているが、5月と変わらずそれほど売れる見込みはないのかとも思うので、変わらない（東京都）。
		百貨店（企画宣伝担当）	・休業要請がなくなる限り、客の心理が変わらない。
		スーパー（経営者）	・季節的要因で、夏場は来客数が少なく、客単価も低くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経営者）	・4月より5月は多少上向いてきているが、やはり非常に良かった前年と比べると、今年は大分悪い。また、3月に競合店が新店を出店してきて、周辺の店舗が多少影響を受けているので、総じて前年よりはだいぶ良くない状況がこれからも続くと思うものの、頑張っって押し上げていきたい。
		スーパー（仕入担当）	・新型コロナウイルス禍の収束がまだまだ見えず、東京オリンピック特需も期待できない。
		スーパー（販売担当）	・飲食業界など厳しい業種が多い。
		コンビニ（経営者）	・かなり経済が弱まってきている（東京都）。
		コンビニ（経営者）	・ほとんどの客が近隣大型店に流れ、コンビニで間に合わせの買物をする客が減少している。この傾向は今後も継続するとみている。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、緊急事態宣言の再発出やまん延防止等重点措置の適用があり、いろいろな店が休業や時短営業になっている。当社も、祭り、花火等のイベントが全部中止になっており、関連商材が全く売れないため、まだまだ厳しい状況が続く。新型コロナウイルスのワクチンが行き渡り、もう少し活気が出れば違うのだろうが、現場はまだ良い傾向にはない。
		乗用車販売店（経営者）	・新車の登録数の減少はまだまだ続く。
		乗用車販売店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進まない限り、先が見えない。東京オリンピックも同様で、経済効果も期待薄となっているので不安である。
		住関連専門店（統括）	・外出自粛が続いたり、経済的にもどちらかという消費の方に向いていない。したがって、売上も少なくなるのではないかと。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・競合店が増加しているため、来客数が確実に落ちる。新型コロナウイルスの影響により、マスクと消毒は定着しているが、化粧品や風邪薬などは厳しい状況が続く。
		一般レストラン（経営者）	・東京オリンピックが終わったら規制も緩み、人の動きも活発化するかもしれないが、更なる感染拡大も考えられる。その他に、東京オリンピックに向けて行われた投資の回収が不可能な業種、業態の経営破綻も怖い。したがって、すぐに良くなると楽観視はできず、やや悪くなる。
		一般レストラン（経営者）	・外食業界では、東京都や隣県の緊急事態宣言、まん延防止等重点措置適用による営業時間短縮、アルコール提供禁止要請への協力金がもらえる間は経営を継続できているが、今後、協力金給付がなくなると、経営が更に悪化する企業が増えてくると思うので、景気は簡単には回復しない（東京都）。
		旅行代理店（従業員）	・緊急事態宣言の更なる延長が想定されている（東京都）。
		タクシー運転手	・自粛期間中ということもあり、とにかく異常なほど客が減っており、先が不安である。
		タクシー運転手	・東京オリンピックも残念ながらどうなるかわからない方向に向かっているし、タクシーにとってこれから良くなる条件は今のところない。ただし、区の新型コロナウイルスワクチンの集団接種を受けさせてもらい、2回接種して1か月たないと完全に抗体ができないと分かっているが、精神的に大分楽になった。早く皆がワクチンを打って、世の中を変えてもらいたい。アメリカでは、テレビで見ると限りゴルフや野球でもマスクをしなくなっているし、日本も早くそういう時代になってもらいたい。タクシーの売上増加はそれからである（東京都）。
		通信会社（経営者）	・来客数や販売数が停滞している（東京都）。
		通信会社（経営者）	・緊急事態宣言がまた再延長されるようなので、景気が良くなるとはまだ思えない（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・以前のように営業活動を行える状況になるには、かなり時間を要すると思われるので、厳しい状況が続く。
		通信会社（管理担当）	・前年春以降、販売量は低迷したままであり、上向ききっかけをつかめていない。
		競輪場（職員）	・少ないスタッフ編成のため、何とか開業延長に踏み切れたが、景気的には決して良くない。デジタル革新により、現地に来場しての購入ではなく携帯電話での車券購入も増えてきているが、まだまだプラスにはなっていない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他レジャー施設 [ボウリング場] (支配人)	・休業期間に離れた客を取り戻すには時間が掛かる(東京都)。
		美容室(経営者)	・早く新型コロナウイルスが収束してほしい。
		設計事務所(所長)	・新型コロナウイルスが早期に落ち着かないことには、なかなか仕事量も増えない。
		住宅販売会社(従業員)	・従業員の家族が新型コロナウイルスに感染し、ついに身近にも感染者が出てしまった。社員が休みを取ることで、今後は商談数や販売量の減少につながっていくのではないかと。
		その他住宅[住宅資材](営業)	・東京オリンピックが終わるまでは建築資材関連の荷動きが落ちるといって情報が多くなってきている(東京都)。
	×	一般小売店[食料雑貨](経営者)	・東京オリンピック開催は国内の新型コロナウイルス収束時期を確実に遅らせるので、今の経済の状態が無駄に長引く。
	×	一般小売店[印章](経営者)	・当店のよう従来型のはんこ屋は路面店でやっているが、不要不急の外出を控えるということだと、やはり通信販売の方に走ってしまうのではないかと。以前も言ったように、今は技術的なことにこだわる人はほとんどいないので、用が足りるのであれば、パソコンからの注文でも十分ではないかということで、店頭に来る客が少なくなってしまうという。
	×	百貨店(販売促進担当)	・東京オリンピック後、新型コロナウイルスがまたまん延する。海外から来る東京オリンピック関係者の行動を抑え付けられるわけがない(東京都)。
	×	スーパー(経営者)	・前年は緊急事態宣言で、来客数減少で客単価上昇、売上増加であった。今年は前年に比べ来客数減少、客単価低下の傾向にある。この傾向は3月から続いており、当分このままではいきそうである。
	×	衣料品専門店(店長)	・緊急事態宣言再発出やまん延防止等重点措置の適用があったから、県境を越えた来店が大幅に減っており、解除の見通し時期も不透明なままである。
	×	その他小売[生鮮魚介卸売](営業)	・政府が民意無視で政策のゴリ押しをするからひどいことになるのである(東京都)。
	×	その他小売[ショッピングセンター](統括)	・東京オリンピックを開催すれば、新型コロナウイルス禍の状況がひどくなるとしか考えられない。
	×	一般レストラン(経営者)	・東京オリンピックが開催されても当地域に客が来るわけではない。それによって新型コロナウイルスの感染が広まったら、また酒を提供してはいけないなどといわれ、訳が分からなくなってしまう。まず早くワクチンを接種できるようにして、それから人が集まることをした方がよいのではないかと。
	×	その他飲食[居酒屋](経営者)	・営業時間短縮、アルコール類提供禁止なので、良くなりようがない(東京都)。
	×	都市型ホテル(支配人)	・新型コロナウイルスのワクチン接種状況にもよるが、先行きが見通せない。事業継続の危機である。
	×	都市型ホテル(スタッフ)	・まん延防止等重点措置の延長及び新型コロナウイルスのワクチン接種の遅延などにより会食の流れは取り戻せず、アルコール提供なども平常時に戻らない限り売上は見込めないため、更に厳しくなる。東京オリンピック関連での売上の動きも全くなく、期待できない。
	×	旅行代理店(従業員)	・今現在受注が全くないということは、直近から数か月先までの売上がないことを意味している。
	×	タクシー運転手	・ますます仕事が減っている。駅待ちをしても、1時間に1回営業できれば良い方である。会社への送迎はほとんどなく、病院の送迎はややあるものの、以前より減っている。全く先が読めない。
	×	タクシー(経営者)	・当然だが、失業率が高止まりして、低賃金での雇用となり、消費が低迷し、バブル崩壊と同等の大打撃を受けると思われる。政府の対策次第ではこの状態が短くなるかもしれないし、長期間にわたるかもしれない。いずれにしても、タクシー会社の経営は風前の灯火である。辞められるうちに廃業したほうが良いかもしれない。
	×	ゴルフ場(従業員)	・新型コロナウイルスの影響による景気の悪化は、この先もまだ続く。ウイルスを完全に除去できない限り、Go Toキャンペーンなど派手に旗を掲げるのはやめてほしい。感染拡大の繰り返しになってしまい、結果、最悪の景気となる。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	ゴルフ場（経理担当）	・緊急事態宣言等の骨子は、相変わらず飲食店への時短営業と酒類提供自粛要請頼みである。国民が新型コロナウイルス慣れ、自粛疲れしていると言われるなか、飲食店のみを目的にしても、増加する外出者に歯止めを掛けられない。加えて、ワクチン接種率も先進国で最低水準を維持し、緊急事態宣言の再延長を繰り返しており、景気改善の可能性など皆無である。
	x	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・生徒の減少が続いているので、景気回復の見通しが立たない。
企業 動向 関連  (南関東)		食料品製造業（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチンを皆が接種することで飲食がスタートすると思うので、期待をしている（東京都）。
		通信業（広報担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むにつれ、経済が正常化してくる（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・受注件数が増えてきており、人員不足感も出てきている。
		化学工業（総務担当）	・販売促進のためのノベルティー需要が回復すれば、当社にとっては有り難い。人流が制限されている状況が緩和されれば、多少の景気回復を望める。
		金属製品製造業（経営者）	・取引先において海外の仕事が動き出し、今月末近くになって、小口ながら注文が出てきているので、これから期待したい。
		電気機械器具製造業（経営者）	・年度が替わり、新しいプロジェクトの引き合いが増えてきている（東京都）。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・自動車メーカーは前年を上回る生産計画を立てており、業界的には景気は上向きと判断している。
		輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン効果に期待している。国際物流においては、コンテナ不足が解消し、荷動きが戻りつつあるようである。それに伴う国内物流の動きにも期待したい（東京都）。
		金融業（従業員）	・緊急事態宣言の度重なる延長に、特に厳しい要請がされている飲食店からは苦しい声が上がっており、中には緊急事態宣言中は営業しないという貼り紙をする店もある。酒類や生鮮食品などの卸売業者にも影響が広がっている（東京都）。
		税理士	・新型コロナウイルスワクチンの接種が一般成人にまで拡大されれば、行動範囲が広がり、経済も回っていく。ワクチンの変異株への効き目も鍵になる。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、今よりは良くなっていくのではないかと。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・当社取引先の全ての業種が暇である。訪問しても、営業の人たちが会社にいるような状態である。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・先を見通すのは難しいが、景気は恐らく変わらず悪いままである（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・印鑑リフォームとって、一度使ったものを平らにして彫り直すサービスは下向きになっているが、全般的には、法人関係に納入するゴム印の数量や、個別にもらう注文は、少ないとはいえ変わらないので、どちらともいえない（東京都）。
		化学工業（従業員）	・東京オリンピックが開催されるかはっきりしないからなのか、物の動きが悪い。開催がはっきりするまでは下げ止まりの状態が続く。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・現在、新型コロナウイルス変異株とワクチン接種のせめぎ合いが続いているが、2～3か月ではワクチンも打ち切れず、景気は落ち込んだままと思われる。
	プラスチック製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、化粧品容器の受注は低迷したまま回復の兆しがみられない。頼みの医療品容器も、新型コロナウイルス関連の案件が優先され、当社案件は先送りされたまま推移しそうである。	
	金属製品製造業（経営者）	・空調機器関連部品の好調な継続受注が見込まれる。	
	精密機械器具製造業（経営者）	・いまだに新型コロナウイルスの影響が大きいところは復活が期待できないが、半導体が引っ張っているため、来年3月頃まではこのままで推移すると予測している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（従業員）	・取引先からの見積りの要望は増えているものの、新型コロナウイルスの影響もあり、仕事が決まっていくかどうかははっきり分からない様子である。
		輸送業（総務担当）	・荷主の国内出荷量が低迷しており輸出もない。今後も現状が続く予想である。
		金融業（役員）	・業種にもよるが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響に懸念がある。小売、サービス業は横ばい若しくは影響を受け、建設関連、不動産関連は大きな影響はないものと推測される。ただし、賃貸関連については、飲食等の借入者がいる関係から、若干の不安要素を抱えている。
		不動産業（総務担当）	・空室となっているオフィスや店舗区画への問合せもほとんどない状態が続いている。新型コロナウイルスの影響が改善されようが、会社、店舗共に業績回復には時間を要するので、この先当面は厳しい状況が変わらず続くと踏んでいる（東京都）。
		広告代理店（従業員）	・東京オリンピック関連事業が控えており、開催されれば良くなるが、中止等になると厳しくなってくる。
		税理士	・新型コロナウイルスのワクチンを接種しなければ、どうにもならない。米国や欧州諸国などは早くからワクチンを打っているため、入場制限なしで入ったりしている。日本も早くワクチンが行き渡り、そうならなければいけない。東京オリンピックもできるかどうか分からないので変わらない（東京都）。
		社会保険労務士	・良くなる要因が全く見当たらない（東京都）。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルス感染者数が一時的に収まって、根本的な解決には至っていない。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・取引先工場等の稼働率回復が見込めず、当社の受注量も変わらず、低空飛行が続くようである。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・現状のままで推移していく。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・既存契約の値上げ交渉を進めているが、依然としてペンディング状態で変わらない（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・東京オリンピック効果があるのかどうか分からない（東京都）。
		一般機械器具製造業（経営者）	・取引先から、自動車分野からの仕事量について、半導体需要の増大と減産による大規模な減産のあおりを受けている影響が、時間差で今ようやくやって来るとの連絡が入っている。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	・店頭の来店客の影響がかなり大きいので、新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・新型コロナウイルス禍によるサロンへの影響は限定的だが、今後経済の引締めによる消費意欲の減退が懸念される（東京都）。
		建設業（経営者）	・今年は仕掛工事があるため安心しているが、この先の仕事が見当たらないため、非常に心配している。下請企業も見積案件が減っているとのことである。木材の入手困難、価格の高騰や、鉄材の高騰など、影響が出始めている。
		建設業（営業担当）	・新型コロナウイルスは2～3か月では収束できないと考えられるので、それに伴う木材等の資材高騰がより強くなると感じている。
		輸送業（経営者）	・今後も取扱量の増加が望めないなか、7月に東京オリンピックが開催された場合、車両の稼働等に影響が出ることが予測されるため、更なる悪化が気掛かりである（東京都）。
		金融業（総務担当）	・新型コロナウイルスワクチン接種の遅れや、感染者数の減少幅が小さく、影響はまだまだ続くので、景気回復には長い時間が掛かる（東京都）。
		不動産業（経営者）	・今月から新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったが、まだまだ85歳以上に対してである。1日も早く全員の接種が完了し、感染が収束することを願っている。こんな時なので東京オリンピックは中止すべきだろう。観客のいないオリンピックなど考えられない（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		広告代理店（営業担当）	・東京オリンピック開催と、新型コロナウイルスワクチンの接種完了率によるメリット、デメリットがどのように反映されるか未知数である。企業は実際の好転が見えてこない、積極的な宣伝展開をしないと思われ（東京都）。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが若い人にまで行き渡るのは、2～3か月では無理である。2～3か月先では、まだ景気が上向くとは思えない（東京都）。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・このまま東京オリンピック、パラリンピックが開催された後は、需要の低迷が予想される。
	×	出版・印刷・同関連産業（所長）	・緊急事態宣言の解除が全く見えない状況ではイベント等の計画もままならない。当面はこの状況が継続する。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルス禍がまだまだ続くので、景気は上向きにはならない。
	×	建設業（経営者）	・世の中が落ち着かなければ設備投資に気持ちが向かない。
	×	輸送業（経営者）	・単価の引下げ営業に打ち勝たなければ、業務の継続が難しくなりそうである（東京都）。
	×	金融業（従業員）	・新型コロナウイルスに対する具体的な新しい政策がみられず、今までと同じようなことをただ繰り返すだけでは、感染拡大を食い止めることはできず、心理的不安が大きいため、経済の活性化は期待できない。ワクチン接種が進み、9～10月に果たして本当に若年者に対する接種が進むかどうか不安がある。逆に、若年者への接種日程を具体化することにより、心理的安心感を与え、経済を活性化させることが重要である。
	×	経営コンサルタント	・新型コロナウイルス感染症はまだまだ長引くと考えられ、特に製造業に対しては間接的に影響が出ているために、長引くにつれ影響が拡大する（東京都）。
	雇用 関連 (南関東)		人材派遣会社（営業担当）
		人材派遣会社（営業担当）	・最近のエンジニア派遣ニーズはやや増えつつあり、今後は徐々に好転すると見込んでいる。
		求人情報誌制作会社（営業）	・現状に鑑みながらいろいろな施策を行っていく。今できないことも、今後はできるようになり、現状よりは経済が回っていくと感じている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルス禍の長期化で工夫がみられ、新たな知恵を求めて採用を考える経営者が出てきている（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言が長引き、東京オリンピックの開催も危ぶまれるなか、徐々に求人数が減ってきている。この状況はしばらく続きそうである。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響がまだ続く（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・受注は年計表ベースで上昇トレンドに入っているが、緊急事態宣言再発出以降、顕著に鈍化している。7月以降も緊急事態宣言が続くようだと厳しくなると予想される（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・社内に目を向ければ、リモートでの営業活動を余儀なくされ、そもそもの活動量がどうしても減ってしまう。新型コロナウイルスのワクチン接種が進まないなど、企業を取り巻く外部環境に良い材料が少ないため、採用意欲が変化してくるのはまだ先になる（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染者数減少の見込みが立っておらず、東京オリンピック開催も未確定のため、将来に向けた動きが取りにくい状況である。
		人材派遣会社（支店長）	・緊急事態宣言の延長もあり、業種によりばらつきはあるが、全体として企業の求人意欲は低調が続くと予想される（東京都）。
		人材派遣会社（経理担当）	・緊急事態宣言、東京オリンピックによる影響は未知数だが、例年夏から秋に向けて求人が若干減少する。現在の上向き傾向から推測すると、現状と余り変わらずに推移するのではないかと（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除されない限りは横ばいではないか。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスワクチンの効果がまだ分からない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
x		職業安定所（職員）	・就職数の低迷は底を打ったかに見えるが、新型コロナウイルス変異株による感染急拡大の懸念は拭えず、ワクチン接種の加速による感染抑制の効果が表れない限り、限定的な経済活動が続く。
		職業安定所（職員）	・有効求人数が4か月連続して僅かながら増加し、前年比でも4か月連続で改善傾向にあるが、いずれも微増であり、大きな変化はみられない。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新卒採用はしばらく様子見状態で変わらない（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・現在の経済状況から判断すると、しばらくは様子見である（東京都）。
		求人情報誌製作会社（広報担当）	・今の状況がだらだらと続き、いろいろなことが制限される日常が継続され、なかなか多くの人を雇用するような状況にはならないのではないか（東京都）。
		職業安定所（職員）	・雇用調整助成金等の特例措置により雇用維持が図られているものの、当該措置が終了となった場合に離職者の増加が予測される（東京都）。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種効果が表れるのはまだ先になる（東京都）。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・通常なら10～20件は予定をもらうのだが、全くない。客から連絡があつて訪ねると、「どうしたらいいか?」と聞かれる。2件くらいは業種転換で募集するところもあるが、ほとんど予定はない。

#### 5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (甲信越)		スナック（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が終わった人から、元の生活に戻っていけると信じている。3か月あれば効果も見えてくると思っている。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・相談が多い。ほとんどが、病院で「今日が山、今週が山」と言われて、その足で当社に相談に来る客である。
		商店街（代表者）	・全国的に新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、効果に期待が高まっている。ゆっくりではあるが、接種回数の増加に伴い、人の動きが始まるのではないかと。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いたり、東京オリンピックが開催されたりすれば、夏物商材に加え、4Kテレビ等にも期待ができる。
		百貨店（店長）	・前年は5月15日まで食品以外は閉めていたため、現在は前年と比べて大きく伸びているものの、16日以降は前年実績より良くない。今月は、前々年の半分以下だが、現在が底ではないかとみている。新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、主要顧客である高齢者が戻れば、今より良くなるのではないかと。
		自動車備品販売店（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、半導体不足が解消される状況になってくれば、景気は良くなる。
		その他専門店〔酒〕（店長）	・さすがに今の状況より良くなっているのではないかと期待している。新型コロナウイルスの感染状況が抑えられていれば、必ず良くなると信じている。
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、外出も高齢者から再開すると思われる。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率次第だが、やや良くなると思いたい。県独自の感染対策認定店になり、割引クーポンの発行権利も取得しているので、今後大いに期待している。
		観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大第4波は、山を越えてきており、来月には緊急事態宣言も解除されるとみている。高齢者のワクチン接種も進み、死者数もかなり減少するのではないかと。県内限定の観光誘客クーポンも発売されており、徐々に需要が回復すると予想している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第なので、先行きの見通しは立たないが、ワクチン接種が順調に進み、感染が抑えられれば、秋以降、段階的に受注が増えて景気も上向きとなる。ITに係る製造業では、今までになく忙しい会社も存在しており、感染状況の先行きを見通すことができれば、景気は回復に向かう。
		観光名所（職員）	・緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種効果が出始めるのではないかと。今よりは旅行需要の回復が期待できる。
		遊園地（職員）	・新型コロナウイルスの感染対策を徹底し、万全な受入体制を整えるとともに、積極的に集客施策の実施や情報発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。
		ゴルフ場（経営者）	・大きなコンベはないものの、シニア層のワクチン接種の話題が非常に多い。また、当県のワクチン接種率が高くなっていることから、今後を期待している。
		商店街（代表者）	・現状、新型コロナウイルスの影響で、先行きがどうなるか一つも見当がつかないため、何とも答えようがない。このまま、良くなるか悪くなるか分からない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・高齢者から新型コロナウイルスのワクチン接種が始まっているが、これで人の動きや商材の動きが出てくることを期待したい。東京オリンピック効果も期待したいところだが、消費意欲がどの程度出てくるのかはみえてこない。まだしばらくは厳しい状況が続くそうである。
		百貨店（営業担当）	・変わらないと判断したが、東京オリンピックが開催できるかできないかで状況はまた変わってくる。開催でき、良くなる方向に向かってほしい。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進まないことには経済は良くならない。50代の私が受けられるのは、10～11月だろう。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染者数が減らない限り、景気は良くならないのではないかと。ただし、東京オリンピックも開催されるとのことなので、その分、多少プラスはあるかもしれないが、変わらない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、景気は変わらない。
		コンビニ（経営者）	・イベントなど特別な案件がない。
		コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言の延長や社会的な動きからみて、変わらない。
		コンビニ（店長）	・当地では、新型コロナウイルスは特別大きくまん延しているわけではない。今のところワクチン接種も関係なく、余り状況は変わっていないのではないかと。
		衣料品専門店（経営者）	・良くなる要素が見当たらないので、現状のまま変わらずに悪いだろう。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの終息と景気対策の見通しが立たない。
		乗用車販売店（経営者）	・半導体不足の影響は、長引くと予想される。
		一般レストラン（経営者）	・ワクチンさえ打てばという考えになりつつあるので、新型コロナウイルスの感染拡大には油断がならない。感染者数の動向イコール飲食業の動向になっている。
		スナック（経営者）	・基本的に、新型コロナウイルスのワクチンを全員が接種しなければ、今の飲食店の厳しい状況は変わらない。この2～3か月ではどうにもならない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことにしか期待感が持たなくなっている。しかし、2～3か月先に急激に変わることは期待できない。現状からみて、緊急事態宣言の解除若しくは緩和により回復に進むが、また、現在のような感染状況になり、人の動きが減少する。その形を繰り返す予測が一番強いので、変わらない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・東京及び大都市の緊急事態宣言の延長が大きく響いている。法人宴会の動きが全く出ていない。特に、ゴールデンウィーク後の法人宴会のキャンセルが13件ほどあり、この先9～10月まではキャンセルが続いている。金額にして1000万円を超えるキャンセルの損害が出ている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染状況が収まるかどうかによって変化してくる。
		通信会社（経営者）	・緊急事態宣言解除の行方や東京オリンピックの開催の可否、新型コロナウイルスのワクチン接種等、余りにも不透明な点が多く、先が見通せない。
		通信会社（社員）	・現時点では特に強調材料はない。半導体需要の増加で、端末機器の生産が遅れているため、工事のペースに遅れが出る懸念がある。
		住宅販売会社（経営者）	・別荘は高額なため、急激に販売が伸びる可能性は低いものの、移住や2拠点居住等で、需要は底堅い。
		商店街（代表者）	・もう大丈夫という動きがないと、自粛ムードは解消されない。
		スーパー（経営者）	・従業員の募集に対する応募が多くなってきている。かなり失業者が増えてきているのではないかと。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がこんなに長引くとは思わなかった。小売業としても非常に厳しい状態が続いている。しかも、今月は天候が比較的不安定で降雨が多かったため、売上はやや伸び悩んでいる。
		その他サービス[クリーニング]（経営者）	・当地では新型コロナウイルスのワクチン接種が全く進んでおらず、見通しは暗い。
		設計事務所（経営者）	・新規依頼物件数が減ってきている。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、ますます悪くなる。
	×	スナック（経営者）	・誰のせいにもできないが、この新型コロナウイルスには本当に参っている。良くなる要素がなく、悪くなるばかりではないかと。
	×	都市型ホテル（支配人）	・緊急事態宣言が1か月程度延長される見込みとなったため、県独自の景気回復対策である県民向け前売制の宿泊割引の予約受付開始日と利用開始日がそれぞれ延期され、現状では日程未定のため、期待が外れてしまっている。
	×	その他レジャー施設[ボウリング場]（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んで感染状況が改善され、緊急事態宣言の解除等がされていかない限り、現状が改善されることは難しい。
企業 動向 関連 (甲信越)		-	-
		食料品製造業（総務担当）	・新商材の感触がやや良く、それなりの数字は期待できそうである。また、中元時期を迎えるため、多少でも販売は上向くとみている。
		金属製品製造業（総務担当）	・半導体業界は好調で、やや良くなる。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・予想は立たないが、Web上での販売やPR展開を毎日積極的に進めている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・半導体不足により、顧客生産が落ち込んでおり、今後の受注動向も不透明である。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響下であり、先行きが見えない状況が続いている。
		その他製造業[宝石・貴金属]（経営者）	・宝飾品を身に付ける機会としての会食や旅行が、全て制限されている。希望者全員への新型コロナウイルスのワクチン接種のめどが立たない限り、宝飾品市場の回復は考えられない。
		金融業（調査担当）	・製造業は需要が底堅く推移する見通しだが、自動車関連等では半導体不足の影響も懸念される。新型コロナウイルスのワクチン接種が進む可能性はあるが、非製造業の需要増加にはまだ時間が掛かるとみられる。
		金融業（経営企画担当）	・緊急事態宣言が発出中だが、新型コロナウイルス疲れにより、客足は3月前とさほど変わらない。
		新聞販売店[広告]（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まっているが、全国民に行き渡るのにはまだ時間が掛かる。それまでは現状が続くことが予想される。
		食料品製造業（営業統括）	・宿泊施設や飲料業界に及ぼす影響は、今年いっぱいはずっと続き、大変厳しい状況は変わらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・電子部品の入荷が遅れているため、生産を止めざるを得ない状況になる。入荷した途端に早急な対応を求められ、人員の過不足が懸念される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（経営者）	・ここに来て、資材不足や値上がり著しく、将来の景気に不安が出ている。
	×	食料品製造業（製造担当）	・今のままの新型コロナウイルス対策で、感染を抑えきれないと思わない。感染状況の悪化から、ますます悪くなる。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
雇用 関連 (甲信越)		-	-
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も増えてきたので、現状維持か、やや良くなるのではないかと。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・高齢者のワクチン接種が5月中旬から始まったが、それに伴って新型コロナウイルスの感染者数が落ち着いてこない限り、先行きは見通せない。
		民間職業紹介機関（経営者）	・求人を含め引する製造業の一部企業に、業績回復が見られるものの、将来不安から慎重な姿勢が堅持され、高齢社員への静かなリストラが見え始めている。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むものの、変異株の出現等、感染拡大になかなか歯止めがかからない。このまま新型コロナウイルス禍が長期化すれば、宿泊、飲食、卸、小売等の業種が更に厳しい状況になる。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・求人や求職状況も変わらず、双方で今まで以上に条件が高くなっている。再三の就職活動や求人活動は厳しくなることが予想されているためではないか。

## 6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)		-	-
		商店街（代表者）	・米国のようにワクチン接種が進めば、段々と景気は良くなっていくと思う。
		商店街（代表者）	・ワクチン接種が進むにつれて来客数が増えてくると考えている。
		百貨店（企画担当）	・当地は緊急事態宣言の対象地域であり、5月後半以降週末の休業要請を受けたことから、来客数、売上共に前年を更に下回る日が出てきている。6～7月まではこの状況が継続すると思われるが、8月以降になればワクチン接種もある程度行き渡り、消費者心理の好転が期待できる。
		百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率に比例して、個人消費が上向くほか、無観客での東京オリンピック開催であっても、関連消費が少なからず盛り上がることによって、景気が上向くと考える。
		百貨店（営業担当）	・必要な物に金を使うスタイルは、しばらく変わらないように思う。そこに焦点を当てていけば良くなる。
		百貨店（計画担当）	・新型コロナウイルス感染者数の状況は、緊急事態宣言の効果で現状よりは良化していくと思われるが、感染者数の波が起こると思われるので、増加と減少の繰り返しで元に戻るには時間が掛かると考える。
		コンビニ（エリア担当）	・コロナ禍ではあるが、ワクチン接種も実施され外出する機会が増えることから、継続的なエンターテインメント企画、エリア商品の開発強化で回復する。
		コンビニ（商品企画担当）	・変異株による新型コロナウイルス感染拡大の懸念はあるが、ワクチン接種が加速していけば、現状よりも景気は良くなると想定する。
		コンビニ（店員）	・夏に向けて来客数が増えると思う。
		衣料品専門店（売場担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むなか、高齢者等、接種が完了した人による消費の底上げが期待できる。
		乗用車販売店（経営者）	・ワクチン接種が加速しつつあり、消費行動も活発になると思われる。自動車に関する半導体不足も解消に向かうことで、販売も正常化に向かう。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・本格的に新型コロナウイルスのワクチン接種も軌道に乗り、曲がりなりにも東京オリンピックが開催されれば、消費マインドは上昇すると思う。
	高級レストラン（経営企画）	・新型コロナウイルス感染者数の減少、ワクチン接種率の上昇により、来客数の増加を期待したい。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・恐らく緊急事態宣言は6月20日までで解除となり、それ以降は徐々に人出が多くなると期待して、景気はやや良くなると判断した。
		一般レストラン（スタッフ）	・今が底だと思っているので、これ以上は悪くならない。
		一般レストラン（従業員）	・当地では85歳以上の人からワクチン接種が始まっているが、一般の若い人までワクチンを接種できれば、世の中も段々と上向いていく。
		観光型ホテル（経営者）	・ワクチン接種の進展がかなりの朗報になり、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置もこれ以上長引くはずはないと思うため、人の動きや会食も制限付きながらも回復に向かうと考え、景気はやや良くなると判断した。
		都市型ホテル（総支配人）	・希望的観測であるが、ワクチン接種が進み、大手企業が出張を解禁し宿泊客が戻ってほしい。
		タクシー運転手	・今月は前年並みの数字で、朝7時半頃から深夜2時半頃までの営業でほとんど3万円台の売上である。当地でもワクチン接種が始まったため、2～3か月後にはワクチンの結果次第ではもう少し良くなるのではないかと希望を持っている。
		通信会社（サービス担当）	・客離れしていなければ、今月よりは回復してくると思う。
		通信会社（営業担当）	・ワクチンの普及により、少しずつ良くなる。
		レジャーランド（職員）	・緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の再延長により、引き続き低水準の来場者数が予測される。ワクチン接種が始まり、7月以降は徐々に外出意識の変化が予想されるが、1年以上続く自粛生活で、外出を必要としない消費者意識が見え始めており危惧している。
		テーマパーク（職員）	・ワクチン接種率が上がれば、人が動くようになる。
		テーマパーク職員（総務担当）	・ワクチン接種が開始され、大規模接種会場も設置され始めた。変異株にもワクチンの効果があるようなので期待している。
		その他レジャー施設 [鉄道会社]（職員）	・ワクチン接種が開始されたことにより徐々に景気も良くなると期待できる。
		住宅販売会社（従業員）	・コロナ慣れと生活様式の工夫で、一定の来客数は望めそうである。
		商店街（代表者）	・来客数の減少傾向は今が底だと考えているため、これ以上は下がりようがないということから、景気は変わらないと判断する。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの騒動が鎮静化するまでは変わらないと思う。
		商店街（代表者）	・ワクチン接種がスムーズに進むかどうかに懸かっている。緊急事態宣言が延長されるようなので、見通しは少し暗い。
		一般小売店 [結納品]（経営者）	・何といっても新型コロナウイルスの終息が先決だと思う。ワクチン接種に期待するしかない。
		一般小売店 [贈答品]（経営者）	・3か月先も変わらない状況が続いていると考える。東京方面では東京オリンピック等に期待するところもあるが、地方ではまだまだコロナ禍の状況が厳しく、生産者も必要以上の物は作らず、消費者も必要な物以外は買わないなど、3か月先も今の状況がこのまま続いていく。金は使わずに持っておき消費になかなか回らないなどまだまだ自粛が続き、経済においても同じことが考えられる。
		一般小売店 [酒類]（経営者）	・飲食店への休業要請、時短要請が緊急事態宣言の解除によって解かれても、新型コロナウイルスの感染者数が減りワクチン接種が進まないと、飲食店は若い人などの限られた利用となる。以前のように多くの人利用するようになるまでに回復するのは、なかなか難しいと考える。
		一般小売店 [生花]（経営者）	・ワクチンの接種が進み、景気が回復することを願うが、今しばらくはこのままの状態が続くと思われる。
		一般小売店 [土産]（経営者）	・ワクチンの接種率次第である。政府の対応の不適切さによる国内のワクチン接種の遅さは万死に値する。海外ならデモや暴動が発生していても不思議ではないレベルである。
		一般小売店 [果物]（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
		一般小売店 [書店]（営業担当）	・コロナ禍での行動様式にも慣れ、秋に掛けても平常時の受注量が続くと考えられる。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（売場主任）	・これからもやや厳しいと思う。来店するのは購入する客ではなく、ゆっくりぶらぶら見に来ている様子の人が多い。電話での問合せが多くなっており、商品があれば来店するし、なければ来店しない。また、インターネット購入のためのサイズ合わせで来店する人が目立つ。
		百貨店（営業担当）	・コロナ禍で、ワクチン接種が進まない限りこの傾向は変わらない。
		百貨店（販売促進担当）	・緊急事態宣言が解除されても、夏物最終価格の時期になるため、売上が伸びることは想定できず、景気もすぐには回復しないと予測している。
		百貨店（販売担当）	・現在よりも状況が好転するとは思えない。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が若い世代にも行き届かない限り、景気回復は期待できない。
		スーパー（店長）	・ワクチン接種が始まっているが、一般への接種も終わり新型コロナウイルス感染が収束しない限り、まだこの状態は変わらない。
		スーパー（店員）	・新型コロナウイルス次第だが、梅やらつきょうなどが始め、ステイホーム効果により自宅で漬ける動きが出て売上が伸びる可能性はある。ただ、外出自粛の影響で、すいかなど果物を手土産に持っていく動きがなくなるので、その影響がどう出るかである。
		スーパー（営業企画）	・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの感染が若干収まる可能性もあるが、東京オリンピックの開催による感染拡大の影響も懸念され、先行きは予測できない。そのようななかで、消費者も現在の生活様式、消費動向を大きく変えることはないと思われる。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が皆に行き渡れば、今まで我慢していた反動で買物にたくさん来てくれて、購買量が増すと考える。
		スーパー（商品管理担当）	・今年は梅雨入りが早く訪れて、ますます暑さ対策が必要となっている。今後は気温の上がる時季でもあり、暑さ対策商品の販売向上が見込まれる。ただし、減少する業務用の客と一般客との相殺で、売上は横ばいとみている。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むが、すぐに外を出歩くとは思えない。巣籠りは続くと思う。
		スーパー（ブロック長）	・緊急事態宣言の延長が議論され、変異株の拡大も懸念される不透明な状況で、更に厳しい状況に置かれる業種が増えそうである。
		スーパー（総務）	・東京オリンピックによる景気に期待をしたいが、新型コロナウイルスの影響がまだまだあると思われる。ワクチン接種も進んでいないため、景気は変わらないと考える。
		コンビニ（企画担当）	・緊急事態宣言が形骸化しているため、気にしなくなる人が増える。ただし、新型コロナウイルスの感染が広がると、また来客数は少なくなると思われる。
		コンビニ（企画担当）	・緊急事態宣言の延長が予想され、現在の状況が継続すると思われる。ワクチン接種が始まっているが、まだ大きな効果が期待できない。
		コンビニ（エリア担当）	・ワクチン次第である。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス対応の状況次第で人の往来等は回復するかもしれないが、現状に鑑みると大幅な改善は見込めないと考える。よって、夏になってもこのままの状況で、売上、来客数共に回復は余り期待できない。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染が収束に向かう兆候が全くみられないため、相変わらず低迷状態が続くと思う。
		コンビニ（本部管理担当）	・東京オリンピックが開催されるか否かの1点に注目している。小売業従事者としては、東京オリンピックが開催され、世間にまん延する停滞感が払拭されるよう期待している。
		コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルス次第の状況が続いており、先行き不透明のため、現状と変わらないと予想する。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスが収まるまでは、外出自粛は続くと思う。
		衣料品専門店（販売企画担当）	・新型コロナウイルスで仕方がないと、同業者は皆諦めている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（売場担当）	・夏に向けての暑さ対策では、軽量スーツよりもクールビズ、特にワイシャツやパンツの値段の安い商品に集中してしまう。ボーナスが減るからという客も多い。
		乗用車販売店（営業担当）	・ワクチン接種が進んでも、すぐに新型コロナウイルスの感染が収束するとは思えないため、消費が回復するにはまだ時間が掛かると思う。
		乗用車販売店（経営者）	・今後も回復は期待できないと思われる。整備部門があるから収益は何とか維持できているが、販売があるから整備につながるため、今後の整備も不安である。
		乗用車販売店（経営者）	・業種によって客の様子に差はあるが、いずれにしても、すぐに好転するようなことはないため、今のような状況がしばらく続くように見受けられる。
		乗用車販売店（従業員）	・個人コースの車業界としては、それほど悪いとは思わない。動きもアクセスもそれなりにあるが、先行き不透明な部分が多いため、どちらともいえない。
		乗用車販売店（従業員）	・新車の販売台数は前年並みで推移しているが、半導体の不足もあり納期が大幅に遅れているため、納期を聞いて買い控える客もいる。
		乗用車販売店（従業員）	・例年であれば、これから夏のボーナス、夏休みと楽しみな計画を立てて心弾む時期を迎えるであろうが、今年も、先行きに期待を持つ話が客からは伝わってこない。懐具合にまだ余裕のある人とそうでない人の格差が、話のなかでもより強く感じ取れるようになってきている。まだ市場に活気が戻るのには難しいと感じる。
		乗用車販売店（営業担当）	・客の様子に活気がないように感じる。期待の新車種も、生産量が増えず物が無い状態が続いている。東京オリンピックも開催が微妙になってきて、しばらく景気は上がりそうにない。
		その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・新型コロナウイルスによる影響が悪化し、まん延防止等重点措置は延期され、ワクチン接種も遅延し、経済環境は6月も更に悪化すると思われる。東京オリンピック開催の有無次第で、今後も大きな変動が予測される。
		その他専門店〔雑貨〕（店長）	・若者のワクチン接種が進まない限り、変化はないと思われる。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	・ワクチン接種も進み、ますます外出する機会が増えてくる。前年は新型コロナウイルスの影響で巣籠り需要が増え書籍の売上が伸びたが、これからはしばらく前年の売上に比べると2割程度落ちるのではないかと予測する。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は前々年比マイナス8.7%、前年比プラス70.9%であった。来客数は前々年比マイナス9.1%、前年比プラス71.9%であった。新型コロナウイルスによる前年の休業の反動である。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染はまだ収まりそうにない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が広がっても、すぐには良くはならない。
		一般レストラン（従業員）	・ワクチン接種が広まるまで希望はない。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・ワクチン接種が進むと、状況は打開できるかもしれない。
		都市型ホテル（従業員）	・予約数から景気は変わらないと判断した。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染抑制が進まず、ワクチン接種率も低いことが影響し、ターミナル駅前の店舗、飲食店の売上の回復力は弱いと思われる。
		旅行代理店（経営者）	・2～3か月先に新型コロナウイルスが終息しているとはとても思えないため、景気も良くならないと考える。
		旅行代理店（経営者）	・ワクチン接種が国民全体に行き届くまでは、かなり厳しいと思う。夏休みには期待したいが、実際に出発するまで安心はできない。前年から、予約を受けては取消し、変更を重ねるばかりで日々大変厳しい。ワクチン接種済みの人からGo To Travelキャンペーンを利用できるなど、特典があると嬉しいと思う。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（営業担当）	・これ以上悪くなる要素がない状態がしばらくは続くと思 する。地域によっては団体旅行に補助金を出す動きがある が、旅行・観光業従事者への補助や給付金制度を検討するの が先ではないか。
		通信会社（営業担当）	・いろいろな公共行事や予定があり、余り変化はないと思 う。
		観光名所（案内係）	・人の動きは少しずつ増えてきていると思うが、街中のどの 店舗も相変わらず暇のようである。タクシーでの会話でも、 非常に客が少ないと聞く。まだしばらくはこの状態が続くと 思われる。
		ゴルフ場（支配人）	・コロナ禍が続くなか、屋外のスポーツであるゴルフの入場 者数は余り変わっておらず、今後も入場者数はこのまま変わ らず順調に推移するとみている。しかし、レストランの売上 は減少の状態が続き、元に戻るのは難しいと思う。
		その他レジャー〔プロ スポーツ〕（経営管理 担当）	・2～3か月ではコロナ禍は収束しないと思う。
		その他レジャー〔ス ポーツレジャー紙〕 （広告担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、この状況が続きそ うである。
		美顔美容室（経営者）	・来店にしても購入にしても、キャンペーンなどに乗って くる客が余りいない状態である。
		美容室（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響があり、ワクチン接種 が全体に行き渡るのはまだ先のため、今の状況が当分続く と思う。
		その他サービス〔介護 サービス〕（職員）	・コロナ禍の出口がまだ見通せない。
		住宅販売会社（従業 員）	・緊急事態宣言がどう影響を及ぼすかである。
		その他住宅〔室内装飾 業〕（従業員）	・予定していた現場がキャンセルや延期となり、少し不安を 感じ始めたところである。
		その他住宅〔不動産賃 貸及び売買〕（営業）	・このまま緊急事態宣言が続けば、動きは見当が付かない。
		商店街（代表者）	・ワクチン接種の拡大に伴う外出の増加と東京オリンピック の影響により、新型コロナウイルスの感染者数は増加が予想 される。一時期売上は上がるかもしれないが、その後急激に 減少すると見込む。
		百貨店（販売担当）	・時短営業、休日閉店で厳しい。母の日商戦を今年も直撃し たことが大きく影響している。
		スーパー（販売担当）	・生活必需品以外のレジャーや行楽などへの需要の伸び悩み が続きそうで購買拡大のきっかけが見付けにくい状況から、 好転はしないと感じる。
		スーパー（商品開発担 当）	・緊急事態宣言の有無で景気は大きく変化する。最初の緊急 事態宣言の発出時のような買いだめは起きないが、今回も緊 急事態宣言が発出されたことで売上がやや上がったため、今 後解除されれば、景気はやや下がると思う。
		スーパー（支店長）	・当地でも最近になって新型コロナウイルスの変異株クラ スターが発生して、街全体の経済活動を止めざるを得ない状 況も出てきている。なかなか派手なイベントや集客ができて いないので、この先もこの苦しい状況がまだまだ続いていくと思 われる。
		家電量販店（店員）	・買物の予算が落ちてきているように感じる。
		家電量販店（フラン チャイズ経営者）	・3～5月と前年の売上を下回る月が続いている。前年は新 型コロナウイルス感染者数の少ない地域だったため来客数は それほど減らなかったが、今年は、一億総新型コロナウイルス 感染という感じで一気に来客数が減少している。
		家電量販店（営業担 当）	・ワクチン接種の遅れ、新型コロナウイルス感染症拡大の継 続及び緊急事態宣言の延長によって、景気における変化とし ては今以上にやや悪くなると思う。
		乗用車販売店（従業 員）	・緊急事態宣言が解除されて日常が戻ったときにどれくらい カバーできるかが勝負ではあるが、新型車の発売も半導体不 足の影響で延期になっているし、ここ数か月が厳しい。家計 の支出を抑えようとする、自動車の維持費を削減する傾向 がある。現に工場への在庫量、売上が落ちてきているので、 全体的に厳しい状況と思う。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		任関連専門店（営業担当）	・緊急事態宣言の延長などに加えて、特にリフォームなど建物内に入る工事については、住宅や店を閉めているところもある。飲食商業施設が神経をとがらせており、しばらくは様子見状態が続く。
		一般レストラン（経営者）	・高齢者のワクチン接種が始まったが、まだまだコロナ禍での営業は続くと思う。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・飲食店は、緊急事態宣言で休業する店舗が多く、その従業員も仕事がなく困っている。給与が減り、消費が減っている。
		都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が早く終息してほしい。
		都市型ホテル（営業担当）	・ワクチンの状況が不透明であるが、急に戻る感じはしない。
		旅行代理店（営業担当）	・東京オリンピックの開催もここに来て暗雲が立ち込めてきて、中止もあり得る状態である。ワクチン接種もなかなか早くは進んでいない状況で、依然旅行需要の見通しは立たない。スポーツ団体の行事でも東京オリンピックの開催可否により中止が増えると、更に悪化すると考える。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスのためである。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、リモートワーク用の受注が落ちてきたので受注数は減ってくると思う。
		理美容室（経営者）	・客の話によると給料も上がらず、まだまだ景気は良くならないと思う。
		美容室（経営者）	・やはり新型コロナウイルスの影響が大きい。
		理容室（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスのため、仕事らしい仕事はない。
		設計事務所（経営者）	・急ぎの案件が終了すれば、その先は期待できない。
		設計事務所（職員）	・コロナ禍ということで、景気の問題は全く取り上げられないため、今のところ景気が良くなる状況ではない。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・相談はあっても今までよりも金額を抑えるための依頼ばかりで、見積りを出してもなかなか決まらない。今が一番不安定である。
	×	商店街（代表者）	・雇用を維持することの限界に近づいている。
	×	一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が行き渡っても、人流が戻ってくるまでにまだしばらくは時間が掛かる。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・見込みは相当暗い。
	×	一般小売店〔惣菜〕（店長）	・緊急事態宣言で先行きが不透明である。
	×	一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響がまだまだ続くため、景気は悪くなると考える。
	×	百貨店（総務担当）	・緊急事態宣言も延長され、ますます来客数は減少が見込まれる。お中元や先行クリアランスセールなどの時期と重なり、集客で成り立つ催事も中止となり明るい兆しは全くない。夏のボーナスも減少傾向であり、一段と消費が落ち込むことが想定される。
	×	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言が続き、来客数、販売量の落ち込みが深刻である。ワクチン接種の効果が現れてこない、景気回復の兆しも見えない。
	×	コンビニ（店長）	・まん延防止等重点措置の継続と新型コロナウイルス変異株の感染者数増加のため、外出自粛による来客数減少がまだまだ続きそうである。
	×	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス対策はいろいろな部分で中途半端な状態で、すぐに新型コロナウイルスの感染が収まるとは思えない。国民全体のワクチン接種が終わるまでは、かなり景気は悪くなると思う。
	×	観光型ホテル（支配人）	・宿泊人数については年始より前々年比10～20%が続いている。4月より週1日の休業日を設け始めたが、来月はその倍の日数を休業予定としている。食堂も3店舗のうち1店舗を継続して閉めている。宴会は少人数の会議程度の利用のみで、飲食の売上は皆無といってよい。
	×	旅行代理店（経営者）	・5月31日で当県のまん延防止等重点措置の適用は解除になると思うが、その先の旅行需要の回復が全く読めない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	通信会社（企画担当）	・当地ではPCR検査の陽性者数が明らかに増え始めており、更にいろいろな場面での行動抑制が発生してくるものと思う。
	×	テーマパーク（職員）	・ワクチンが普及するまでは期待できない。
	×	パチンコ店（経営者）	・緊急事態宣言により業界自体への自粛圧力が掛かっている。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が国内各地で広がりコロナ禍が落ち着いたら、客が戻ってくると思う。それを楽しみにしている。
	×	住宅販売会社（経営者）	・コロナ禍の緊急事態宣言の延長により、先行きの不安が大きい。所得も減り、住宅購入にまで資金が回るか心配である。
	×	住宅販売会社（従業員）	・輸入木材の高騰が懸念され、現在約束している請負金額で工事ができるのか、想定する利益が確保できるのかが不安なため、より新築住宅の請負をためらうようになると思う。
企業 動向 関連  (東海)		電気機械器具製造業（総務担当）	・ワクチン接種が浸透してくれば、新型コロナウイルス感染症も徐々に収束してくると思われる。東京オリンピックの開催などで活気を取り戻したい。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・受注が好調で増員している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことにより、業界全体が復活してくるのではないかと期待感から、景気はやや良くなると思う。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	・多少なりの東京オリンピック効果があるのではと考える。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・スクラップ市況が前年の今頃と比べると2倍くらいに高騰している。中国の景気が良いからと聞いているが、スクラップの動きは先行指標となるため、景気は多少良くなると思う。
		輸送業（従業員）	・荷主からは、年内には以前のような荷動きが出そうという話が多い。機械、自動車関連からの話が主だが、期待したい。
		輸送業（エリア担当）	・業種を問わずいろいろな客と話をするなかで、新型コロナウイルス終息に向けた兆しが見えてきており、皆先行きの明るさを口にするようになってきた。今までの停滞感から徐々に解放されるという期待感、経済の活性化に結びつくようなマインドが醸成されつつあることを考えると、意欲だけでも前向きに、景気も拡大していくのではないかと考える。
		通信業（総務担当）	・早く新型コロナウイルスのワクチン接種が広く行き渡ること、科学的にも人の気分としても景気向上につながると思う。
		金融業（従業員）	・新型コロナウイルスワクチンの普及により、従来の日常生活に少しでも戻ることができれば、景気も良くなるように思う。東京オリンピック開催の可否により、景気への影響があると考える。
		会計事務所（職員）	・高齢者向けワクチン接種が進んでいる。ワクチンを接種した人が多くなれば、外食や外出にもこれまでより安心して出掛けることができる。
		化学工業（総務秘書）	・景気が良くなる材料がない。ワクチンが普及しなければ景気が良くなることは基本的にないと思われる。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・コロナ禍の影響から一部で生産が停滞しているため、しばらく受注が戻ってこない。
		鉄鋼業（経営者）	・販売価格の値上げにより一時的には売上アップにつながるが、我々の客が大きなコストアップにどれだけ耐えられるかがすぐ目の前にある課題である。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いも減少しており、低調な傾向は変わらないと考える。
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量の見込みから、景気は変わらないと判断した。
	一般機械器具製造業（営業担当）	・まだ経済活動が全面的に解禁されたわけではなく制限も残っている。上向きではあるが楽観できる状況ではない。	
	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・しばらくはこのまま底が続く。米国で新型コロナウイルスの感染状況が大幅に改善して航空機の受注が始まらないと、改善の見込みはない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（役員）	・マンションは、客の動きが悪くなってきている。戸建て住宅は、このところ資材の調達が厳しく今後コストアップによって値上がりが見込まれるので、完成物件へ客が動いてくれることを期待したい。
		輸送業（経営者）	・特需はないが物量の安定は続くと思われる。
		輸送業（従業員）	・政府の新型コロナウイルス対策にマンネリ感もあり、企業の景気は下げ止まりしてきた感がある。個人消費は相変わらずインターネットを中心に堅調である。
		輸送業（エリア担当）	・コロナ禍で、ECは高止まりしている。懸念は、同業他社が単価を随分下げて営業している。以前とは違い働き方改革や法改正によりコストが上がっているなかでのこの流れに、荷主にも動きが出ると、当社も他の会社も対応せざるを得ず、結果として業界全体の収支が悪化してしまうことを懸念する。
		輸送業（エリア担当）	・コロナ禍の状況はしばらく変化がないと考える。
		金融業（従業員）	・景気の2極化により先行きは分からないし、東京オリンピック開催の有無にも左右されるなど懸念材料が多いため、どちらともいえない状況である。ただ、自動車関連業種については比較的生産なども増えているということで、景気は若干良い方向に向いているイメージはある。
		金融業（企画担当）	・ワクチン接種が進み始めており、周辺の人々の心情が変わりつつあるものの、ワクチン接種が終わらないと本格的な回復には向かわないとみられる。当面、現在の景気が続くと思われる。
		不動産業（経営者）	・状況を見据えた様子見が続く。
		不動産業（経営者）	・6月の天候は、例年よりも雨の日が多い予報である。今後も新型コロナウイルスの影響を受けて出費を控える傾向は継続し、売上の厳しい状況が続くと思われる。
		不動産業（開発担当）	・鋼材価格等も上がっており、景気が上向き要素が見つからない。
		広告代理店（制作担当）	・コロナ禍のなか、夏のイベント等の縮小、又は延期や中止が続いており、広告の出稿も足踏み状態になっている案件が多い。
		行政書士	・物流業者からは、倉庫を建てるような設備投資の意欲が湧かないという声を聞く。
		会計事務所（職員）	・売上、販売量共に好調ではあるが、取引先では少なからず新型コロナウイルスの影響で自粛の動きがまだあり、これ以上景気が良くなることはなさそうである。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・不況の出口はまだみえないため、当社としては特許出願した製品を他社の工場で稼働できるように試作版を製作し、次の新商品として世に送り出す準備を始めた。そろそろ客へのアプローチを仕掛ける必要があると考えている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が延長され、ワクチン接種もなかなか進展せず、感染症拡大の収束の見通しも立たず、景気はやや悪くなると思う。
		化学工業（営業担当）	・台湾での水不足、電力不足や新型コロナウイルスの影響で、半導体メーカーに影響が出る可能性がある。
		金属製品製造業（従業員）	・仕事量の心配に加え、鉄材やステンレス材の高騰が利益を圧迫し、そもそも品不足で安定的に生産ができるか本当に心配な状態になってきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・原材料価格が10～15%程度上昇した。販売単価への価格転嫁もできず、今後採算性によっては仕事を減らざるを得ない環境である。価格転嫁ができない状況が続くなか、良くなるとは思えない。
		建設業（経営者）	・今の日本は、新型コロナウイルスと東京オリンピックの問題が解決する見通しがはっきりしていない。政治家の指導力のなさから将来が計り知れず、たまらなく不安である。
		通信業（法人営業担当）	・何度となく発出される緊急事態宣言に、店側はじわじわと痛手を負う一方で、消費者側は自粛生活に慣れていく。慣れて外出しなくなるというわけではなく、外出しても消費しないことに慣れていく。外出はするので新型コロナウイルスの感染拡大は止まらないから4度目の宣言発出が見えてくる。悪循環のスパイラルは止まらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・緊急事態宣言の延長もあり、6月も週末の営業は休業となったため、来客数が増えることはないと思われる。出張休止となったことで営業機会を損失している。
	×	食料品製造業（営業担当）	・緊急事態宣言がどれだけ延長されるかによるが、解除されても閉店した店の受注は戻らない。
	×	建設業（営業担当）	・公共の仕事は予算変更などでめどが立ちにくくなっている。民間についても、新型コロナウイルスの変異株がまん延以上に更に加速的に広がるおそれがあるので、そういったなかでは仕事の動きが強制的にストップしてしまうため、どこかの段階で悪くならざるを得ないとする。
	×	新聞販売店〔広告〕（店主）	・先行きが不透明すぎて、悪くなるようにしか思えない。
	×	公認会計士	・中堅、中小企業における後継者難等の課題の解決はまだまだ時間が掛かる。コロナ禍の出口がみえない。
雇用 関連 (東海)		人材派遣会社（営業担当）	・業種によると思うが、景気回復に向けて各社で様々な取組をし、人材の活用も徐々に回復してきている。派遣、中途採用など、この先活発になると考えている。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・当地区の自動車メーカー系製造ラインについては、今のところ半導体不足による生産稼働停止は出ていないが、他の地域で生産調整を行う予定である。世界的な半導体不足が、今後懸念される。
		職業安定所（職員）	・ワクチン接種が進み、景気が良くなると考える。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・ボーナス支給明け以降に活動を積極的に行う人が増加してくる。採用する企業側も、この環境下においても適応し採用に投資を行うことが予想される。
		民間職業紹介機関（窓口担当）	・緊急事態宣言下でも1回目、2回目に比べて経済の動きや社会が回っていると感じる。地元では製造業も持ち直しの感があり、活動制限のあるなかでも求人人数・人材活用の範囲は徐々に広がりを見せている。
		人材派遣会社（経営企画）	・特に変動要素はない。
		人材派遣業（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がり、感染者数が減少する。これが進まない限り、景気上昇は考えられない状況にある。
		人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種率が高まってきても、変異株の影響がどうなるか不明である。企業は業績不安定を懸念して、求人数の減少傾向は続くとみている。
		人材派遣会社（企画統括）	・緊急事態宣言の延長が見込まれており、引き続き不透明な状況が続いている。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・ワクチン接種が遅れており、現在の状況が急に上向くとは考えにくい。
		職業安定所（所長）	・新規求人数は一定数で落ち着いてきているが、雇用調整助成金の特例措置の段階的な縮減による解雇者の発生が心配され、先行きは不透明である。
		職業安定所（職員）	・当所の管内全域が新型コロナウイルス関連のまん延防止等重点措置の適用地域になっており、高齢者のワクチン接種は徐々に進んではいるものの、65歳以下の者の接種が進まないと景気が改善しづらいと感じている。
		職業安定所（次長）	・新規求人数を前年同月と比較すると、製造業、卸売・小売業、運輸業等で増加がみられ徐々に回復傾向にあるものの、その動きは鈍く不透明性が高い。新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、緊急事態宣言の延長等の影響を考えると、急激に求人が増加するという力強い状況にあるとはいえない。
		職業安定所（次長）	・今月はハローワークが新型コロナウイルスの影響で閉鎖になり、状況の判断がしにくい。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・例年必ず複数回の採用試験を行っている医療機関で、今年の計画は未定と回答する施設が増えてきている。採用予定数自体も、減少してきている印象を受ける。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が一定の水準になるまでは、求人の回復は難しいと考える業種が多い。
		人材派遣会社（営業担当）	・東京オリンピック開催が不透明なことに加え、ワクチン接種の遅れも目立ち不安材料が多い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・4月の新規求人数は前年同月と比べ増加しているが、これは前年の数字が低かったことが大きい。新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の業種では巣籠り需要によって業績が上がったところもみられるが、全体としては、厳しい状況が続いている。ワクチン接種が一定割合までいかない限り、厳しい状況は続くと思われる。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の終息が不透明で、事業活動が活性化する兆しが見えない。
	×	人材派遣会社（社員）	・ゴールデンウィークで新型コロナウイルスの感染者数が増え、今後、東京オリンピックやお盆の連休等があり感染が拡大しそうで、ホテル業界は先が見えない。
	×	新聞社〔求人広告〕 （営業担当）	・持ちこたえられなくなりつつある企業が多くなってきたように感じている。倒産も増えるのではないかと。

## 7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北陸)		コンビニ（店舗管理）	・ワクチン接種や東京オリンピック等で、現時点よりは閉塞感が和らぐ方向にあるはずである。
		一般レストラン（統括）	・7月下旬から東京オリンピックの開催があり、その後はお盆休みとなるが、その間にも高齢者のワクチン接種が進むため、前年と異なり、夏からの景気は上向きになるとみている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスワクチンの普及に期待している。
		一般小売店〔書籍〕 （従業員）	・新型コロナウイルス関連でワクチン接種が進み、現状よりも良くなってもらいたい。
		家電量販店（店長）	・東京オリンピックが無観客で開催されれば、テレビの販売に期待が持てる。
		乗用車販売店（役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が遅ればせながら始まり、8月後半くらいになれば感染者数も徐々に減少に向かい、長く低迷していた国内景気も上向きになるとみている。
		自動車備品販売店（役員）	・まだまだ飲食関係では締め付けが多いが、ほかは回復傾向にある。しかし、東京オリンピック次第で大きく環境が変化する可能性が高い。国はどうしてワクチン接種を早く進めなかったのか、景気以上に政府に失望している。
		高級レストラン（スタッフ）	・2～3か月で大きく環境が変化するとはみられないが、現在より悪くはならない。
		タクシー運転手	・5月が最悪でどん底の状態であり、今後は少し改善傾向に向かっているのではないかと考える。
		通信会社（役員）	・サービスの提供エリア内でワクチン接種が進むことによって経済活動が活発になることが好材料となり、引き続き契約者数が前年同期を越えていくと見込んでいる。
		競輪場（職員）	・来場する客層が比較的高齢であるため、新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで、来客数が安定すると見込んでいる。
		その他レジャー施設 〔スポーツクラブ〕 （総支配人）	・この先3か月間でワクチン接種が高齢者に行き渡れば、利用者数や入会者数は増加に動き出すのではないかと期待している。子供については夏休みの特別教室にかけられない。
		美容室（経営者）	・ここ数日、東京や大阪での感染者数が減少傾向にあるとの報道があり、ワクチン接種の進展とも併せて消費意欲が高まってくる。
		商店街（代表者）	・ワクチン接種が急ピッチで進んでいるが、一般成人が接種できるまでにはまだ時間が掛かりそうで、気軽に買物に出掛ける状況になるまでには程遠いようである。
		一般小売店〔精肉〕 （店長）	・デイリーだけを見ればやや良くなるとしたいのだが、会社関係で動きがもう少し出てきてほしいところである。
		一般小売店〔鮮魚〕 （役員）	・ワクチンの効果が目に見えて現れるまではこの状況が続くとみている。
	百貨店（売場主任）	・ワクチン接種が劇的に進まない限り、景気が良くなることはない。	
	スーパー（店舗管理）	・来店の動機付けをしても、必要な商品しか買わない傾向である。家族での買物機会も減少しているので、ついで買いにつながらない。	
	コンビニ（経営者）	・季節商材の売行きが横ばいである。	



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（店長）	・下げ止まりは見せているが近県でまん延防止等重点措置が適用されるなど、週末や休日に客が動くきっかけがない状態が続いている。比較的出歩いている人とそうでない人とが2極化しており、今後もこの傾向は変わらないと感じているため、数か月先の景気は変わらないとみている。以前であれば1日に数回利用していた常連客の利用が制限され続けている。ワクチン接種でどう変わるのか、良い変化を期待したいが、先がどうなるか見えてこない。
		コンビニ（営業）	・東京オリンピックの動向が不透明で、東京オリンピックが終了しないと変化がみられない。
		家電量販店（本部）	・暑さ次第のところもあるが、今のワクチン接種状況では来客数が戻らないと考える。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染に関する報道ばかりが続いているなかで、客の動きが制約されている。景気が活発になる要素はなかなか出てこないとみている。
		住関連専門店（役員）	・特に盛り上がる時期ではないことから変わらない。もし、今年の夏に東京オリンピックが開催されると、その後の状況が確実に左右されることとなる。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・日本中の人々が皆ワクチンを2度接種して、少し安心すれば良くなるかという感じはする。それでも元に戻るには時間が掛かると考える。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルスの感染状況は、変異株の拡大などで2～3か月先までは状況が好転することに期待はできない。ただし、都市圏の緊急事態宣言の解除や東京オリンピックの開催、そしてワクチン接種の前倒しなど、経済活動に抑制が掛からない状況になるようであれば、消費活動も回復傾向になると期待している。
		一般レストラン（店長）	・新型コロナウイルスの感染者が身近になってきており、感染が収束する気配を感じられない。新型コロナウイルスの感染が収束に向かっても、コロナ禍以前の状態に戻るとは考えにくい。
		観光型旅館（経営者）	・今後も新型コロナウイルスの感染状況次第で、全く先行きが見えないのが実情である。
		観光型旅館（スタッフ）	・全国的に緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除され、Go Toキャンペーンが再開されない限り回復しない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・毎日新型コロナウイルスの感染者数を注視している。6月20日までの緊急事態宣言延長により、全く先が見えなくなり赤字も止まらない。大都市に緊急事態宣言が発出されていると、地方も疲弊する。
		旅行代理店（従業員）	・ワクチン接種が進まなければ好転しないとみている。広く一般の人まで行き渡るには3か月程度では足りないと思う。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が高くなるまでは、回復しないとしかいえない。
		通信会社（営業担当）	・携帯電話業界は価格競争となっており、景気が大きく変化する要素が見当たらない。
		通信会社（店舗統括）	・この状況が続くとみている。
		テーマパーク（役員）	・2～3か月先ではワクチン接種がまだ広がらない可能性があり、引き続き人流が抑制されるようであれば、現在と大きく状況が変わることは期待しにくく、Go To Travelキャンペーンの再開も難しいなかでは、現在の状況が続くとみている。
		パチンコ店（経理）	・新型コロナウイルスの感染状況に大きな変化がみられないと思うので、景気も大きな変化はないとみている。
		住宅販売会社（従業員）	・大きな住宅団地の販売が進み、建物建築も進んでいくことで、新たな客を呼び込むことができる。住宅展示会の予定があり、まだまだ現在の状態が継続するとみている。
		住宅販売会社（営業）	・県内における新型コロナウイルスの感染拡大に明確な歯止めが感じられない限り、現状が続くとみている。
		一般小売店〔事務用品〕（店長）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加に伴い、来客数が減少する傾向になると考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
x		百貨店（販売促進担当）	・ワクチン接種で客の来店が増える」とみているが、旅行や冠婚葬祭の回復には時間が掛かり、関連するウェアやギフトなどの消費へはつながりにくい。長期化するとブランドの退店や取引先からの条件の変更など予断を許さない状況が続く。
		百貨店（販売担当）	・食に関しては減少しないとみるが、衣料品や雑貨は当面苦戦を見込んでいる。出張、旅行など外出ができない客が多く、特に高齢者は家から出ない人も多い。外商客は要望を聞きながら対応するが、衣料品は不要であると購入をちゅうちょされる傾向である。しかし、資産価値が高い工芸品や美術品などは好調に動いている。冠婚葬祭関連需要も少ないため、ギフトアイテムの動きが弱い。さらに、低価格志向が強くなり、低単価商材を選択する傾向である。夏のセール期間中は一時的に売上が向上する可能性は高いが、単価の改善やギフトが拡大するとは見込めず、当面苦戦を見込んでいる。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルス対策としての措置により、今後廃業に追い込まれる企業が出てくるようにみえる。
		スーパー（仕入担当）	・この先も値上げの波はやまないと予想している。価格競争も激しくなってくるのではないかと考える。
		衣料品専門店（経営者）	・ワクチン接種の動向もあるが、新型コロナウイルスの感染が落ち着かなければ売上の増加は望めない。
		乗用車販売店（従業員）	・半導体不足により納期が掛かる車種等、販売にもかなり影響が出ている。
		スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、先の状態に全く光が見えてこない。
		通信会社（職員）	・コロナ禍によるメーカーの機器納品遅延による影響が長引きそうな状況にある。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響がどれだけ続くのか、どれだけ自粛を頑張っても早めに新型コロナウイルスを終息させられるのか、まだまだ不透明である。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅資材の木材高騰からくるウッドショックの影響があると予想している。
		商店街（代表者）	・元々、閑散期である梅雨シーズンになり、次に人通りが増えるのは7月後半から始まる夏休みである。とはいえ前年のデータから考えると、観光客が歩けるGo To Travelキャンペーンが始まらない限り、どん底をはい上げる見込みは立たない。
企業 動向 関連  (北陸)		*	*
		一般機械器具製造業（総務担当）	・工作機械業界全体として前年後半から緩やかに回復しており、その傾向は現在も続いている。
		通信業（営業）	・コロナ禍が現状程度の影響で推移すれば、様々な補助金施策が開始となり、特に対象業種を中心に投資意欲が向上し、販売量も増加すると見込んでいる。
		司法書士	・不動産の購入、建物建築、会社設立等の依頼が続いている。
		税理士（所長）	・建設業や製造業関係の受注は現在も比較的改善しているが、経営者の話によると6月以降の受注残については予定があり、自信を持っている状態が急速に出てきている。製造業関係や建設業を中心に、業況は大きく改善に向かうのではないかとみている。アフターコロナに向けての期待も入っていると思うが、良い方向に向かっているのではないかと考える。
		食料品製造業（経営企画）	・コロナ禍における需要スタイルの変化に的確に対応できるかが分かれ目だと考える。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・全国各地で緊急事態宣言が発出され、地域でも引き続き感染が収まる気配がみえず、なかなか本格的な回復には至らないと考える。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の注文の入り具合から変わらない。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・中国及び先進国向け輸出の受注が非常に好調であり、船便の手配に苦慮している状況が続いている。一方で、鋼材関係が値上げ基調となっており、収益を圧迫しつつある。また、人手不足も依然として継続していることから、近隣企業と協力しながら、その解消に努めている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	精密機械器具製造業（役員）	・緊急事態宣言が延長されたことや、東京オリンピック開催についての不安等が払拭されていないこともあり、現時点ではワクチン接種に関する課題が落ち着いてくるまで、なかなか好循環へのイメージが湧かない状況ではないか。
		建設業（役員）	・依然として新型コロナウイルスの影響が続いているとみられ、見通しが不透明である。
		輸送業（役員）	・コロナ禍への対応の進展次第である。
		金融業（融資担当）	・新型コロナウイルスの影響を強く受けた企業とそうでない企業が2極化している。新規感染者数は高止まりしており、飲食、宿泊、交通及びその関連産業は当面厳しい環境が続く。
		不動産業（経営者）	・法人関係にしても個人客にしても、問合せが少ないということがずっと続いている。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の終息が見込めない状況が続いていて、全体として景気回復の気配はみられないと考える。
		広告代理店（経営者）	・ワクチン接種が終わるまでは、厳しい見通しである。
		金融業（融資担当）	・東京オリンピック開催の可否が迫っており、緊急事態宣言等の制限継続を予想している。経済活動への影響も長引くことから、景気改善の材料が少ない。
雇用関連 (北陸)		-	-
		新聞社 [ 求人広告 ]（営業）	・まん延防止等重点措置の適用終了後は、活動できる業種が出てくるので、その分は今よりも良くなるとみているが、全体では低調なままではないかと考える。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が行き渡れば、景気が安定し、求人の提出が増加していくとみている。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染拡大に一定の歯止めが掛かるならば、商工業の経済活動再開の意欲も消費者の消費意欲も強いことから、上向きになるとみている。しかし、マスク着用等の最低限の規制は必要不可欠である。国民の多くはワクチン接種によってマスクから解放されると考えているので、マスク着用が残るといった思い違いが消費意欲にブレーキを掛ける要因になり得るかもしれない、消費意欲の動向が鍵となるとみている。
		人材派遣会社（役員）	・派遣登録者が全く増えず、マッチングに苦しんでいる。
		人材派遣会社（社員）	・コロナ禍がまだしばらく継続するとみている。そのため、求人や求職に対する前向きな行動が抑えられるのではないかと考える。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・雇用を増やすような大きな話が出てこない。
		新聞社 [ 求人広告 ]（担当者）	・県内では再び新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向となり、高齢者のワクチン接種は始まったものの、一般への接種状況が見通せない上、その効果が広域に出るまでにはまだ半年以上は掛かるとみている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・東京オリンピック開催の行方に左右される。開催ならばあらゆる面で雇用も高まり、景気も活気付いていくと考える。
		学校 [ 大学 ]（就職担当）	・求人数について、状況が変わる要素がみられない。
		-	-
	x	-	-

## 8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)		百貨店（企画担当）	・通常営業ができていることを前提とすれば、良くなる。
		百貨店（外商担当）	・高齢者への新型コロナウイルスのワクチン接種が山場を越えれば、一気に客の購買動向は好転すると予想される。
		家電量販店（人事担当）	・巣籠り消費は既に一巡したといわれるが、かつての家電エコポイント制度による購入から10年が経過し、買換え需要が出てくると期待している。
		通信会社（社員）	・地域のブロードバンドサービスの普及状況はほぼ頭打ちであるが、その他のメニューの販売は伸びている。また、ブロードバンドサービスの高齢者による利用増加なども考えると、まだ成長のポテンシャルはある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		競輪場（職員）	・緊急事態宣言が解除が緩和となれば、販売が可能となるため、今よりも良くなる。
		一般小売店〔珈琲〕（経営者）	・緊急事態宣言は発出中であるが、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでおり、飲食店の営業再開が期待される。
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・緊急事態宣言が解除され、ある程度は安定した売上が見込める状態になることを期待したい。
		百貨店（売場主任）	・休業要請はこれ以上続かないため、今よりも売上は回復すると予想している。ただし、百貨店も厳しい状況にあるが、取引先の一部は更に厳しい状況となっている。それに伴い、前年に続いて倒産のほか、事業の廃止や撤退、取引条件の見直し要請などの増加が予想されるため、厳しい状況が続く。
		百貨店（特選品担当）	・休業要請が解除されれば、今の状況よりも間違いなく改善される。
		百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、緊急事態宣言も緩和されて人流がやや戻れば、売上は増えてくると予想される。また、美術品や時計、宝飾品などは、株高もあって既に堅調に推移しており、この部分も更に活発化してくる。
		百貨店（売場マネージャー）	・緊急事態宣言による新型コロナウイルスの感染者数の減少や、ワクチン接種の促進により、景況感の改善が予想される。
		百貨店（販売推進担当）	・緊急事態宣言が解除されていることを期待する。
		百貨店（外商担当）	・5月下旬から、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいる。7月に予定どおり高齢者へのワクチン接種が完了すれば、かなり景況感改善し、消費意欲も高まることが予想される。
		百貨店（店長）	・7月末までに高齢者への新型コロナウイルスのワクチン接種が終わり、東京オリンピックも無事に開催されれば、経済は回るはずである。
		百貨店（商品担当）	・3度目の緊急事態宣言は、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大などで当初の予定から延長となり、解除の時期が見通せない。一方、中旬からはワクチンの供給と接種が進み始め、少し明るい兆しが見え始めている。景気の回復にはしばらく時間を要するものの、これまでの反動で上向きの動きが出てくると予想される。
		百貨店（販促担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が少し進むことで、感染者数は余り増えず、現状よりも改善に向かうと予想される。派手な購買行動はないにしても、自粛が長く続いた反動で、消費の拡大も期待できる。特に、食に関するちょっとした贅沢や、夏の機能的商材などは良い動きが期待できる。
		百貨店（売場マネージャー）	・全国的に緊急事態宣言が延長となる可能性はあるが、当県は新型コロナウイルスのワクチン接種率が高いため、百貨店の主要客層である、65歳以上の客の来店頻度が高まる可能性がある。
		百貨店（マネージャー）	・海外需要は回復傾向にあるが、国内の消費回復は、全て新型コロナウイルスのワクチン接種が鍵となる。
		百貨店（サービス担当）	・緊急事態宣言に伴う要請事項が6月から緩和され、前年のような営業が可能となるため、今よりも良くなる。催事場の運営は今後の課題であるが、お中元ギフトなどの集客も今後は良くなる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いても、東京オリンピック以降は明るい材料がなく、景気刺激策が重要となる。ただし、人の移動制限がなくなったときに、消費は一時的に増えるため、今よりも良くなると予想される。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、人の流れが出てくると予想される。
		スーパー（店員）	・競合店対策を進め、お買い得品を毎日用意することで、少しずつ販売数も増えてきている。このまま続けていけば、売上も上がってくると予想される。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの高齢者へのワクチン接種が終われば、動きが出てくると感じる。
		コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、商業施設の営業時間や運営状況も元に戻れば、人の流れが変わる。今は、消費者が動きを控えているだけである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（店長）	・緊急事態宣言が解除されるため、自然に景気は上向く。
		家電量販店（店員）	・夏に向けて、エアコンや冷蔵庫の需要が更に高まる。忙しくなり、景気は上向く見込みである。
		家電量販店（店員）	・生活必需品であるエアコンや冷蔵庫、洗濯機は、ステイホーム中も利用が多く、省エネ家電を中心に販売が好調である。梅雨入りも例年より早く、季節商材の動きも活発化していくことが予想される。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んで、経済活動が元に戻り、生活も元の状態に戻れば、少し景気は良くなる。
		乗用車販売店（販売担当）	・生産の回復により、これから先は販売できる新車の増加が見込まれる。
		その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・緊急事態宣言の延長により、外出の抑制はあるものの、新型コロナウイルスのワクチン接種の開始や東京オリンピックの開催など、景気のプラス要素もみられる。大幅な改善は期待しにくい、緩やかな回復が予想される。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・東京オリンピックの開催で、やや良くなる。
		その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・客は新型コロナウイルスに慣れており、高齢者の多い商店街でも人出が増え、活発に営業している店やスーパーなどへ買物に出掛けている。
		高級レストラン（スタッフ）	・緊急事態宣言が解除され、制限付きでも酒類の販売が解禁となれば、期待がもてる。
		高級レストラン（企画）	・緊急事態宣言の解除やGo To Travelキャンペーンの再開、地域観光の振興補助の開始により、改善に向かうことが予想される。
		一般レストラン（企画）	・新型コロナウイルスの感染者数の減少や、ワクチンの接種により、徐々に経済活動が活発化すると予想される。景気がこれ以上悪くなることはなく、徐々に良くなっていく。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の遅れにより、高齢者の会合がキャンセルとなっている。キャンセルの理由にワクチンがよく出されるため、今後の接種の増加に期待している。一方、レストランのランチ利用は好調であるが、ディナーは横ばいと予想されるほか、宿泊も需要が少なく、日中利用のプランを販売しているが、他社も格安で販売しているため、なかなか難しい。
		都市型ホテル（販売促進担当）	・客室、飲食部門については、今までの緊急事態宣言では解除後に動きが見られたが、今回は新型コロナウイルスのワクチン接種の状況次第でもある。3か月や半年先の会議室の予約にもキャンセルが入っているため、2～3か月先はそれほど明るいものではない。
		都市型ホテル（総務担当）	・3か月後には緊急事態宣言も解除となっているほか、7月中には高齢者への新型コロナウイルスのワクチン接種がほぼ終了すると予想される。その状況になれば、ビジネス、レジャー共に宿泊客が増えるほか、レストランの利用の多数を占める、高齢者の利用が増える。
		都市型ホテル（フロント）	・緊急事態宣言は延長の見込みであるが、各種の制限が緩和傾向にあるため、ビジネスでの人の流れは徐々に回復すると予想される。
		旅行代理店（役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで、旅行費用の県民割などが開始されることを期待している。
		通信会社（社員）	・緊急事態宣言が解除されれば、通常の営業に戻り、忙しくなる。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響で、アーケードゲーム機器の投資は様子見となっていたが、感染の収束による状況改善が期待できる。
		観光名所（経理担当）	・政府の目標では、高齢者に対する新型コロナウイルスのワクチン接種が完了となる頃である。高齢者の外出意欲の高まりに加えて、重症病床の使用率の低下が期待できるため、全体的に今よりも危機感が薄れてくると予想される。
		ゴルフ場（支配人）	・緊急事態宣言の延長で行動が制限されるなか、密にならないスポーツについては、まだしばらく良くなると予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他レジャー施設 [ 飲食・物販系滞在型 施設 ] (企画担当)	・緊急事態宣言の解除や、夏休みでの外出ニーズの高まりで、現在よりも向上くと予想される。
		その他サービス [ マッサージ ] (スタッフ)	・アロマオイルマッサージで服を脱ぐため、冬よりも夏の方が来客数は増加する。
		住宅販売会社 (従業員)	・コロナ禍においても、不動産に関してはホテルや商業施設以外は堅調に推移している。新型コロナウイルスのワクチン接種により、感染の鎮静化の兆しが出てくれば、より一層活況になると予想される。
		その他住宅 [ 住宅設備 ] (営業担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がれば、世間の様子が変わってくると期待したいが、緊急事態宣言の延長もあり得るなかで、しばらくはつらい時期が続くそうである。
		商店街 (代表者)	・今後も大きな変化は望めない。
		一般小売店 [ 花 ] (経営者)	・緊急事態宣言の延長で取引先の休業が続くため、売上が伸びることはなく、景気回復には程遠い。
		一般小売店 [ 時計 ] (経営者)	・前年の夏と同じように、マスクをして外出するという状況は考えられない。東京オリンピックの開催もあり、新型コロナウイルスの感染状況が良くなるのかどうか、今後が分かれ目になると感じる。景気が良くなることは期待できないが、これ以上悪くならないでほしい。
		一般小売店 [ 鮮魚 ] (営業担当)	・緊急事態宣言の解除後も期待はもてず、受注予約も全くない。
		一般小売店 [ 野菜 ] (店長)	・緊急事態宣言が延長されそうな気配であるため、厳しい状況が続く。
		一般小売店 [ 呉服 ] (店員)	・当店は奈良にあるが、客は緊急事態宣言が出ている京都の催事に出席することを避けている。
		百貨店 (売場主任)	・病床使用率が下がり、営業に対する制限がなくなったとしても、来店する習慣がなくなった客に対し、来店のモチベーションを高めるには時間を要する。
		百貨店 (服飾品担当)	・6月20日までの緊急事態宣言の延長を受け、6月1日からは平日の営業が再開できる。それに伴い、来客数は回復が期待できるものの、新型コロナウイルスの感染状況はまだまだ予断を許さないことから、客の動きは厳しいままとする。一方、リモートでの買物体験者が徐々に増えており、感染収束後にもつながる新しい動きが広がると予想される。
		百貨店 (宣伝担当)	・休業状態が続いているため、取引先から秋冬商材の減産の報告が相次いでいる。新型コロナウイルスのワクチン接種の急拡大などがなければ、生産の改善が見込めず、売上の回復は厳しい。
		百貨店 (マネージャー)	・新型コロナウイルスのワクチン接種のスピードが早まらないほか、長引くコロナ禍への疲弊感、小売業や飲食業を中心とした悪影響など、ポジティブな要素が見当たらない。
		百貨店 (営業推進担当)	・全国民の7割程度まで、新型コロナウイルスのワクチン接種が進まなければ、現在の景気下降の動きは続くと言われる。
		スーパー (経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種がようやく本格化したものの、高齢者への接種だけで7月中旬頃まで掛かる。一般への接種は8月から秋に掛けて本格化し、多少は外食の頻度が上がるとしても、夏一杯は家庭での食事や近場でのレジャーが中心となる。また、東京オリンピックの家庭での観戦も、需要の増加につながる。
		スーパー (店長)	・コロナ禍の収束が鍵になる。今の状況が長引けば、景気は横ばいか、悪化に向かうことが懸念される。
		スーパー (店長)	・コロナ禍の収束がみられないほか、新型コロナウイルスのワクチン接種も大きくは前進しないと予想される。前年に大きく伸びた食品の買上点数も、落ち着きがみられ、前年を割り込んでいる。レジャー関連は前年の反動で伸びているが、消費者の行動の変化は感じられない。
		スーパー (店員)	・例年は梅雨が長引くと野菜の値段が上がるが、今年は新型コロナウイルスの影響で、少し高くても売れている。
		スーパー (企画担当)	・新型コロナウイルスの感染は収束しないと予想されるため、今の状況が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経理担当）	・緊急事態宣言の期間が長引くにつれて、内食や巣籠り需要は落ち着くと予想される。一方、自宅でのテレビ観戦が予想される東京オリンピック期間についても、自宅での食事が増えるという点では、今と余り変わらない。
		スーパー（開発担当）	・緊急事態宣言が発出され、飲食店や百貨店などは休業要請により売上が激減している。食品スーパーもそれほど来客がなく、景気の良くなる兆しがみられない。
		コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言は解除されていると予想されるが、企業のリモートワークは定着しつつあるため、以前のような来客数には戻らない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいないため、企業のテレワークは続き、来客数は減ったままの状態となる。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くか見通せない。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がかなり進まなければ、そう簡単には変わるとは思えない。新型コロナウイルスへの恐怖心は、全員にワクチンが行き届き、ほとんど感染者がいなくなるまでは消えない。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かない限り、今のままの状態が続く。
		コンビニ（店員）	・幹線道路沿いの店であるが、住宅街であり、客には高齢者や子供が多い。景気に影響されにくい客層のため、売上や来客数はそれほど変わらない。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がスムーズに進み、現状が良くなることを期待しているが、景気の向上につながるかどうかは不安である。
		コンビニ（店員）	・大きな変化は予想できない。周囲の飲食店もまだまだ閉まったままであるため、しばらくは今の状態が続く。
		衣料品専門店（経営者）	・高齢者による新型コロナウイルスのワクチン接種が7月末に完了しても、通常の状態に戻るためには、国民全体の接種がある程度進む必要がある。10月以降には、景気がある程度は回復することを期待しており、8月の帰省需要に対しても少し期待している。
		家電量販店（経営者）	・ある程度、新型コロナウイルスのワクチンが行き渡るまでは、今のよう状況が続く。
		家電量販店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かないことには、改善は見込めない。
		家電量販店（企画担当）	・しばらくは悪い状況が続くと感じる。失業の増加や、企業の業績悪化に伴って給与が減少するため、家電の購入は、故障による買換えに限定されると予想される。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、経済活動が再開しても、疲弊した経済が戻るまでには時間が掛かる。
		その他専門店 [宝石]（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束すれば変わるが、そうでなければ現状のまま推移する。
		その他専門店 [食品]（経営者）	・これから3か月以内で良くなる要因がない。
		その他専門店 [宝飾品]（販売担当）	・固定客への新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染の不安が多少減ったとしても、スムーズに売上の増加につながると思えない。
		その他小売 [インターネット通販]（企画担当）	・これ以上、悪くならないことを願いたい。新型コロナウイルスのワクチン接種が進まない限り、消費マインドの改善は期待できない。
		その他小売 [インターネット通販]（オペレーター）	・現在行っているキャンペーンの反応が余りないため、今後も期待できない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が広がっており、ワクチン接種が進むにもまだまだ時間が掛かりそうである。感染のリバウンドへのおそれから、これからも飲食店に何らかの要請は続くと思われるため、それが続く限り、飲食店の回復は見込めない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が増えても、異なる変異株が出てくる可能性があるため、先行きは分からない。
		一般レストラン（店員）	・緊急事態宣言が発出されているにもかかわらず、来客数が増えてきている。消費者は新型コロナウイルスを余り気にしていないように感じる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型ホテル（経営者）	・観光業は、新型コロナウイルスによって大打撃を受けている。
		観光型ホテル（経営者）	・当地区では、緊急事態宣言が更に延長される見通しのため、今後も臨時休館を続けるしかない。
		観光型旅館（経営者）	・来月も予約の動きが全くなく、先が見通せない状態である。
		都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、一時的に良くなったとしても、緊急事態宣言が解除されると、再び感染が拡大する可能性は否めない。
		都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の減少や、緊急事態宣言の解除のほか、社会全体での感染沈静化への認識などに左右される。現状ではまだ分からない。
		旅行代理店（店長）	・緊急事態宣言の解除後は回復を期待したいが、新型コロナウイルスのワクチン接種が早く終了しなければ、回復は難しい。
		旅行代理店（支店長）	・東京オリンピックまでは緊急事態宣言が継続され、解除となっても消費喚起策は打てないため、消費マインドに変化はないと予想される。
		タクシー運転手	・交通機関の間引き運転が増えているが、その分タクシーの利用が増えているわけではない。緊急事態宣言が解除されても、しばらく低迷が続くと感じる。
		タクシー運転手	・企業関係の営業活動や会食などでの送迎が激減し、回復の見込みがない。また繁華街の人出も少なく、夜勤の営業収入は3分の1に落ち込んでいる。
		通信会社（経営者）	・緊急事態宣言の影響が出る。
		遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第となるため、全く予測ができない。夏までには、事業活動が行える程度に感染が収束することを祈っている。
		競艇場（職員）	・緊急事態宣言の発出や、その延長により、無観客での開催や発売時間の前倒しなどで対応しているが、電話投票やインターネット投票は引き続き好調である。この先も大きな落ち込みは考えられず、現在の状況が継続すると予想される。
		その他レジャー施設 [複合商業施設]（職員）	・緊急事態宣言の効果は、前年と比べて明らかに低下している。また、感染拡大が長期化することで、企業の体力も確実に低下している。米国や英国のように、新型コロナウイルスのワクチン接種を全人口の一定割合が終えるまでは、改善は見込めない。
		その他レジャー施設 [イベントホール]（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が広がれば、不安材料が少し払拭されるものの、急激な回復は見込めない。
		その他レジャー施設 [球場]（経理担当）	・大阪府では3度目の緊急事態宣言が発出され、当面プロ野球は無観客試合となり、6月に予定されているコンサートも開催が危ぶまれる。
		その他サービス[学習塾]（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響で体調不良や不安を訴える生徒には、オンライン授業などで対応し、何とか退会を食い止めているが、今後はどうなるか分からない。
		住宅販売会社（経営者）	・取引量が順調に推移し、在庫が不足気味になりそうである。今後も、景気は現状のまま推移することが予想される。
		住宅販売会社（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がある程度進めば好転するが、現状では厳しく、しばらくは今の状況が続く。
		その他住宅投資の動向を把握できる者[不動産仲介]（経営者）	・今後は失業者が増加すると予想される。不動産価格は多少の下落があるものの、景気が下向きになるような要因にはならない。
		その他住宅[展示場]（従業員）	・6月も緊急事態宣言の延長が予想されるため、展示場への来場者数も低迷することが懸念される。
		一般小売店[衣服]（経営者）	・通常、衣料品の販売は6月からセールの時期に入るが、今年は単価が下がっている。今のように来客数が少ないままでは、売上が伸びず、この2～3か月は厳しくなると予想される。
		一般小売店[事務用品]（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の状況に左右されるが、コロナ禍が収束しなければ、景気回復は望めない。
		スーパー（店長）	・失業者数の増加による売上の低迷が予想される。
		スーパー（企画担当）	・商圏内でドラッグストアやスーパー、大型商業施設の出店が計画されており、厳しい戦いとなる。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（販売促進担当）	・業種によって影響の度合いが異なるが、社会全体では景況感の悪化が避けられない。
		スーパー（社員）	・今後心配されるのは、コロナ禍が長引くことによる消費の減少である。
		衣料品専門店（店長）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響が大きく、客の動きも鈍化している。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・緊急事態宣言の影響で、周辺を歩く人も少なく、売上は激減している。
		衣料品専門店（販売担当）	・緊急事態宣言の延長ばかりで我慢の限界となり、人は疲れきっている。外食にも行けず、人と会うこともないため、自分を着飾る意欲も湧かない。購買意欲自体がなくなっているように感じる。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの影響で、生活に不便が発生しており、急に必要となった物は継続的に売れているが、リフォームのような需要が潜在的な商品は、優先順位が後回しになる傾向がある。また、コロナ禍での移動手段として自動車の購入が増えてきており、競合先として異業種を意識した対応も必要と考えている。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が消費者心理に悪影響を与え、消費意欲の減退につながっている。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・緊急事態宣言が延長となり、広告を出さず、接客も制限されることで、売上は厳しくなる。客もクーポンがなければ、購買意欲が上がらない。
		その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・国民の50%が新型コロナウイルスのワクチン接種を終えるまでは、社会のムードは変わらない。
		その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染が収束しないため、来客数がかなり減少している。この先も回復する見込みはない。
		その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・必要性は理解しているが、個人の良識に頼る部分が多過ぎるなど、国の対策にはどうも納得できない。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの変異株の感染拡大による影響が大きく、ワクチンの接種も進まないなかで、景気の回復する要素が見当たらない。
		美容室（店長）	・緊急事態宣言が解除されても、新型コロナウイルスのワクチンが普及するまでは、客は戻らない。資金繰りが非常に厳しく、経営が困難な状況となっている。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・マンションは引き続き堅調な動きが予想されるが、戸建て住宅については、世界的な木材価格の高騰による影響で、着工の遅れや販売量の減少懸念が高まっている。業界全体として、市況の悪化リスクは高まっている。
	×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・今後、東京オリンピックが開催されるかどうかは不明であるが、仮に開催されるとすれば、開催後には新型コロナウイルスの感染者数の増加が懸念される。開催されなかったとしても、一時は感染者数が減るかもしれないが、その後は全く不透明である。数か月以内に感染が落ち着くとは到底思えず、景気の回復は当面見込めないと強く感じる。
	×	一般小売店〔花〕（店長）	・新型コロナウイルスの感染が収まらず、影響は更に広がる。
	×	百貨店（売場主任）	・全ては新型コロナウイルスの感染状況次第であり、ワクチン接種の迅速な進行による、感染の抑制を期待している。何よりも緊急事態宣言の解除が、回復の1つの目安となるが、今のところは数か月先の見通しも非常に厳しいと言わざるを得ない。
	×	スーパー（経営者）	・緊急事態宣言によって人流が抑えられ、観光業のウエイトが大きい地域では、様々な業種に影響が出ている。それに伴って収入が減り、消費も落ち込んでいる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・婦人服は今後も売れない。飲食店への補償は分かるが、衣料品店も補償してほしい。このままでは衣料品の小売業は事業の継続が難しくなる。
	×	乗用車販売店（経営者）	・売れ筋は、価格の安いモデルや部品が中心である。今は、車で一体どこに行くのかという雰囲気がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	任関連専門店（店長）	・堅調であったインターネット通販の売上も、緊急事態宣言の発出以降、減少し始めた。仕入価格の値上げや客離れ、輸送の遅延など、どれをとっても日本のビジネスの土台が揺らいできた実感している。特に、客離れは4月から顕著となっており、新型コロナウイルスのワクチン接種の遅れや、緊急事態宣言の長期化による影響は否めない。
	×	都市型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスの感染収束の見通しが立たないほか、ワクチンの接種も遅れている。
	×	タクシー運転手	・良くなるように祈るしかない。
	×	タクシー運転手	・来月も大阪府では緊急事態宣言が延長となる見込みのため、まだまだこの状況が打破できる要素は見当たらない。
	×	観光名所（企画担当）	・4月25日に緊急事態宣言が発出され、再び閉館となった。期間が延長されるような報道もあり、全く先が見えない状況である。仮に規制が緩和され、一部で営業が可能となっても、来場者は少なく、非常に厳しい状況が続くことになる。
	×	住宅販売会社（経営者）	・今すぐ平常時に戻ったとしても、経済の動きは2～3か月後にしか戻らない。
企業 動向 関連 (近畿)		木材木製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で取引先を訪問できず、営業的には痛手となっているが、注文の製品が順調に入荷し、ある程度の売上と利益は確保できそうである。
		金属製品製造業（開発担当）	・繁忙期に差し掛かってきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・コロナ禍での景気は、業種による好不調が完全に2極化している。当社のような工業製品のメーカーは良い影響を受けており、それも好調が継続している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・引き合い件数が増えてきたため、今後は受注が増えると思える。
		建設業（経営者）	・問合せが増えれば、受注量も徐々に増えてくる。
		輸送業（営業担当）	・巣籠り需要で通販の利用が増え、運送会社は利益が増えているが、飽くまでもスポット的な利益にとどまる。
		輸送業（商品管理担当）	・配達で減少しているのは酒類であり、緊急事態宣言が解除されれば、酒類の売上は改善される。
		経営コンサルタント	・今後は回復していく企業と後退していく企業に分かれていく。当社も、回復に向けて努力し、発展しつつある企業を選んで支援していく。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、徐々にではあるが、政府による自粛要請や自主的な行動制限の緩和につながる。
		食料品製造業（営業担当）	・東京オリンピックの開催次第では、人の流れが変わってくるが、東京以外の地域では余り変わらない。
		繊維工業（団体職員）	・緊急事態宣言の動向や、新型コロナウイルスのワクチンの接種状況に左右される。
		繊維工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響で、室内競技用の靴下がまだに売れない状態が続いている。一方、屋外競技用の商品の動きは、ほぼ回復したように感じる。
		繊維工業（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン次第であるが、安心感が高まらなければ、購買意欲の増加にはつながらないと感じる。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・ひとまず緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの影響が落ち着くまでは、先行きは見通せない。
		化学工業（管理担当）	・受注量については、取引先からの発注予定は現状並みとの情報を得ている。ただし、原材料である化学品の値上がり激しいため、利益は大幅な減少を見込んでいる。
		石油製品・石炭製品製造業（生産管理）	・今の好調は、少なくとも3か月は続く。
	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・緊急事態宣言は6月20日まで延長となり、先行きの景気については予想が難しい。新型コロナウイルスのワクチン接種の効果に期待したい。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・当社は設備投資に関連する装置を扱っているが、今の状況では設備増強の気運はまだ感じられない。しばらくは、今の状況が続くと予想される。	
	一般機械器具製造業（設計担当）	・当業種では新型コロナウイルスの影響が少ないため、状況は大きく変わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	・緊急事態宣言下でも実売には余り影響がなかったため、今後も大きな変化はないと予想される。一方、東京オリンピックが予定どおりに開催されれば、テレビの売行きは今よりも伸びる。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・今後の新型コロナウイルスの影響が気になる。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンの効果が出るのは、早くても秋以降である。業種や業態によって、業績の回復時期や速度も違う。感染拡大の影響を受けない企業や、体力のある企業による設備投資に期待している。
		輸送業（営業担当）	・米国で材木の買占めが発生し、家具に使用する材木が不足している。
		金融業 [投資運用業]（代表）	・東京オリンピックが終わるまでは、引締めや我慢という生活を強いられるため、大きく景気が浮揚するとは考えにくい。
		金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の大規模会場を増やすなど、今後は接種率が上がってくるため、今が景気の底と予想されるが、この状態はもう少し続きそうである。
		新聞販売店 [広告]（店主）	・新型コロナウイルスの感染収束は見込めない。
		広告代理店（営業担当）	・Web媒体、紙媒体共に、広告売上は2年前の水準を僅かに下回っている。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチンが普及する、年末頃までは厳しいと感じる。
		司法書士	・新型コロナウイルスの変異株への恐怖が増している。ワクチンの効果が現れるのも時間が掛かるため、良くなるとは考えられない。
		その他サービス [自動車修理]（経営者）	・なかなか景気が良くなることはない。
		その他非製造業 [機械器具卸]（経営者）	・梅雨入りが予想よりも早く、暑さが長引きそうなので、少し良くなりそうである。
		その他非製造業 [商社]（営業担当）	・輸入部品の入荷遅れが発生している。今後は新型コロナウイルスのワクチン接種状況などにも左右される。
		化学工業（経営者）	・販売額は2年前と比べて6%程度減少している。また、緊急事態宣言の延長を受けて、受注額も11%程度落ち込んでいる。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・仕入先の状況を聞いても、雰囲気良くない。過剰在庫を避けるための生産調整を行っており、資材の入荷に時間が掛かることがある。それに伴い、材料の発注から納品までのサイクルが長くなっており、月次の収支が合わず、翌月への持ち越し案件が増えている。
		金属製品製造業（経営者）	・半導体不足の影響で、自動車関連を中心に6～7月の受注の内示が減少している。
		その他製造業 [履物]（団体職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言が発出、延長され、5月下旬に予定していた大型イベントが中止となったため、秋冬商材の商談に大きな影響が出ている。
		建設業（経営者）	・木材や鉄材の価格が高騰しているため、客の予算超過が心配である。また、これ以上木材の不足が深刻化すれば、計画の延期というケースも出てくると予想される。
		金融業（営業担当）	・コロナ禍が続いており、先が見えない。高齢者の新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったため、国民全員に早く行き渡ることで、感染の収束につながってほしい。
		経営コンサルタント	・徐々にストックを使い果たし、新型コロナウイルスの影響に耐えられない事業者が出てくると予想される。
	×	食料品製造業（従業員）	・ここへきて緊急事態宣言が延長されるようであれば、業態にもよるが、周囲からは廃業の声も少しずつ始めている。
	×	化学工業（企画担当）	・企業努力によって一時的に収益は改善したが、大手食用油メーカーが今年3度目の値上げに踏み切ったように、食用の原料油が異常に高騰しており、年末まで上がり続ける見込みである。
	×	金属製品製造業（営業担当）	・鋼材の価格が高騰するなかで、価格転嫁が進まず、採算の大幅な悪化が予想される。
	×	通信業（管理担当）	・緊急事態宣言の延長により、更に景気は冷え込む。
	×	不動産業（営業担当）	・兵庫県でも緊急事態宣言が延長されそうなので、今後も景気の悪化が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、景気回復の見通しが立たない。
雇用 関連 (近畿)		人材派遣会社（支店長）	・東京オリンピック次第であるが、少し回復するのではないかと予想される。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・東京オリンピックの開催がどうなるか分からないものの、高齢者への新型コロナウイルスのワクチン接種が滞りなく完了すれば、重症病床にも余裕ができる。緊急事態宣言を出す必要もなくなり、今苦しんでいる産業も少しずつ需要が増えていくと予想される。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・緊急事態宣言も再延長の可能性が高く、求人数がすぐに上向くとは考えられない。ただし、少なくとも新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向にあり、今が景気の底ではないかとみている。遅ればせながら、ワクチン確保の見通しも立ち、医療従事者や高齢者に対する接種も始まっている。これからのワクチン接種の進捗次第であるが、これ以上悪い状況になるとも考えられず、景気はやや上向くと予想している。
		職業安定所（職員）	・今後2～3か月間は、今回の緊急事態宣言の効果による新型コロナウイルスの感染者数の減少や、ワクチン接種の拡大、東京オリンピックの開催による盛り上がりなどが期待され、経済や雇用面に好影響をもたらすと予想される。
		民間職業紹介機関（職員）	・求人企業からは、少しずつ仕事の依頼が入っているという声を聞くため、それに伴い、求人数も増加することが予想される。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・3か月後の8月頃は、企業の採用選考がピークを過ぎ、次のシーズンに入る時期のため、追加募集が出てくる可能性がある。また、学生も公務員試験の結果次第で民間企業の就職を考える時期となるため、企業、学生共に動きが出てくると予想される。
		人材派遣会社（営業担当）	・派遣先のなかには人員を増やす動きもみられるが、まだ限定的である。まだまだ業績の拡大に伴う増員の話は少なく、人の採用には慎重になっている。
		人材派遣会社（営業担当）	・緊急事態宣言は再延長となる見込みであるなど、不安材料しかない。
		人材派遣会社（役員）	・新型コロナウイルスへの対応次第である。
		職業安定所（職員）	・緊急事態宣言が延長された場合、サービス消費の冷え込みから、関連業界を中心に更なる経営の悪化が進み、失業者数の増加が懸念される。また、この4～5月は雇用調整助成金の申請件数も増加しており、このまま企業活動の停滞が続いた場合、企業の採用活動の抑制から、再就職環境も厳しさが増すと予想される。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染第4波の長期化で消費が低迷し、消費者の間では自粛疲れがまん延しているため、景気の回復は見込めない。
		職業安定所（職員）	・自動車の部品製造に関する求人が増えており、それに伴う派遣求人のほか、通販の配達関連の求人で改善が見受けられる。ただし、求人全体はまだまだ伸び悩んでおり、求職者も増加傾向にあるため、景気の回復は見込めない。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・引き続き、新型コロナウイルスに関する特需があると予想される。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、好転する材料が見当たらない。
		職業安定所（職員）	・緊急事態宣言の延長が想定されるため、宿泊業や飲食サービス業では更なる業績の悪化が懸念される。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・東京オリンピック・パラリンピックが実際に開催されるのか、緊急事態宣言がどうなるのか、先行きが不透明である。企業による広告出稿意欲は全く感じられない。
	×	学校〔大学〕（就職担当）	・緊急事態宣言の継続で、小売やホテル、観光業界の回復が遅れ、その業界を目指している学生の行き場がなくなっている。全体的に経済活動が縮小していると感じる。

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
----	----------	-------	----------------

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (中国)		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が広がり、3か月後には、客がかなり本来の消費に向き合える状態に戻ってくる。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、消費も回復してくる。
		スーパー（店長）	・緊急事態宣言次第ではあるが、解除されれば、平日や夕方以降の来客数が増加する。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチンの接種状況、近隣の大型施設や飲食店の状況にもよるが、今よりは景気は良くなる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチンの接種が進み、人の流れが通常になり、景気はやや良くなる。
		スーパー（業務開発担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、夏場に向けて外出者も増加する。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、景気はやや良くなる。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・既に、来客数は回復してきており、新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、経済活動が再開し、消費も回復してくる。
		乗用車販売店（店長）	・今が底で、今後、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いてくると、人の動きが起こり、景気はやや良くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・半導体不足の状態がやや緩和されること、緊急事態宣言明けで来客数が増加することから、景気はやや良くなる。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	・高齢者の新型コロナウイルスのワクチン接種が終われば、安心して街に出るようになり、景気はやや良くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの感染が落ち着けば、夏に向けて、景気は回復基調に向かう。ただ、飲食は、当面厳しい状況が続く。
		一般レストラン（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、人の動きが良くなれば、景気はやや良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・周囲で新型コロナウイルスのワクチンへの期待が高まっており、今後、景気も好転していく。
		一般レストラン（店長）	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、緊急事態宣言が予定どおり解除されれば、今までの傾向からすると2か月後にはある程度景気が回復する。
		バー（経営者）	・新型コロナウイルスが終息し、景気はやや良くなる。
		観光型ホテル（副支配人）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がある程度進み、感染者数が減少してくれば、宿泊の予約や食事の利用は増加していく。
		都市型ホテル（企画担当）	・緊急事態宣言が解除されても先行きの見通しが全く立たず、Go To Travelキャンペーンの再開など需要喚起策でも実行されないと景気の予測判断はできない。新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、景気はやや良くなる。
		都市型ホテル（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、景気は徐々に回復してくる。
		都市型ホテル（総支配人）	・景気は新型コロナウイルスの感染状況やワクチン接種の進捗次第であり、先行きに不透明感があるものの、やや良くなる。
	タクシー運転手	・景気は今が最悪の状況で、3か月後には新型コロナウイルスのワクチン接種も進み、現状よりは良くなる。	
	タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、景気は急に良くなる。	
	タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、人の動きが良くなり、景気もやや良くなる。	
	観光名所（館長）	・高齢者の新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで、来客数も増加し、景気はやや良くなる。	
	競艇場（企画営業担当）	・2～3か月後には、G3競争が2つ開催されることから、売上が増加する。	
	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、安心安全な対面接触が可能になれば景気も回復してくる。	
	住宅販売会社（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されれば、人の動きも活発になる。	
	商店街（理事）	・時間が経過すれば、ある程度、景気は良くなるという見込みであったが、新型コロナウイルスの影響が続き、依然として、景気が回復していないことから、今後も景気は変わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・地方にも新型コロナウイルスの感染が広がってきているため、客が外出せず、来店頻度が減少する。
		商店街（代表者）	・来客数が少しずつ増加し、物品販売も回復しているが、飲食関係は最悪の状況で、今後も厳しい状況が続く。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染が終息しない限り、景気は変わらない。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の状況次第であるが、今後も巣籠り需要の好調が続く。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・緊急事態宣言が延長され、客の消費も抑制される。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・東京オリンピックが開催されるか、中止になるかがはっきりせず、先行きが不透明なため、景気は変わらない。
		百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、ワクチンの効果が出てくるまでは今の状況が続く。
		百貨店（営業担当）	・高齢者の新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるが、今後も先行き不透明な状態が続く。セール時期に入り、一旦消費が上向くものの、景気自体は変わらない。
		百貨店（営業担当）	・県内の新型コロナウイルスの感染状況に大きな改善はなく、客の購買意欲の向上や来客数の増加にはまだまだ時間を要する。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、現在の状況が続く。
		スーパー（店長）	・緊急事態宣言が発出されると、ディスカウントスーパーは販売量が伸びる傾向にあるが、今後、前年並みの伸びは期待できず、景気は変わらない。
		スーパー（店長）	・客の外出自粛傾向が続くため、今後も来客数が増加しない。
		スーパー（総務担当）	・飲食店関係の売上が減少しているため、今後、影響が出る可能性がある。
		スーパー（販売担当）	・景気が良くなる材料も、悪くなる材料も見当たらないので、景気は変わらない。
		スーパー（営業システム担当）	・先行き不透明な雰囲気が漂い、客の節約志向が高まるため、今後も売上の増加は見込めない。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・販売量や客単価が前年から減少している。
		衣料品専門店（代表）	・夏場は新型コロナウイルスの感染拡大が緩やかになるとみられるが、東京オリンピックを見据え、このまま緊急事態宣言が延長された場合、景気の上昇は難しい。
		家電量販店（店長）	・いつ緊急事態宣言が解除されるかわからず、先行きが不透明なため、景気は変わらない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・緊急事態宣言の発出以降、予約以外の来客数が減少しており、今後も景気は変わらない。
		乗用車販売店（店長）	・モデルチェンジも行われたが、展示会への来客数は増加しておらず、今の商品ラインアップでは厳しい状況が続く。
		自動車備品販売店（経営者）	・人が動かないと車も動かないし、業界も動かないため、今後も景気は変わらない。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、景気は変わらない。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・先が見えない状況で景気がどうなるかは分からない。富裕層の消費は変わらないと思うが、一般的には景気の上昇は考えられない。
		その他専門店〔土産物〕（経営者）	・人の流れを抑制しては、商売が成り立たず、景気は悪くなるばかりである。関係者全てが疲弊しており、長期的に景気が良くなる兆しが無い。
		高級レストラン（事業戦略担当）	・緊急事態宣言が解除されても、Go Toキャンペーンの復活など客のマインドを大きく変える取組がないと、景気に大きな変化はない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染者数が減少すれば状況は良くなるが、65歳以上の高齢者だけでなく、外食利用頻度の高いファミリー層や若者のワクチン接種が進まないと、大きな変化はない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		観光型ホテル（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチンが国民に浸透しないと回復は見込めない。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がなくなると状況は変わらない。
		旅行代理店（支店長）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気の回復は見込めない。
		通信会社（経理担当）	・緊急事態宣言の発出が需要の減少につながる部分もあるが、一方でリモートや巣籠り生活で、インターネット環境を必要とする人も増加するため、景気は現状と変わらない。
		テーマパーク（営業担当）	・周辺地域の新型コロナウイルスの感染状況などにもよるが、今のところ景気が良くなる見込みはない。
		ゴルフ場（営業担当）	・梅雨明けが例年どおりであれば、夏には多少、客が戻ってくる。7～8月の予約はほぼ予定どおりに推移している。
		美容室（経営者）	・今後も景気に大きな変化はない。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立たないと客の動きは変わらない。
		設計事務所（経営者）	・木材不足による価格高騰を受け、現状維持が精一杯であり、今後も景気は変わらない。
		商店街（代表者）	・客の購買意欲がかなり低下しており、今後、新型コロナウイルスの影響でより深刻化する。
		百貨店（売場担当）	・流通業を取り巻く環境は依然として厳しく、東京オリンピック・パラリンピックの時期までは現在の状況が継続する。新型コロナウイルスのワクチン接種率が劇的に上昇していけば、景気は少しずつ以前の状況に戻っていく。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が改善せず、人々のモチベーションが上がらない状況で先がなかなか見えない。
		百貨店（営業企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるが、まだまだ全員接種には程遠い状況である。もし東京オリンピックが開催されれば、客が家で過ごす時間の増加が加速し、実店舗営業にはマイナスになる。
		百貨店（外商担当）	・景気は今後の新型コロナウイルスの感染状況や緊急事態宣言の延長などにより大きく左右されるが、いづれにしても当分の間、客の購買心理が改善することは難しい。
		スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染が落ち着けば、外食等の増加による巣籠り需要の減少や所得減少による節約により、売上が減少する。
		コンビニ（支店長）	・新型コロナウイルスの影響が継続するため、景気はやや悪くなる。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、景気も回復するが、現在のままでは景気はやや悪くなる。
		家電量販店（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響が継続するため、景気はやや悪くなる。
		乗用車販売店（統括）	・新型コロナウイルスの影響で、先行きが見通せない。
		乗用車販売店（営業担当）	・緊急事態宣言が延長になり、来客数も更に減少する。
		乗用車販売店（業務担当）	・県内でも新型コロナウイルスの感染者数が増え続け、先行きが不透明である。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型車が投入されるのが9月以降で、これから夏場に掛けて売上が減少する。
		自動車備品販売店（経営者）	・緊急事態宣言が延長すれば、経済は更に悪化する。また、東京オリンピックが無観客での開催になれば、地方の経済活性化は皆無に等しくなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・現状、緊急事態宣言が出ている状況で、延長もあり得るなか、今後、その影響は確実に出てくる。巣籠り需要などにより売上を伸ばす業界があるものの、今後、景気悪化への不安は更に高まるため、客が支出を控える傾向に進む。
		放送通信サービス（総務経理担当）	・新型コロナウイルスの終息の見込みがなく、家計の支払能力の好転は考えにくいから、景気はやや悪くなる。
		通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言の発出はあったが、新型コロナウイルスの感染者数が一気に減少した印象はなく、今後も新型コロナウイルスの影響が続くため、景気はやや悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（工事担当）	・新型コロナウイルス禍の客の動向から判断すると、景気はやや悪くなる。
		テーマパーク（業務担当）	・東京オリンピックの開催で、新型コロナウイルスの感染が悪化し、景気はやや悪くなる。
		テーマパーク（管理担当）	・県の新型コロナウイルス対策や経済政策が不十分で、各自自治体の対応も後手に回っているため、県民がどんどん疲弊し、景気はやや悪くなる。
		その他レジャー施設 [温泉センター]（担当者）	・景気はやや悪くなるが、仮に回復に向かうことになって、そのペースは緩やかになる。
		美容室（経営者）	・現在の状況から判断すると、景気が良くなることは考えられない。
		設計事務所（経営者）	・住宅用木材が不足してきており、輸入材も調達しにくくなり、全体のコストアップにつながっている。負の連鎖が発生しており、消費者からの住宅工事発注もしばらくは見合せの傾向が続く。
		住宅販売会社（営業所長）	・夏のボーナスが今後の消費に影響を与える指標の1つと考えている。巣籠り需要が一段落し、客が必要な物を既に消費しているため、今後の景気回復は厳しい。
	×	一般小売店[眼鏡]（経営者）	・新型コロナウイルスの変異株の感染が拡大しているため、行政からの外出自粛の要請がいつまで続くのかははっきりしない。
	×	一般小売店[洋裁附属品]（経営者）	・緊急事態宣言の発出で、外出者が少なくなり、販売も低迷するため、景気は悪くなる。
	×	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチンの接種の見通しが立たないと、売上が確保できず、景気回復のめどが立たない。
	×	百貨店（販売計画担当）	・雇用が不安定で、ボーナスの支給額も減少するため、景気は悪くなる。
	×	スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの終息の予測が付かない現在の状況では、通常の営業活動を続けていくことさえ困難である。客の動向が予測しづらく、商品の生産量や発注量が安定しないため、売上の確保が厳しいことから、今後も景気は悪くなる。
	×	家電量販店（企画担当）	・緊急事態宣言の発出で、近隣の飲食店等が疲弊しており、今後、景気は悪くなる。
	×	タクシー運転手	・緊急事態宣言が延長されるため、景気は回復しない。
	×	通信会社（広報担当）	・購入に至るまでの客が少なく、今後も厳しい状況が続く。
	×	観光名所（管理担当）	・5月15日から新型コロナウイルス感染の拡大防止のため、一旦月末まで休館している。緊急事態宣言の延長となれば更に休館が延びる可能性がある。予定のイベント等誘客施策が中止や延期となり、ビジネスチャンスを失っていることから、今後、景気は悪くなる。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染が落ち着けば、通常の状態に戻るが、緊急事態宣言が発出されたので、景気は悪くなる。
企業 動向 関連  (中国)		輸送用機械器具製造業（経営者）	・生産が徐々に回復しており、今後、景気は良くなる。
		化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、経済全体も一定期間は好転する。
		鉄鋼業（総務担当）	・受注予測が好調を維持しているため、今後、景気はやや良くなる。
		通信業（営業企画担当）	データセンターの需要が増加しており、今後も引き合いは増加する。今年はサーバ機器の交換時期を迎える客も多くなるため、景気はやや良くなる。
		通信業（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されれば、6月までは停滞が続くものの、7月以降は経済活動が活発になり、受注も回復する。
		会計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、人々の安心感が増してくれば、企業活動が活発になる。
		農林水産業（従業員）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、景気は変わらない。
		繊維工業（監査担当）	・来月から閑散期となり、動きが止まるため、景気は変わらない。
		木材木製品製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、新型コロナウイルスが終息し、景気が良くなる。ただ、新しい変異株の拡大の情報もあり、先行きが不透明なため、しばらくは景気は変わらない。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進まないと、景気は変わらない。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・取引先の需要に大きな変化がないため、今後も現在の生産水準が継続する。
		鉄鋼業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気が大きく変化することはない。
		非鉄金属製造業（業務担当）	・電子材料関係の受注量や販売量は現在の水準から変わらない。
		金属製品製造業（総務担当）	・工作機械業界を中心に受注が増加傾向であるが、銅などの原材料価格が急上昇し、採算面では相殺されており、今後もこの状況が続く。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きから判断すると、景気は変わらない。
		一般機械器具製造業（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が大幅に好転することがないため、現状維持が続く。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・家電関連や車載関連の電子部品は好調なものの、機械装置は取引先の稼働率低下などにより、良くなる見通しが立たないため、景気は変わらない。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・年内は景気は回復しない。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・半導体供給不足の影響が軽減されるまで厳しい状況が続く。
		建設業（経営者）	・現在は引き合いが安定しているが先行き是不透明である。
		建設業（総務担当）	・この先1年間は受注のめどが立っており、現状を維持する。
		輸送業（総務・人事担当）	・客の動向から判断すると、今後も景気に大きな変化はない。
		輸送業（総務担当）	・復調傾向にある業種はあるものの、新型コロナウイルスの先行きが不透明のため、景気は変わらない。
		金融業（融資企画担当）	・地元完成車メーカーが、世界販売の伸び悩みや半導体不足のため、生産台数を抑制せざるを得なくなっている。このため、系列の地元部品メーカーでは、受注がピークから1～2割程度下回る状況が続く。
		金融業（貸付担当）	・緊急事態宣言が解除されれば、取引先の業況は多少持ち直すが、行動制限を緩めれば、再び新型コロナウイルスの感染が拡大し、業況が悪化する。高齢者以外の新型コロナウイルスのワクチン接種がある程度進まないと、景気の回復は難しい。
		不動産業（総務担当）	・賃貸住宅の需要が落ち着く時期でもあり、しばらくは現状と変わらない。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が続く、受注量や販売量も変わらない。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の大幅な遅れや東京オリンピックの開催問題で、国民が困惑し、経済や消費に悪影響を及ぼしているため、当面、景気は厳しい状況が続く。
	食料品製造業（総務担当）	・緊急事態宣言の発出で、人の流れが悪くなったり、飲食店が時短営業したりするので、景気はやや悪くなる。	
	x	*	*
雇用関連		-	-
(中国)		人材派遣会社（経営戦略担当）	・緊急事態宣言が解除されれば、事業を正常化する動きが加速する。
		民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、緊急事態宣言が解除され、予定どおり東京オリンピック・パラリンピックが開催されれば、人々の解放感や開催の経済効果で、景気は浮上する。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、新型コロナウイルス発生以前の生活に戻る。
		人材派遣会社（社員）	・就業世代の新型コロナウイルスのワクチン接種次第であるが、緊急事態宣言が長期化し、引き続き景気は停滞する。
		人材派遣会社（支店長）	・求人数は横ばい、あるいは微増であるが、求職者数が減少し、マッチングが少なくなっているため、今後もこの状況が続く。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種次第であるが、現状では景気は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		求人情報誌製作会社 (広告担当)	・新型コロナウイルス発生以前と大きく変わったのは、地元就職を希望している学生が2017年以来、5年ぶりに増加に転じたことである。就職活動のオンライン化が進み、都市部と地元企業の就活が同時並行で可能になったこと、リモートワークが広がり、場所にとられずに働ける可能性が高くなったことが理由である。地方で働くという選択肢が注目されるようになったのは中途採用も同様である。また、これまで資格保持者や経験者は有利ではあったが、企業が幅を広げて近い職種なら受け入れる、又は未経験者でも年齢優先で受け入れる傾向が出ている。ただ、高齢者の就職は依然として厳しい。
		新聞社 [ 求人広告 ] (担当者)	・6月以降も企業は内定辞退者対策と更に良い人材を求めて積極的に採用活動を継続する。
		職業安定所 ( 所長 )	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、製造業では自動車や白物電機関係が回復傾向に転じるなど、一部では明るさもみられるようになったが、宿泊業を始め多くの業種は依然として厳しい状況であり、景気は変わらない。
		職業安定所 ( 雇用関連担当 )	・新型コロナウイルスによる業績悪化に伴い、離職者が増加するため、景気は良くならない。
		学校 [ 短期大学 ] ( 進路指導担当 )	・新型コロナウイルスの感染が一進一退の現状では、企業の経済活動の回復も見込めず、積極的な新卒採用には結び付かない。
		人材派遣会社 ( 支社長 )	・緊急事態宣言を受け、経済活動は再び停滞しており、新型コロナウイルスのワクチン接種が進まないと、景気の回復は難しい。
		職業安定所 ( 事業所担当 )	・緊急事態宣言の発出で、雇用調整助成金等の相談件数も増加しているため、雇用環境の悪化が継続する。
		民間職業紹介機関 ( 求人・人材採用担当 )	・新型コロナウイルスの影響が予想以上に長引き、今後の見通しも立っていないため求職活動が停滞している。求人数も減少しているが、求職者も現職にとどまり、所得の減少を補うための副業などその場しのぎのニーズが高まっている状態であるため、景気は良くならない。
		その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルスのワクチン接種の動向が鍵となるが、新型コロナウイルスの影響が続けば、サービス業を中心に景気は下降する。
	x	-	-

#### 10. 四国 ( 地域別調査機関 : 四国経済連合会 )

( - : 回答が存在しない、\* : 主だった回答等が存在しない )

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (四国)		衣料品専門店 ( 経営者 )	・今はコロナ禍の影響で、乗客数、売上高共に悪い状況であるが、どの業種においても、もうすぐ回復してくると予想する。
		百貨店 ( 企画担当 )	・まん延防止等重点措置が解除となり、乗客数が若干戻ると思われるため、売上も少しは上向くと思う。
		百貨店 ( 営業管理担当 )	・ワクチン接種が進むことにより新規感染者数が減少し、徐々に規制が緩和されることで、人の動きが多少戻ってくることが予想される。
		百貨店 ( 販売促進 )	・高齢者のワクチン接種が進み、購買意欲が増してくると思われる。
		コンビニ ( 店長 )	・外食から中食へと需要がシフトしており、当店の売上高と来客数は回復すると予想している。
		乗用車販売業 ( 営業担当 )	・新型コロナウイルス次第であるが、5月よりは良くなると思う。
		乗用車販売店 ( 役員 )	・ワクチン接種が進むにつれ、景気は回復してくると考えている。
		その他専門店 [ 酒 ] ( 経営者 )	・飲料もビールも今よりは販売数が伸びると思うので、売上も増加することが予想される。
		一般レストラン ( 経営者 )	・今が底であってほしいと思う。
	通信会社 ( 社員 )	・緊急事態宣言が解除されれば、訪問営業等を再開することができ、売上の回復が期待できる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光遊園地（職員）	・当地域では6月より警戒レベルが引き下げられる見込みであり、国の旅行商品や宿泊サービスに対する割引等の支援事業が始まれば、景気回復に少し期待が持てる。
		競輪競馬（マネージャー）	・ワクチン接種が進み安心感が浸透してくると、消費活動も活発化すると思われるため、サービス業や飲食業、交遊施設の状況も回復に向かう。
		商店街（代表者）	・現時点では新型コロナウイルスのワクチン接種がスムーズに進行しているようには感じられず、景気回復については不透明な状況が継続する。東京オリンピックの開催等により、回復に向かっていくことを期待している。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況が収まりかけたと思ったら、また悪化するという状態が何回も続いている。この状況下では、経営者がマインドを維持することは難しく、また、消費者もかなり疲弊している。消費活動が活発化するまでには程遠く、しばらくは厳しい状況が続くと予想する。
		商店街（事務局長）	・ワクチン接種がどの程度進んでいるかが鍵になるが、集団免疫を獲得できるのは9月後半以降であると予想する。まだしばらくは安心して社会や経済を回すことはできない。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、依然として商店街の出入は減少傾向にある。当面のところ好転の兆しは期待できず、歯を食いしばって頑張るしかない状況である。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・当地域では、来月から自粛期間が終了するため、飲食店の営業再開による景気回復を期待している。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染再拡大の状況次第であり、先行きの予測が難しい。
		コンビニ（総務）	・高齢者向けのワクチン接種が完了し、経済が徐々に回りだすタイミングとなれば少しずつ良くなっていくと思う。
		コンビニ（商品担当）	・ワクチン接種の見通しが不透明である。
		衣料品専門店（営業責任者）	・ワクチン接種が進まない限り来街客が戻らず、集客もしづらいため厳しい状況が続くと考えている。
		家電量販店（店員）	・買換え需要の先食いをした状態であるため、しばらく落ち着くと思われる。
		家電量販店（副店長）	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等の解除や、ワクチン接種が完了しなければ、回復は期待できない。
		乗用車販売店（従業員）	・コロナ禍の影響で自動車部品の供給が不足しており、良くなる要素がない。
		乗用車販売店（従業員）	・高齢者のワクチン予約が7月後半になったとの話を聞くと、一般接種の終了時期は予想できなくなった。景気回復はまだまだ先になると思う。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・新型コロナウイルスの収束が見通せない限り、消費動向は上向かない。また、見通せたとしても元の水準まで回復することは望めない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの収束が、国民の我慢の限界か、どちらかにならない限り客足の回復と景気の上昇は見込めない。
		観光型旅館（経営者）	・当地域は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いており、僅かに景気が持ち直しているが、平時には程遠い状態である。全国的に感染状況が改善しなければ、景気は回復に向かわない。また、インバウンドについては更に先になると予想する。
		旅行代理店（営業担当）	・ワクチン接種の進捗状況によるが、現段階では極端に良くなる要因はなく、客の動きも活発化する雰囲気は感じられない。
		タクシー運転手	・当地域は新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあり、現在の状況が収束しなければ、人が動かず厳しい状況が続くと考える。
		通信会社（営業部長）	・コロナ禍の過ごし方が、ある程度定着してきていると感じる。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染再拡大の影響で、ワクチン接種が進むまで客の行動範囲は限られると思う。
		美容室（経営者）	・今後の見通しが立たない。お盆の時期は、県外の客が動くかどうかで忙しさが変わってくる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・鉄道や県外資本を核とした駅前中心の商業地の業況は大幅に悪化した。一方で、県内資本を活用した旧来の商店街への見直しが徐々に進みつつあると感じている。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で金が回っていないように感じるため、いずれ食品業界にもその影響が及ぶと思う。
		スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスの収束により、再び需要が外食へシフトすることが予想される。
		衣料品専門店（経営者）	・当地域では新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向にあり、明るいムードに変化しつつあるように感じる。しかし、全国的にはまだまだ厳しい状態が続くのではないかと心配している。
		都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの収束がいつになるのかということが極めて重要であると考え。現在のワクチンの接種状況を踏まえると、早急に改善されることはないと思う。
		通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの感染再拡大が継続している。
		美容室（経営者）	・依然として今後の見通しが立たない。
	×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・今後、時短営業が解除されたとしても、新型コロナウイルス感染防止のため、客の外出控えが予想される。
	×	コンビニ（店長）	・ワクチン接種が進んでいる様子もなく、現状では悪化の要因しかない状況である。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染が早く収束しなければ経済は動かないと思う。
	×	設計事務所（所長）	・公共事業の入札において、競合相手が低価格での入札によって取りに来るといった状況が発生している。
企業 動向 関連  (四国)		-	-
		食料品製造業（経営者）	・緊急事態宣言が解除されれば、徐々に回復に向かうと推測する。
		木材木製品製造業（営業部長）	・ウッドショックの影響が懸念されるが、大手ハウスメーカーの住宅契約棟数が増加しているため、今後の景気回復を期待している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・依然として厳しい状況であるが、一部地域では政府による経済対策としてのインフラ投資や再生可能エネルギー関連プロジェクトが行われており、客の投資マインドに回復の動きがみられる。
		輸送業（経理）	・国内向けの輸送量は低調に推移すると思われるが、大口客の海外向け輸送量は引き続き増加傾向にある。
		税理士事務所	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、経済が安定すると予想する。
		農林水産業（職員）	・業務需要が動かないと青果物の価格の動きも鈍くなるため、新型コロナウイルスの感染が一定程度収まるまでは厳しい状態が続く。ワクチン接種が進まない限り、回復の見通しは付かない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響で除菌や清掃意識が高まり、ウェットクリーナーの需要はあるが、供給が需要より大きいため売上がさほど伸びていない。一方、家庭での料理機会の増加等でキッチンペーパーの注文数が多い。
		化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの影響が大きい。ワクチン接種が始まったが、状況が改善するまでには時間を要すると思われる。
		鉄鋼業（総務部長）	・1～4月における当社取引先の造船関連の新規受注は好調であったが、当社への受注に反映されるのは最低6か月以上先となる見込みである。
		電気機械器具製造業（経理）	・コロナ禍の特需による販売が落ち着いてきている。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。ワクチン接種が進んでいないため、数か月先も景況感は回復しないと推測する。一方で、公共事業の発注状況は好転しており、事業経営的には堅調を維持できると考える。
		建設業（経営者）	・民間部門の受注状況が少し悪いと、公共事業の受注次第である。
		輸送業（経営者）	・ワクチン接種に期待しているが、進捗状況が悪いと感じる。
	通信業（企画・売上管理）	・東京オリンピックがなくなれば、景気は一時的に低迷する可能性があるが、それを考慮しなければ3か月先までは同じ水準で推移すると推測する。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		金融業（副支店長）	・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの収束が見通せない限り、消費者動向の改善や景気回復は難しい。	
		広告代理店（経営者）	・ワクチン接種が遅れていることから、客はイベントや販促広告について慎重であり、景気回復は2～3か月後よりも少し先の予想である。	
		繊維工業（経営者）	・2度目のワクチン接種が半分以上進んだ段階になれば、人の往来が増え、景気回復が見込まれるが、それまでは現在の厳しい状況が続くと思う。	
		輸送業（営業）	・東京オリンピックの開催による交通規制や移動制限が物流業界に及ぼす影響は計り知れず、取扱物量の増減についての見通しは極めて不透明である。仮に無観客開催となれば取扱物量の減少は必至であるとみている。	
	x	-	-	
雇用 関連 (四国)		-	-	
		人材派遣会社（営業）	・このまま新型コロナウイルスが収束に向かい、東京オリンピックの開催が決定されると、飲食業や観光業へのニーズが高まるのが予想される。ワクチンの打ち手不足は大きな問題だが、接種が進むことによって今後の景気は好転していくと思われる。	
		民間職業紹介機関（所長）	・ワクチン接種が順調に進み、東京オリンピックを開催することができれば景気は回復すると思われる。	
		人材派遣会社（営業担当）	・コロナ禍により景況感是不透明である。	
		職業安定所（求人開発）	・当地域はまん延防止等重点措置が解除されたが、感染対策期として引き続き警戒態勢がとられている。今後の見通しは不透明であり、ワクチン接種の進捗状況により景気が左右されることが思われるため、状況は変わらないと考える。	
		学校〔大学〕（就職担当）	・3月からの求人数の推移をみると、コロナ禍以前の状況には程遠く、今後の見通しについては不透明である。	
		求人情報誌（営業）	・観光業や飲食業、サービス業においては大きな打撃を受けており、今のところ回復の見込みが立っていない。店舗の閉店や破産、倒産による貸倒れ損失も出てきており、景気は悪化すると判断する。大きな影響を受けていない製造関係の業種においては横ばいのまま推移すると考える。	
		求人情報誌製作会社（従業員）	・異動時期が終わり、求人数の減少が予想される。	
		x	人材派遣会社（営業担当）	・東京オリンピック開催後の新型コロナウイルスの影響を懸念している。
		x	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・当地域の新型コロナウイルスの感染状況が急に悪化しており、更に厳しい状況になることが予想される。

#### 11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)		商店街（代表者）	・新規感染者数がかかり減少しており、また、ワクチン接種が進んでいけば、景気や来街来客数も上がってくる。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	・時短営業要請や休業要請が解除されると、飲食店向けの販売量が増えることを期待している。
		家電量販店（従業員）	・暑くなり、冷房器具の需要が増えることに期待している。
		一般レストラン（スタッフ）	・ワクチンの普及で時短営業等自粛が解除され、外出する人も多くなり、今より悪くならないと考えている。しかし変異株の拡大は危惧される。
		競馬場（職員）	・緊急事態宣言の解除に期待している。
		商店街（代表者）	・当地でも本格的に新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、景気も幾分回復していくと予想している。
		商店街（代表者）	・ワクチン接種が普及し、さらに、東京オリンピック効果で、景気が上昇することに期待している。
		スーパー（店長）	・ワクチン接種率が向上すると、海外のように人の動向も多くなり、支出額も増加していくと予想している。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種により、新型コロナウイルスに収束が見込まれることから、上向くと考えられる。
		コンビニ（エリア担当）	・ワクチンの普及で第4波が落ち着き、経済回復を期待している。東京オリンピックが開催されることで、家飲みの需要増加に期待している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当・店長）	・東京オリンピックの影響は、当地には余り影響がないと考えられるが、まん延防止等重点措置の解除により、若干客の動きが緩やかになるように感じられる。総菜や弁当、アルコール等の販売量の動きが良くなると予想される。
		衣料品専門店（店員）	・ワクチン接種の普及で、人の流れが若干戻ると考えている。
		衣料品専門店（取締役）	・ワクチン接種が進み、東京オリンピックも開催されれば、今月の最悪の状況よりも上向きになることを期待している。
		家電量販店（店長）	・東京オリンピックが開催されれば、黒物商材を中心に、多少は特需があると予想している。
		住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの高齢者へのワクチン接種が始まっており、8月以降は65歳以下へのワクチン接種が行われる。そのため、経済活動も活発になる。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・ワクチン接種が進み、緊急事態宣言が解除されれば、夏に向けて売上、来客数共に回復すると考えている。ただし、新型コロナウイルスによる企業への影響で、ボーナスの減少も予想され、これからのボーナス商戦に悪い影響が出ないことを願っている。
		観光型ホテル（総務）	・行政がワクチン接種を加速させる施策を進めており、医療従事者や高齢者等ワクチン接種を終える動きが出ており、1回目の接種を終えた人から安心感が伝わってくる。景気回復は、ワクチン接種の進捗に比例する。
		観光型ホテル（専務）	・ワクチン接種が広まると医療危機が緩和されると考えられるので、団体客はしばらく戻らないが、個人客の動きに期待している。
		旅行代理店（職員）	・緊急事態宣言解除後の販売量が今月より良くなると想定している。
		タクシー運転手	・ほとんどのイベント縮小や中止が続いており、早急なワクチン接種による感染者数激減で景気回復を期待するしかない状況である。
		通信会社（企画担当）	・コロナ禍前提での予算の動きが活発化している。そのため、情報発信や事業の引き合いが多く、通常のプロジェクともコロナ禍を踏まえた案件が増えている。
		美容室（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むと、今まで外出自粛していた人の外食や旅行などが増え、若干景気も良くなる。
		学習塾（従業員）	・少しずつ問合せが増えている。
		商店街（代表者）	・現状が変わらない限りは、今後急に回復するとは考えられない。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス対策が進めば景気も良くなると考えられるが、外出自粛のなか心理的に不安な状態となっており、需要は伸びていかない。
		商店街（代表者）	・来街者は通院や生鮮食料品の購入等、最低限度の用事を済ませ帰宅しており、不要不急な外出は控えている。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・通常は、魚の需要が少なくても、例年土用の丑の日だけは売れるが、今年は7月の土用の丑の日に多くのウナギの売上有るかどうかが危惧している。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・報道で景気の悪いニュースを耳にするが、幸い取引先やお得意様には、悪い状況でも景気が上昇しているところもあり、売上につながる要因の1つになっている。花の購入は余裕がないとできないとも考えるため、それなりに売上を伸ばしていきたい。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・新型コロナウイルスの影響で、仕入価格が上がっている。ワクチン接種も始まり、徐々にふだんの生活に戻り、売上を回復したい。
		百貨店（企画担当）	・外出自粛が続いており、景気回復には当分時間が掛かる。ワクチン接種の効果で感染者数が減少すれば、景気回復につながるが、当面は厳しい状況が継続すると考えられる。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況やワクチン接種状況、また東京オリンピックの影響等が読めない状況である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（営業担当）	・クラスター発生による不安や外出自粛で、早急な回復は難しい。しかし、ワクチン接種も開始され、店頭外のサテライトショップやギフトショップ、また、Web、通販受注に客の動きが期待できる。店頭での自家需要の紳士雑貨やリビング用品、また、家電製品やし好性の高い舶来雑貨・時計美術工芸等は依然堅調であり、客単価、商品単価は維持している。慎重な行動や感染防止意識は継続しているものの、県内外との往來の回復は見込めず、今後も自家需要中心の購入は継続する。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響が続き、来客数が減少し、低迷することが予測される。
		百貨店（売場担当）	・売上について、前年は前年比80%前後で推移していた傾向を踏まえると、前年比110%前後までは伸びるが、前年比120%以上伸びることはない予想される。固定客の購買率が高いことが最近の特徴であるが、一部の店舗では、緊急事態宣言も発出されており、来客数が当月だけで前年比30%である。緊急事態宣言が解除されると若干増加してくる。
		百貨店（経営企画担当）	・5月中旬から緊急事態宣言が発出され、来客数が減少している。その後、休業要請を受け土日を臨時休業としたために、更に売上が減少した。加えて緊急事態宣言期間も延長され、先行き不透明な状況が継続する。
		スーパー（店長）	・ワクチンの接種率及び感染率によって景気が左右されるため、先行きの不透明さから、現状と変わらないと考えられる。
		スーパー（企画担当）	・ワクチン接種の見通しが立たず、しばらくは変化がない。休業要請を受けている業種では、支援金給付だけでは見通しが立たず、更なる景気悪化につながるのではないかと懸念される。
		スーパー（経理担当）	・ワクチン接種や緊急事態宣言等の動向により、予測がつかない。経済が回りだすと内食需要は減っていくと予想される。
		スーパー（統括者）	・しばらくは巣籠り需要により総菜や酒類が健闘すると予想されるが、来客数は維持しながらも客単価の減少で、売上も落ちる状況が続く。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種も始まり、今年中に回復すると予想していたが、まだまだ良くなる兆しはなく、店の売上や周りの状況も変わらず、厳しい状況が継続する。
		コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言が6月20日まで延長され、人の流れが制限されるため、来客数の増加は見込めない。
		コンビニ（経営者）	・現状の厳しい状況が続くと見込まれ、ワクチン接種が進むまで接客型の小売業は低迷することが想定される。コロナ禍でも、今後ニーズが上がる商品開発やサービスを積極的に取り入れていかなければいけない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの変異株による影響がつかめず、不安である。
		衣料品専門店（店長）	・ワクチン接種がようやく始まるが、その効果が出るのは、まだ先である。
		衣料品専門店（店長）	・2～3か月後も先行き不透明な状態が続く。
		衣料品専門店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるため、先行き不透明で見通すことが難しい。
		家電量販店（店員）	・かなりの外出自粛ムードで、前年の来客数の70%である。先行き不透明のなかで、売上を上げていくことが非常に厳しい状況である。しかしこれ以上悪化することはないのではないかと考えており、ワクチン接種の普及が進んでいくことを期待している。
		家電量販店（総務担当）	・長梅雨が予想されるため、夏物商材の動き出しが遅れ、また、新型コロナウイルス第4波が地方にも広がり、購買心理が上向かない。
		家電量販店（広報・IR担当）	・新型コロナウイルスの終息やワクチン接種状況の先が見えず、景気が良くなる大きな要因は見当たらない。
		乗用車販売店（従業員）	・現況が大きく変化する要因がない限り、回復はほとんどない。
		乗用車販売店（総務担当）	・しばらくは、半導体不足の状況が続くため生産減少になり、新車販売台数は低迷する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・新型コロナウイルス発生前と比較すると、客単価及び来客数共に減少している。例年は梅雨時期になると客の来店や売上が減少傾向ではあるが、今年はまとめ買いをする客が増えているため販売量は例年より増加傾向にあり、また天候にも左右される部分もあるため、売上は変わらない。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・ワクチン接種等でコロナ禍が劇的に収束しなければ、景気回復は難しい。
		一般レストラン（経営者）	・悪い状況は継続しており、客を積極的に呼びこむこともできず、手の打ちようがない。ワクチン接種の効果で、早く終息することを期待するしかない。
		居酒屋（経営者）	・ワクチン接種に期待したいが、外出に対する抵抗がなくなるには若干時間が掛かる。
		タクシー運転手	・都市部の新型コロナウイルス感染が落ち着かなければ、客は増加しない。
		タクシー運転手	・現在の状況で、頼みの綱はワクチン接種に限る。全国民の7割まで浸透すると、かなり状況が改善されると考えているが、まだ始まったばかりで接種率が上がっておらず心配である。
		通信会社（統括者）	・客の来店予約も定着し、混雑することなく来店している。次の時期は新商品が発売されるため、販売拡大に期待したい。
		観光名所（従業員）	・東京オリンピックの開催や夏休み需要の見通しが読みづらく、先行きが分からない。
		美容室（経営者）	・人の動きが悪く活性化ができない状態のため、おしゃれをしないようになってきている。緊急事態宣言が延期されると景気回復は望まず、悪い状態が継続される。
		理容室（経営者）	・当業界でクラスターが発生したため、客は敬遠し、来店サイクルも伸びている。4月の入学や就職の来店がなく、新規の客もない状態で、悪くなる一方である。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・新型コロナウイルスの感染が、2～3か月の周期で猛威を振るっているため、重い雰囲気社会全体にあり、景気上昇という状況にない。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・高齢者に向けた新型コロナウイルスワクチン接種が予定よりも遅れ込んでおり、感染拡大状況によっては、更に客やサービスの減少が想定される。
		設計事務所（所長）	・収入減少の傾向は続きそうであるが、生活必需品等の価格は上がっており、現状から変わりそうにない。
		設計事務所（所長）	・2～3か月後は、今月の状態が継続されるため状況は変わらない。
		設計事務所（代表）	・新型コロナウイルスの影響が長引きそうで不安である。
		商店街（代表者）	・コロナ禍が収束に向かわないため、商店街の通行量も悪く、空き店舗も出始めている。加えて早い梅雨入りとなり、一段と来街者は減少すると予想される。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・夏に向けて、野菜の生産も信州や北海道と移っていくが、毎年相場が徐々に上がることで、客の購買力が落ちていく。加えて東京オリンピック開催がまだ確定されておらず、これにより様々な影響が出てきて、厳しくなってくる。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの終息が見込めず、状況はまだ良くならない。
		百貨店（企画担当）	・クリアランスセールが落ち着き、夏の帰省や旅行等の需要が見込みにくい。
		百貨店（業務担当）	・今後現状が大きく好転することは望まず、消費が大きく回復するとは考えられない。新型コロナウイルス対策による早い収束を期待している。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で企業活動に負の影響が大きく出ており、消費者にも失職や所得減少といった状況になっている。ますます負の影響が強くなり、消費マインドの低下が懸念される。
		コンビニ（店長）	・緊急事態宣言発出後、更に状況は悪くなっており、今後が危惧される。
		家電量販店（店長）	・季節要因で上向くことはあるが、新型コロナウイルスの感染が落ち着くまでは、良くなることはない。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（従業員）	・コロナ禍に加え、6月は農繁期となるため、乗客の期待はできない。
		住関連専門店（従業員）	・本格的に暑くなると来客数も減るため、景気は悪くなる。
		通信会社（企画担当）	・光回線サービスのエリア拡大も落ち着き、販売量は少なくなっていく。
		通信会社（業務担当）	・緊急事態宣言の延長により先が読めない状況になり、景気が下向きになる可能性がある。
		ゴルフ場（従業員）	・今年も梅雨期間の長雨や梅雨明け後の猛暑が予想され、変異株の感染拡大が見通せない。
		ゴルフ場（営業）	・まだまだ新型コロナウイルスの感染状況が落ち着く気配がない。
		住宅販売会社（従業員）	・春先以降、新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向になり、米場者数減少等客の動きも緩やかである。今後の受注状況にも影響が出ると予想される。
		住宅販売会社（従業員）	・景気が悪い状況であるが、ワクチン接種の普及状況も伸びており、緊急事態宣言の解除や東京オリンピックの期待もある。しかし、気の緩みから3か月先は新型コロナウイルス感染が拡大し、感染者数が増加するのではないかと先行きは不安である。
	×	商店街（代表者）	・見通しが全く想定できない。
	×	商店街（代表者）	・先行き不透明なため2～3か月先も見通しが立たず、悪い状態になる。
	×	コンビニ（店長）	・ホテル内にあるコンビニエンスストアのため、3か月後も全く見込みが付かない。
	×	乗用車販売店（代表）	・コロナ禍による影響が徐々に出てくる。
	×	高級レストラン（経営者）	・時短営業要請により新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しているが、時短営業が解除されてもすぐに客が戻るとは考えられない。当店は企業の取引先との会合場所になっているが、感染防止対策として利用されず、今後も動きがないと推測される。
	×	高級レストラン（経営者）	・外出自粛の影響で、飲食店やその取引先である酒屋や肉屋等の小売、またホテル等のサービス業もかなり打撃を受けている。やっとワクチン接種が受けられる期待があるが、暗中模索状態である。
×	スナック（経営者）	・緊急事態宣言の延長が決まりそうで見通しは暗い。営業が再開できてもワクチン接種が完了しない限り、客足は戻らない。	
×	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・新型コロナウイルス変異株の感染力は強くなっているが、飲食店や酒類への対策のみで効果がないため、感染拡大は当面続く。加えて東京オリンピック開催で更に状況悪化が懸念される。	
×	都市型ホテル（販売担当）	・第1四半期のマイナスを取り返せるかどうか、見通せない状況である。	
企業 動向 関連  (九州)		電気機械器具製造業（総務担当）	・取引先の生産計画からも新型コロナウイルスの影響による半導体関連の需要で、当面の間増産傾向が続く。
		金属製品製造業（事業統括）	・受注量は変わらないが、引き合い数は前年比10%増の増加傾向にある。
		一般機械器具製造業（経営者）	・半導体の動きが良くなるにつれて、電子部品関係の需要も上がるため、その対策を打ち合わせていかなければいけない。
		電気機械器具製造業（取締役）	・自動車関連は依然根強いが、コスト的には厳しいものがある。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・2か月先の予測では6～7月は生産量も多く、繁忙期である。しかし、8月は半導体不足の影響が予測され、先行き不透明である。
		その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・新型コロナウイルスの影響次第であるが、今よりも更に増産の話が出ており期待している。
		金融業（営業担当）	・今後、ワクチンの接種が進めば全体的に人の動向は大きくなり、サービス業を中心とした飲食業や観光等に売上の回復が見込まれる。また東京オリンピックが開催されれば、売上回復の後押しになると考えられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		農林水産業（経営者）	・早く梅雨入りしたことや新型コロナウイルスの感染拡大による消費減退で6～7月も厳しい状況である。好調である量販店向けは梅雨時期には期待できず、外食部門の落ち込みを補うためWeb販売も試みているが、マイナス部分を埋めるまでには至っていない。外食部門が元の状態に戻るとは思われないが、国内のワクチン接種が終了する秋口以降にならないと期待できない。
		家具製造業（従業員）	・緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が解除となっても、広範囲におけるワクチン接種と急速な接種率向上がなければ、すぐには経済活動の活性化にはつながらず、家具メーカーの低迷は継続する。
		化学工業（総務担当）	・農薬需要の先行きは、不透明である。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・以前は夏の売場にガラス製品が並べたが、現在では小売店や百貨店、量販店の影響が少なくなった。Webでの販売体制ができているため、大きな売上の落ち込みはなく通常の状態に戻せるのではないかと予想している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・今後3か月もほぼ同じ受注と予想される。
		建設業（社員）	・官公庁の発注予定が出て、本格的には6月にならないと入札は多くなれない。また入札が多くなっても、抽選が100%であるため悪循環の繰り返しが続くが、努力していくしかない。
		輸送業（従業員）	・近隣の倉庫も空坪が目立ち、倉庫を借りていた荷主も、自社工場や拠点の統合等で撤退の動きがあり、先行きは暗い。
		輸送業（総務担当）	・緊急事態宣言の延長で消費が落ち込むことは予想されるが、回復する期待は持てない。コロナ禍は、しばらく続くこと覚悟しなければならない。
		通信業（職員）	・今年度の折衝件数は、前年度より減少しており、上期で大きく変化する見込みはない。
		通信業（経理担当）	・新型コロナウイルスの具体策効果が不透明なため、状況は変わらない。
		金融業（従業員）	・公共事業が高水準で推移しており、住宅販売も持ち直しの動きがみられている。一方、新型コロナウイルス新規感染者数の減少幅が頭打ち傾向にあるため、飲食店、ホテル・旅館、旅行業等では、先行き不安感が強い。
		金融業（営業）	・ワクチン接種の状況次第で景気が上向くと考えられる。しかし東京オリンピックが開催されても、家での観戦では、むしろ悪くなる可能性がある。
		金融業（調査担当）	・緊急事態宣言が発出される都市が増加していることや緊急事態宣言期限延長の方針が検討されるなど、新型コロナウイルス感染者数の増加が抑制されていない。引き続き新型コロナウイルスの感染防止による経済活動の抑制が続くことで、企業の資金繰りや事業継続に影響を及ぼしていくと予想され、加えてワクチン接種の普及時期も不透明で、現段階では景気回復を見通しにくい状況である。
		新聞社〔広告〕（担当者）	・好材料が見当たらないため変わらない。
		広告代理店（役員）	・3か月予想が前年並みであり、伸長のきっかけが今のところ見えていない。
		経営コンサルタント（社員）	・しばらくは外出自粛が継続し、状況は変わりそうにない。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・取引先に業況を確認するが、大きな変化がない状態である。
		その他サービス業〔物産リース〕（職員）	・緊急事態宣言が継続される予定であるが、大きく動きがないと考えている。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・予定している案件数等が少なくなるため、若干景気が落ち込む。
		一般機械器具製造業（経営者）	・独自に営業の取組をしているものの、好転する兆しが乏しい。新型コロナウイルスの影響は避けられず、少しでも売上ににつながるような営業展開を進めていく。
		建設業（従業員）	・事業形態が変わり、管工事主体の経営になる。そのため売上減少が予想され、今後一層厳しくなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		輸送業（従業員）	・販売先のアフィリエイト企業が広告規制で売上減少の見込みである。輸出も中国の2022年の規制変更で停滞が予想される。今までのように、日本国産品に中国語のラベルを貼って輸出ができなくなる。	
		金融業（調査担当）	・新型コロナウイルス関連融資の返済開始が迫る事業者にとって、収束がみえないコロナ禍は事業継続を模索する上で大きな重しとなっている。ワクチン接種の進展や効果的な治療薬の開発が、今後の景気回復の鍵を握る。	
		不動産業（従業員）	・賃貸マンションで空室が増加している。	
	×	繊維工業（営業担当）	・資金が底を突いた企業や後継者がいない企業は、工場閉鎖も予想される。通常、繊維業界の景気回復が一番遅いといわれており、懸念される。	
	×	経営コンサルタント（社員）	・酒類提供の規制が続けば、低迷状態が一層悪化する。	
	×	その他サービス業【コンサルタント】（代表取締役）	・新型コロナウイルスのワクチン接種で市町村は忙しく、このままでは、前年度の今の時期のように当初予算が執行されず、翌年度の持ち越しや新型コロナウイルス対策費用に充てられて、コンサルタントへの発注量が少なくなることが危惧される。そのため景気が更に悪くなることが予想される。	
雇用 関連 (九州)		新聞社【求人広告】（社員）	・今まで、緊急事態宣言で景気が悪化し、解除されると回復する状態を繰り返している。2～3か月先は、緊急事態宣言は解除されていると考えられるが、ワクチン接種には大きな進捗はないと思われ、すぐに景気に好影響を与える状況にはない。	
		新聞社【求人広告】（担当者）	・まん延防止等重点措置で、順調に落ち着きを見せれば6月半ばまでで解除される。また高齢者へのワクチン接種も7月までに完了すれば、マインドにも余裕も生まれ、消費活動も活発になると予想される。	
		職業安定所（職員）	・微増ではあるが、引き続き求人数が増加傾向にある。	
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの対策であるワクチン接種が進めば、雇用情勢が改善され、新規求人数の増加が見込まれる。	
		民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、なかなか経済活動が元に戻らない状況である。積極的に採用する動きになるには時間が掛かると考えられるが、前年と比較すると少しずつではあるが戻っており、学生の動きも若干活発化しているため、徐々に良くなる。	
		人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言発出により、時短営業を要請されている市もある。現在、契約のある企業担当者は、人材確保や補充について状況を注視している状態である。	
		人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言解除後もすぐには回復は見込めず、状況をみながら進めていくことになる。	
		人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種の効果が表れ人々の生活が少し落ち着いてくれば、景気も若干良い方向に動くと考えられるが、見込めない限りは変わらない状況が継続される。	
		人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言が発出され、求人数が減少傾向である。	
		求人情報誌製作会社（編集者）	・6月20日まで緊急事態宣言が延長される可能性が高いため、景気上昇は期待できない。しかし解除後は夏の繁忙期を迎えるため、一気に景気は上昇すると予想している。	
		職業安定所（職員）	・4月に入り新規求人数は前年を大幅に増加し、有効求人倍率も2年ぶりに前年を上回っているが、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、緊急事態宣言が発出される状況となり、人手が低迷している。	
		学校【大学】（就職支援業務）	・緊急事態宣言の延長が現実的となっており、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が続いている。長引けば経済界への影響が大きくなり、新卒採用者数の調整は更に進むのではないかと懸念される。	
		×	新聞社【求人広告】（担当者）	・3か月先の状況は、期待されているワクチン接種が遅れており、更に景気は悪くなる。
		×	職業安定所（職員）	・雇用調整助成金により雇用維持できているという事業者からの声がある一方で、雇用調整助成金の縮減が予定されているため、事業継続が困難となる事業者が見込まれ、懸念される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
----	----------	-------	----------------

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (沖縄)		-	-
		百貨店（店舗企画）	・6月まで今の状態が続くものと予測している。7月からお中元ギフトの動向でやや良くなるとみている。
		コンビニ（経営者）	・来客数が増加している。また、デザート類を1品多く買う客が増えている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が開始され、医療従事者、高齢者への接種が徐々に多くなっている状況もあり、今後の感染拡大に歯止めが掛かる可能性がある。
		コンビニ（副店長）	・先日から開始された主要都市での大規模な新型コロナウイルスのワクチン接種開始と、県内でのワクチン接種により感染者数が抑えられることを期待する。
		通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されれば自粛していた消費者にも動きが出てくるとみられ、景気も回復すると期待している。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・新型コロナウイルス感染症の全国での感染拡大により、今の予約受注状況は底である。緊急事態宣言の発出による効果と夏のピークシーズンを迎えることで回復を期待したい。
		一般小売店〔酒〕（店長）	・新型コロナウイルスのワクチンもまだ足りない。行政の対応が遅すぎる。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数や緊急事態宣言の期間にもよるが、しばらくは不安定な状況が続くとみられる。
		スーパー（販売企画）	・新型コロナウイルス新規感染者数が減り、ワクチン接種も進んで、それに景気対策のクーポン券等があれば景気は良くなると考える。
		コンビニ（代表者）	・緊急事態宣言への対応が前年とは全く違い、十分な対策を採り外出す人が増え、前年のような大幅な来客数の減少はみられない。
		衣料品専門店（経営者）	・今月の前半は、少し良い兆しがみえてきた、という感じがしたが、中盤から後半に掛けて新型コロナウイルスの影響なのかまた悪い状態に戻ってきたようである。景気はまだまだ悪いままである。
		観光型ホテル（代表取締役）	・来月までは緊急事態宣言の発出が続くので、宿泊、飲食の売上は低いままである。7月は予約としては2019年同期比50%くらいは入っている。前年はこの時期Go Toキャンペーンがあったので少し上向きであったが、8月の緊急事態宣言により落ち込んだ。今後の状況によりどう変化するのか。
		旅行代理店（マネージャー）	・1年以上、同じようなことを繰り返している。先がみえない。
		通信会社（サービス担当）	・周りの人の話を聞くと、景気の良くなる話は余りない。携帯業界も飽和状態、少子化となり良い材料は見当たらない。
		住宅販売会社（代表取締役）	・投資案件などの建築契約者数や契約金額が減少傾向にあり、この先の完工高維持に不安が残る。
		住宅販売会社（役員）	・緊急事態宣言により不動産の現場確認が限られ、売上も余り期待できない。
	×	商店街（代表者）	・現在まん延中の新型コロナウイルスの終息及びワクチンが日本全国に行き渡らない限り、商売は大変厳しくなっており、状況も景気も悪くなるとみている。
	×	衣料品専門店（経営者）	・このまま新型コロナウイルス感染者数が増加すればこれまで以上に悪くなるだろうし、かと言って緊急事態宣言が解除になってもすぐには回復しない。また近く東京オリンピックも行われるそうであり、県内の飲食店は自粛要請も守らず営業している店が増えてきている。このようなことでは終息には程遠く、新型コロナウイルス次第で景気が左右されるとなると、確実に悪くなるとみている。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・緊急事態宣言が発出されても、新型コロナウイルス新規感染者数が減少していない現状では、先がみえない。同業者も同じように、ランチ、テイクアウト、ノンアルコール、業態転換などもがいているが、なかなかどこも結果が出ない。宣言を無視して営業している店舗には客があふれているのを見ると、腹立たしい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの5月の販売室数は、国の緊急事態宣言を受けて休業していた前年の0室から1498室に増加したのに対し、5月末時点での8月の販売室数は前年比21%減とマイナスに転じている。
	x	観光名所（職員）	・新規予約が入ってこない。新型コロナウイルスのワクチン接種の状況次第では良くなっていくのではないかと考えている。
企業 動向 関連		-	-
		*	*
(沖縄)		食料品製造業（役員）	・緊急事態宣言による影響が不明だが、夏場に向け引き続き売上の増加を期待している。
		建設業（経営者）	・具体的な商談に進む客が少ない。
		輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、新型コロナウイルスの感染が再拡大しており心配される状況下で、官需部門においては、宮古島の自衛隊関連を中心に終盤となっている。民需部門では大型ホテル等の物件が出てきている。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえないなかで、県内企業の販促活動は引き続き低迷するとみている。
		窯業土石業（取締役）	・現状は見積依頼が若干回復傾向にあるが、今後、長期化する新型コロナウイルスの影響により民間工事の需要減少が懸念される。
	x	-	-
雇用 関連		-	-
(沖縄)		人材派遣会社（経営者）	・現在正式な新規依頼は少し止まっているが、派遣の打診などを検討中の企業が複数ある。多分、新型コロナウイルスのワクチン等により社会環境が変わり、活動が再開すると依頼が増えるものとみている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・コロナ禍で緊急事態宣言が発出されているなかで消費者の動きが鈍くなるとみている。それに伴い求人数も減少していく可能性がある。
		求人情報誌製作会社（営業）	・来月6月は緊急事態宣言の影響を受け、7～8月に掛けて採用活動の再開が予測されるが、復調しても今月同水準程度の求人数かと推測している。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、県内外問わず現状の位置だとみられる。
		人材派遣会社（総務担当）	・緊急事態宣言の延長及び新型コロナウイルス新規感染者数が減少しない状況なので、6月までは厳しいとみられる。
		職業安定所（職員）	・緊急事態宣言で様々な活動が自粛される。
		学校〔大学〕（就職支援担当）	・緊急事態宣言の発出が、景気には悪影響だとみられる。
	x	-	-